



MINATOビジョン・タウンフォーラム活動記録

活動期間：令和7年7月～令和8年3月

目次

1. MINATOビジョン・タウンフォーラムの目的・概要	2
2. 各グループの検討経過	10
①子ども・子育て	12
②福祉・保健	32
③街づくり	49
④環境・リサイクル	69
⑤防災・危機管理	86
⑥産業・地域振興	106
⑦教育	125
3-1. 検討結果 区全体の将来像	148
3-2. 検討結果 分野別の将来像	153
①子ども・子育て	154
②福祉・保健	155
③街づくり	156
④環境・リサイクル	157
⑤防災・危機管理	158
⑥産業・地域振興	159
⑦教育	160
4. MINATOビジョン コ・デザイン会議委員からのコメント	161
5. 2040年代の港区へのメッセージ	168



1. MINATOビジョン・タウンフォーラムの目的・概要

1 タウンフォーラムの目的・概要

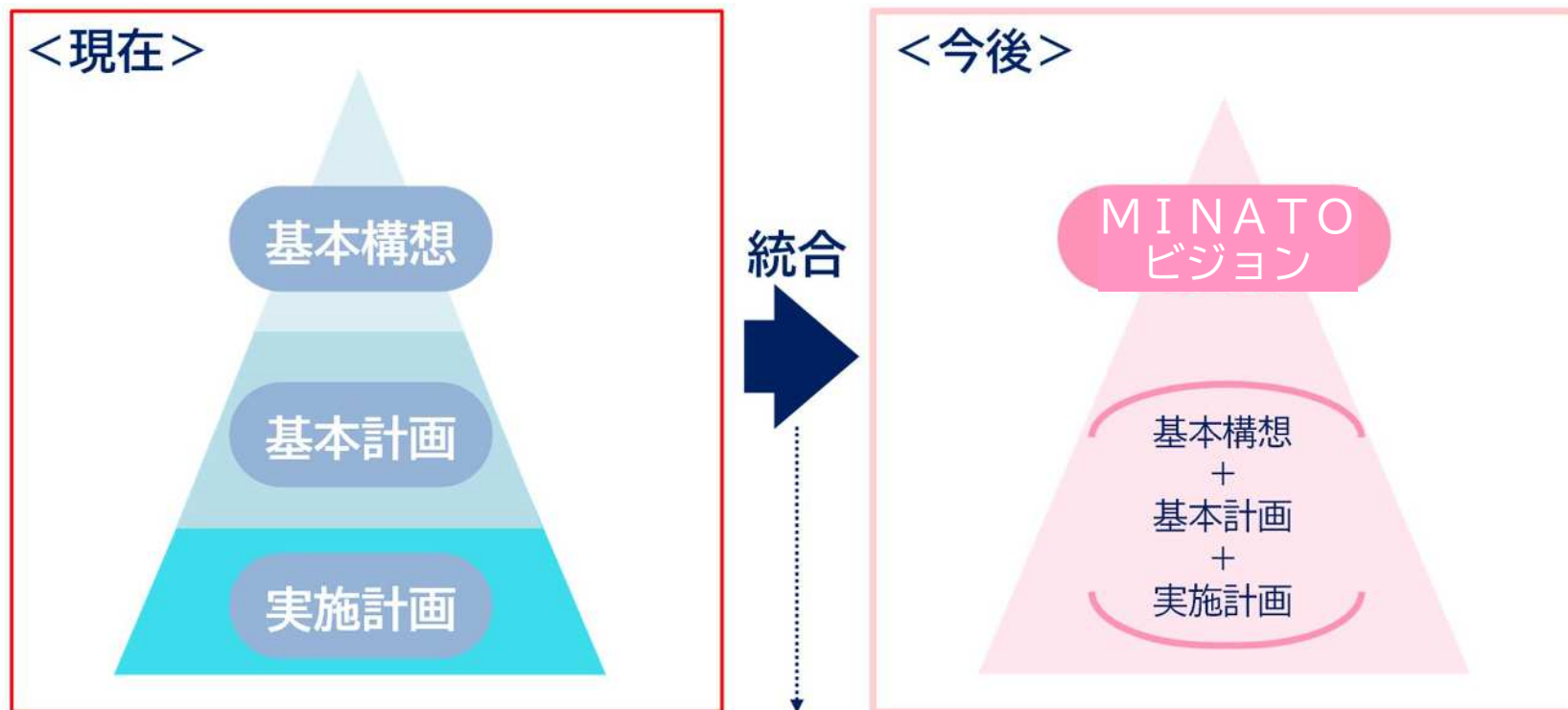
■MINATOビジョン・タウンフォーラムとは

○MINATOビジョン・タウンフォーラムは、港区に住み、働き、学ぶ皆さんと一緒に、新たな区の総合計画である「MINATOビジョン」に掲げる2040年代の港区の将来像を描く区民参画組織です。

○97人が参加し、令和7年7月から11月にかけて活動しました。

MINATOビジョンとは

- ・基本構想と基本計画・実施計画を統合した新たな総合計画となるものです。
- ・区の将来像や政策・施策を示すものとして、令和8年度に策定されます。



▶現行の基本構想にあたる「港区の将来像」を検討する区民参画組織が

MINATOビジョン・タウンフォーラム

1 タウンフォーラムの目的・概要

■ 検討の進め方

○MINATOビジョン・タウンフォーラムでは、MINATOビジョンに位置付ける将来像と分野別の将来像について検討しました。

○将来像とは、2040年代頃をイメージした港区のあるべき姿・あってほしい姿です。

○分野別の将来像とは、子ども・子育て、福祉・保健など、7つの分野ごとに設定したものです。分野ごとにグループにわかれて検討を行いました。



港区の将来のあるべき姿、あってほしい姿

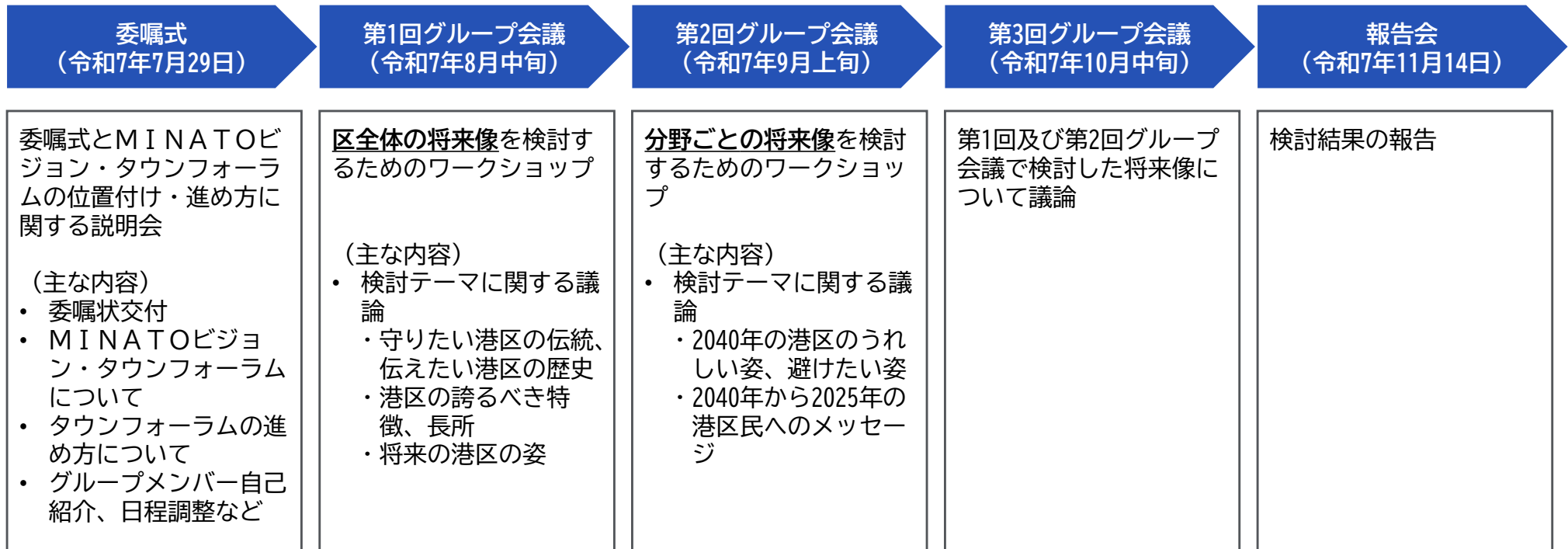
分野別の将来像（7分野）



分野別のあるべき姿、あってほしい姿

■スケジュール

- 委嘱式の後、グループ会議（各グループ3回、延べ21回）を実施し、報告会を開催しました。
- 第1回及び第2回グループ会議では、付箋を活用しながら、ワークショップ形式で意見やアイデアを出し合いました。
- 第3回グループ会議では、これまでの議論から将来の姿を文章化して意見交換し、将来像を取りまとめました。
- 会議の場以外でも、時間や場所にとらわれずに、Webチャットで意見交換できるオンラインツールを活用し、議論を深めました。



■委嘱式

- タウンフォーラムに参加する方へ委嘱式を開催しました。
- MINATOビジョンの概要や、タウンフォーラムの目的、検討の進め方などを説明し、グループメンバーとの顔合わせを行いました。

次第

令和7年7月29日（火）18:30～20:00

第1部 委嘱式

特別職紹介

委嘱状交付

区長あいさつ

第2部 グループ打合せ

MINATOビジョン・タウンフォーラムについて

タウンフォーラムの進め方について

グループメンバー自己紹介、日程調整など

配布資料

- ・（資料1）新たな総合計画「MINATOビジョン」について
- ・（資料2）MINATOビジョン策定に向けたガイドブック
- ・（資料3）基礎資料一覧
- ・（資料4）グループ会議日程調整表

1 タウンフォーラムの目的・概要

■第1回グループ会議

○検討を段階的に進めるための3つのラウンド（トークテーマ）を設定し、守りたい港区の伝統や港区の特徴から、将来の港区の姿を検討しました。

	開催概要	
令和7年8月15日（金）18:30～20:30	子ども・子育て	対面：8名 オンライン：0名
	防災・危機管理	対面：12名 オンライン：1名
	産業・地域振興	対面：8名 オンライン：2名
令和7年8月18日（月）18:30～20:30	街づくり	対面：11名 オンライン：1名
	環境・リサイクル	対面：10名 オンライン：1名
令和7年8月19日（火）18:30～20:30	福祉・保健	対面：9名 オンライン：2名
令和7年8月20日（水）18:30～20:30	教育	対面：9名 オンライン：1名

配布資料

- ・ 次第
- ・ (資料1) 第1回ワークショップ進行資料
- ・ (資料2) タウンフォーラムの進め方
- ・ (資料3) 検討内容のまとめ方
- ・ (資料4) MINATOビジョンの策定に向けた「みんなの声」
- ・ (資料5) オンラインツールの活用について
- ・ (資料6) 第2回グループ会議検討内容
- ・ (資料7) タウンフォーラムの各グループで取り入れたい要素

話し合いのテーマ

実施方法

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

- ・ ラウンドごとに色の異なる付箋を用い、個人ワークとグループでの話し合いを組み合わせ、3つのラウンドを実施しました。
- ・ 話し合いでは、模造紙に付箋を貼りながら意見を整理し、似たものをグルーピングしたうえで、港区の将来像を検討しました。

■第2回グループ会議

○参加者が2040年代の港区民（未来人）になりきって2040年代の港区を想像し、2040年代の港区の「うれしい姿」と「避けたい姿」について考え、分野別の将来像を検討しました。

	開催概要	
令和7年9月1日（月） 18:30～20:30	街づくり	対面：10名 オンライン：1名
令和7年9月3日（水） 18:30～20:30	福祉・保健	対面：8名 オンライン：2名
	産業・地域振興	対面：10名 オンライン：1名
	防災・危機管理	対面：10名 オンライン：3名
令和7年9月5日（金） 18:30～20:30	子ども・子育て	対面：10名 オンライン：4名
	環境・リサイクル	対面：9名 オンライン：1名
	教育	対面：11名 オンライン：3名

配布資料

- ・ 次第
- ・ （資料1）第2回ワークショップ進行資料
- ・ （資料2）第3回グループ会議に向けて

話し合いのテーマ

過去15年の港区の変化
15年前の港区民へのメッセージ

練習ラウンド

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

実施方法

- ・ 今回は「未来人」になりきる形式のため、導入として、現在の立場から15年前の港区の姿を振り返る検討を行いました。続く2つのラウンドでは、参加者が「未来人」として、それぞれの分野に関わる「2040年代の港区のあってほしい姿」を検討しました。

■第3回グループ会議

○港区全体の将来像と分野別の将来像の最終案の作成に向けた意見交換をしました。

開催概要	
令和7年10月16日（木）18:30～20:30	防災・危機管理 対面：10名 オンライン：2名
	産業・地域振興 対面：10名 オンライン：0名
	子ども・子育て 対面：8名 オンライン：3名
令和7年10月20日（月）18:30～20:30	福祉・保健 対面：8名 オンライン：0名
	街づくり 対面：7名 オンライン：1名
	環境・リサイクル 対面：8名 オンライン：1名
	教育 対面：10名 オンライン：2名

配布資料

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ (資料1) 第3回タウンフォーラム資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ (資料2-1) 区全体の将来像案 ・ (資料2-2) 分野別の将来像案 ・ (資料3) MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について |
|---|--|

話し合いのテーマ

全体の将来像

残すべき表現・文言
追加・修正すべき表現・文言
削除すべき表現・文言

分野別の
将来像

実施方法

- ・ 第1回・第2回で実施したワークショップ形式とは異なり、第3回グループ会議では、付箋を用いた個人ワークは行わず、参加者の発言に沿って意見交換を行い、将来像の修正の方向性について議論しました。

2. 各グループの検討経過

2 各グループの検討経過

■本章での各分野のページ構成

○3回のグループ会議の検討経過を分野別に整理し、次ページ以降に掲載しています。

各分野のページ構成は、以下のとおりです。

○付箋に記載された意見は一部を抜粋し、表現の統一などの整理を行いながら、原文に近い形で掲載しています。

ページ構成		各ページで示している内容
第1回グループ会議	第1ラウンド	「守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史」をテーマに、模造紙を用いて付箋を貼っていきました。意見を整理し一覧化しています。
	第2ラウンド	「港区の誇るべき特徴・長所」をテーマに、模造紙を用いて付箋を貼っていきました。意見を整理し一覧化しています。
	第3ラウンド	「港区の将来像（理想の将来の港区の姿）」をテーマに、模造紙を用いて付箋を貼っていきました。意見を整理し一覧化しています。
	模造紙	完成した模造紙の写真です。
	グラフィックレコード	意見をグラフィックレコードでまとめています。
	検討のまとめ	意見を総括的に整理しています。検討のまとめをもとに区全体の将来像案を作成しました。
第2回グループ会議	第1ラウンド	「2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿」をテーマに、模造紙を用いて付箋を貼っていきました。意見を整理し一覧化しています。
	第2ラウンド	「2040年代から2025年の港区民へのメッセージ」をテーマに、模造紙を用いて付箋を貼っていきました。意見を整理し一覧化しています。
	模造紙	完成した模造紙の写真です。
	グラフィックレコード	意見をグラフィックレコードでまとめています。
	検討のまとめ	意見を総括的に整理しています。検討のまとめをもとに分野別の将来像案を作成しました。
第3回グループ会議	区全体の将来像に対する意見	第1回グループ会議をもとに作成した全体の将来像案に対して、意見を整理し一覧化しています。
	分野別の将来像に対する意見	第2回グループ会議をもとに作成した分野別の将来像案に対して、意見を整理し一覧化しています。



2. 各グループの検討経過

①子ども・子育て

グループ参加者

梅崎 健理	岡橋 愛子
金井 明	久木田 桜子
國松 温香	嶋 サキ
田端 美智江	中條 真衣
野村 宜弘	轟田 燎
福崎 綾香	森元 洋平
山本 香里	吉田 充和子
	他1名



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
自然豊か	公園が多いこともポイント！（理由：都心でありながら大きな公園が多い）	緑が多いことを守りたい！（理由：他の市区町村は意外と少ない）	子どもが遊べるところが多い
	公園（都会のオアシス）	公園がきれい	自然が多い
	公園が多い	緑が多い	
国際的	学校と大使館とのコラボイベント（給食など）	大使館含めた海外との連携	外国人の多く住むまち
	大使館が多い	外国人が多い	多様性
歴史	坂が多いことが好き！歴史的な坂が多いので、再開発でなくされるのでは…？	江戸時代から続く寺社仏閣がある	交通の歴史は新橋から
	昔からの町名がある	古い建物	寺院
	坂		
治安	夜間でも一人で歩ける（歩けた？）	安心して暮らせる	正月とお盆が静か
	近所付き合い	治安の良さ	

分類	意見		
利便性	買い物にも便利	利便性が良い	
行政	地域連携 あきる野の森	助成が充実している	施設がキレイ
	待機児童がゼロ		
経済	日本一レベルのブランド力	日本一社長が多いエリア	商店街（個人店）
	企業が多い	経済の中心	
地域のつながり	都会でありながらラジ体操やイベントなどで地域とのつながりが感じられる	子どもが参加できるみこしや山車	地域の祭りが多い
	各町のお祭り	イベントが多い	麻布十番祭り
	芝百年会		
景観	スタイリッシュな建物	まちがキレイ	運河が多い
	東京タワー	泳げる海	景観

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
子育て支援	子育て支援助成がしっかりしている	妊産婦へのサービスが豊か	子育てのフォローが多い
	子育てに関する助成金がある	助成が充実している	子育てのしやすさ
	子育て支援充実	子育てしやすい	
行政	共働きの要望を実現するスピード感がある	区民の声が行政に届きやすい	新しい取組を率先して実施
	公園で花火ができる	区の施設がきれい	LINE導入
	まちがオシャレ	ペット防災	
国際色豊か	子どもが意識することなく多様性を身につけられる	インターナショナルスクールがある	外国人も多く住んでいる
	大使館が多い	多言語対応の施設が多い	国際性と多様性がある
	国際教育の充実		
自然	都市と自然の融合	自然が多い	公園の充実
	緑が多い		
観光	海の清掃 ゴミ拾いイベント	レインボーブリッジ歩ける	歴史と近代建築の共存
	水上タクシー	東京タワー	

分類	意見		
教育	教育にも力を入れている	教育への意識が高い	公立の教育が充実
	先生の質が高い		
港区愛	港区が好き人が多い(大事にする人)	安定した人が多い(気持ちのうえで)	ネームバリューがある
利便性	地区による特色もありお散歩が楽しい	必要なものがほとんど手に入る	交通の利便性が高い
	おいしいお店が多い	交通の利便性が高い	駐輪場が多い
経済	社長の人数が多い	税収入が高い	企業が多い
	起業支援		

第1回グループ会議

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
美しい景観	おしゃれなまち	泳げる海	景観
教育	子どもが心豊かに過ごせる	ICT教育	良い教育
行政	スピード感のある新ルールづくり（柔軟性）	先生たちも働きやすい	環境にやさしい都市設計
	行政のスピード感	良いサービス	
経済	商店街の復活	経済強区	
国際色豊か	人種の違いや人権が尊重される	多様性を受け入れる共生社会	多様性を学べる環境維持
	多様性のある標識	国際色豊か	
子育て支援	子どもが笑顔で過ごせる	子育てがしやすい	子育て支援の充実
	子育て世代が多い		
自然豊か	公園などの屋外で家族や友人と過ごせる場所や時間が確保	都会的な部分と自然の調和	自然と都会の共存
	都会と自然の融合	緑あふれるまち	イチョウ
	緑の保全	緑が多い	
治安	マナーを守る治安の良いまち	子どもが安心して過ごせる	夜も歩けるまち（電灯）
	治安が良い	安心安全	

分類	意見		
地域のつながり	地域コミュニティが活発なまち	地域のイベントが多い	地域住民のつながり
	人とのつながり	地域の祭が活発	人口減を食い止める
	活気あるまち		
港区愛	港区愛		
歴史・文化	歴史的建造物の保全	歴史と近代化の融合	寺町が残っている
	芸術と創造の拠点		

New Vision
H I N A T O H I J Y O N - T O W N F O R U M

子ども・子育て

R7
8/15

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史



港区の誇るべき特徴・長所



港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討



2 各グループの検討経過 ①子ども・子育て

■区全体の将来像 検討のまとめ

●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 自然や景観、古くからの地名や交通の歴史、寺社仏閣といった歴史的な面、そして地域のお祭りや商店街、近所付き合いなど人のつながりを大切にしています。
- 運河や緑豊かな公園、坂の多い地形は、港区ならではの魅力です。
- 大使館が多く、国際的な雰囲気がある一方で、昔からの地名や伝統行事も残っています。
- 歴史や伝統だけでなく、人と人とのつながりも含めて港区らしさを次世代に伝えたいです。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 子育て支援など福祉面のサービスの充実、区民の声を反映した新しい取組、国際色豊かな環境、自然と都会が融合した景観などがあります。
- 緑豊かな公園多く、子育てしやすい環境が整っています。
- 区民の声が行政に届きやすく、自分たちがまちづくりに関わるといった実感があります。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 歴史的建造物と近代化が調和した街並み、安心して夜も歩ける治安の良さ、マナーの良い住民、子どもの笑顔があふれる教育・子育て環境、地域住民同士のつながり、商店街の復活などにより、地域がにぎわっています。
- 歴史や伝統を守りながら、国際都市として進化し、子どもや高齢者、外国人も安心して暮らせるまちとなっています。

港区が持つ「歴史・伝統」「国際性・多様性」「自然と都市の融合」「地域のつながり」という強みを、これからも大切にしながら、区民一人ひとりが主役となって、より住みやすく誇れる港区をつくっていきたいという思いが共有されました。守るべきものと進化すべきもの、そのバランスを意識しながら、誰もが笑顔で暮らせる未来の港区の実現に向けて、これからも区民同士で話し合い協力していきます。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	既存のコミュニティイベントを大切にす る（お祭り・季節行事）	正社員じゃなくても 保育園・学童に入れ る人が増えている	受験・習い事の心配 をしなくて良い（コ スト・手間）
	ご近所コミュニティ があって、助け合い ができるまち	外国人の子育て世代 との交流の場所で理 解し合える	子ども若者が外国語 が使えるようになって いる
	国内の人口の減少が 続く中、港区は人口 維持	中学校の校則が改善 されている	立場や考えが違っ ても意見がいいや すい
	支援が必要な人にす ぐ手を差し伸べられ る	子どもが安心しての びのび暮らせる環境	24時間いつでも子 どもを預けられる
	子どもの選択肢が増 える社会になった	緑が多く子どもの遊 び場が増えている	インターナショナル スクールの増加
	未就学児の無料施設 が増加している	駅などエレベーター の設置が進む	小中公立の国際バカ ロレア認定校
	誰でも子育てにお金 がかからない	都会のオアシスのよ うに緑豊か	子育て用品を買える 場所の増加
	公立の国際学校があ るといいな	みどりを意識的に増 やされる	子育てがよりしやす くなっている
	AI・ロボットと子ど もの共生	子ども一人で歩いて も安心	公園や室内遊びの場 の増加
	誰もが子育てしやす い	子どもの体力がアッ プしている	公立高校が見直され ている

分類	意見		
うれしい姿	子育てしやすいまち No1	子育て支援が進んで いる	遊具が充実している
	子育てが進んでいる	多文化共生が進む	自然がたくさん
	星・光が見える	子どもの居場所	地域で子育て

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
避けたい姿	無計画な都市開発により景観が悪くなる (公園や緑がなくなる)	授業はノートを使わずiPad・子どもの近視がより進む	都市開発による子どもの遊ぶ場が少なくならないように
	詰め込み教育(塾など)により子どもらしさがなくなる	子どもを対象としたネット・SNS犯罪が増える	子どもが大きな声を出せない、遊べない
	治安の悪化 子どもが一人で外を歩けない	子どもの居場所が少なくなっている	小学校・学童・保育園が足りない
	支援が必要な子どもが見えづらい	子どもの遊ぶ場が少なくなる	子どもにやさしくないまち
	稼ぐと子育てにお金がかかる	日本の文化を知る機会が減る	子どもが港区から離れる
	子どもの教育が家庭の自己責任	治安が悪化している	分断が進む
	空が見えない	緑が少ない	公園をつぶす
	不登校UP	相手を否定	子どもの孤立

第2回グループ会議

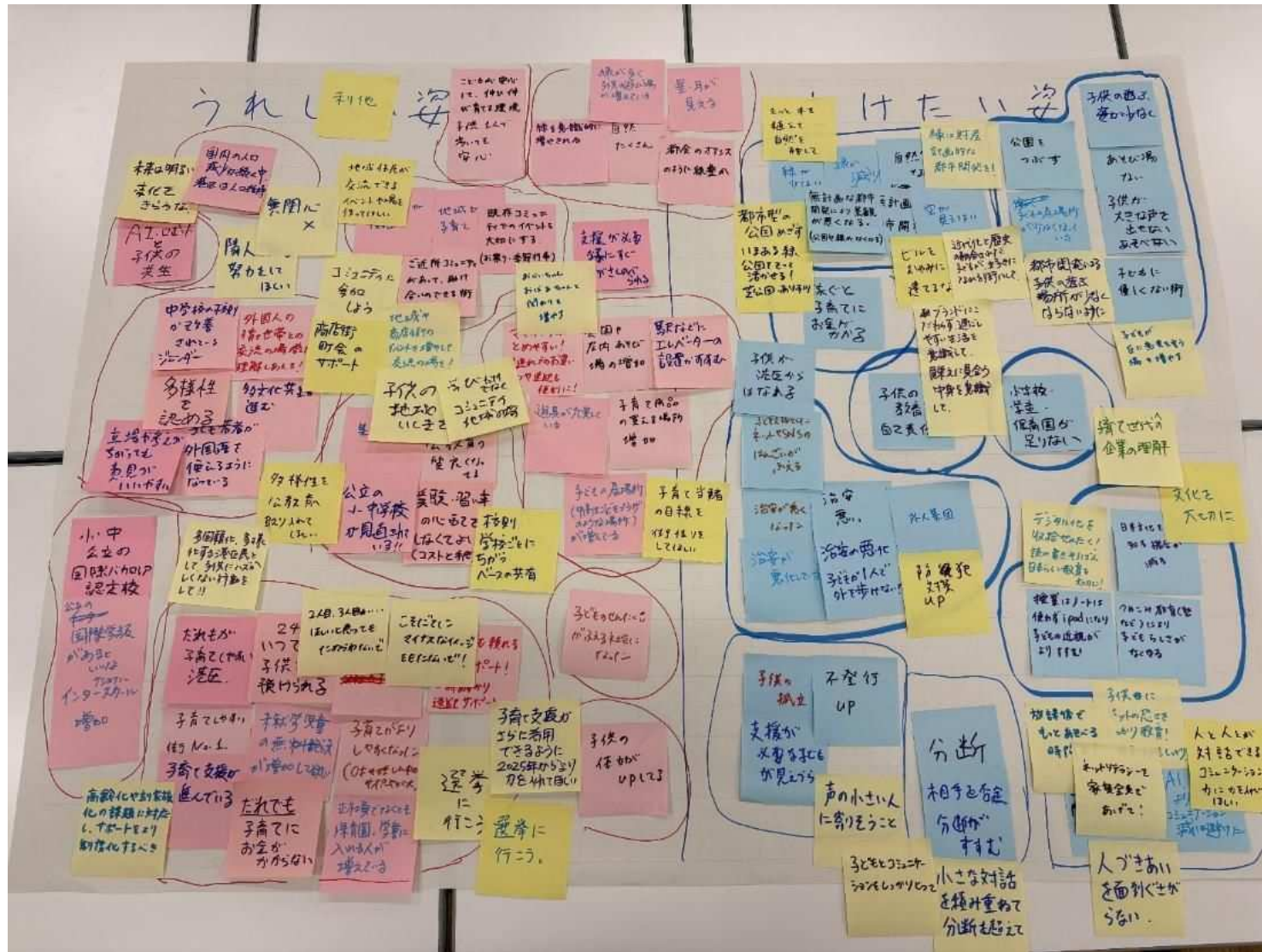
第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
環境	近代化と歴史の融合された子どもが好きになれるまちにして	都市開発による子どもの遊ぶ場が少なくならないように	今ある公園、緑をもっと生かせる！芝公園・有栖川宮公園
	ブランドにこだわらず、過ごしやすい生活を意識して	住民が交流できるイベントをつくってほしい	緑は財産・計画的な都市開発を
	もっと木を植えて自然を残して	子どもが意見をいう場を増やす	子育て世帯への企業の理解
	ビルをむやみに立てるな	子育ての当事者目線を	まちづくりをしてほしい
	都市型の公園を目指す		
教育	子どもとコミュニケーションをしっかりとって	子どもにネットの怖さをしっかり教育	ネットリテラシーを家族全員であげて
	放課後にもっと遊べる時間を		
子育て支援	高齢化や核家族化の課題に対応し、サポートをより制度化すべき	子育てで支援がさらに活用できるように2025年からより力を入れて	2人目・3人目がほしいと思ってもためられないで
	子育てにマイナスなイメージを持たないで	校則が学校ごとに違う ベースの共有	声が小さい人に寄り添うこと
	選挙にいこう		
コミュニケーション	人と人とコミュニケーションできる力に力を入れてほしい	小さな対話を積み重ねて分断を超えて	
コミュニティ	おじいちゃんおばあちゃんとの関わりを増やす	地域や商店街のイベントを増やして交流の場を	学びだけでなく、コミュニティ・地域活性の場
	商店街・町会のサポート	隣人を知る努力をしてほしい	コミュニティに参加しよう
	子どもの地域意識を	無関心×	
多様性	多国籍化・多様化する港区民として恥ずかしくない行動をして	多様性を公教育へ取り入れてほしい	
治安	防犯対策アップ	文化を大切に	外国人
テクノロジー	未来は明るい。変化を嫌うな		
文化	デジタル化を取捨選択！読み書きそろばん、日本らしい教育も大切に		

第2回グループ会議

第2回グループ会議（模造紙）



New Vision
MINATOビジョン・プランフォーラム

子ども・子育て

R7
9/5

2040年へタイムスリップした港区の姿を検討

多文化共生が進んでいる

子育てと仕事の両立支援

子育てに お金がかからない

子育てしやすいまち
テンパワマン

公園や屋内の
遊び場増加

緑が多い

うれしい姿

子どもの居場所
が増えている

支援が必要な
子どもが見えない

避けたい姿

学童や保育園が
足りない

子どもが
日本文化について
知る機会が減る

子どもが
孤立

AIによる
コミュニケーションが
減る

多くと子育てに
お金がかかる

緑が
少ない

子どもが
上がっている

子どもが
孤立

子どもが
区に
見えない

子どもと
コミュニケーションをとる

2025年の港区民へのメッセージ

自然を
残して

選挙に
いこう

うれしい姿を実現するために

子育て支援が
さらに活用できるよう
かま入れてほしい

2人目、
3人目を
ためらわない?

当事者目線の
まちづくりも

土地やコミュニティに
参加しよう

声の小さい人に
寄り添う

避けたい姿を避けるために

子どもが区に
見えない機会を

子どもと
コミュニケーションをとる

子育て世代への
企業の理解を
促す

近現代と
歴史が融合された
子どもが
まことに

日中らしい
教育を
あいつ

2 各グループの検討経過 ①子ども・子育て

■分野別の将来像 検討のまとめ

【子どもの人権】子どもが大切にされ、安心してやりたいことができる

- 豊富な選択肢
子どもが、やりたいことを自由に選べ、自己実現ができる社会になっていることが望ましいと考えます。
 - 子どもを守る
子どもの人権が守られ、安心して一人でまちを歩くことができるまちとなっている必要があります。
- ▶子どもの安全・安心を確保したうえで、多様な選択肢が用意されていることが重要です。

【子どもの居場所】地域で見守り、誰もが孤立せず居場所がある

- 子どもが遊べる場所
遊具が充実している場所や、暑い時期にも安全に遊べる場所など子どもが自由に遊べる場所が充実していることが望ましいと考えます。
都市開発で子どもが遊べる公園などが減少することへの懸念があります。
 - 子どもの見守り
子どもの孤立や、支援を必要としている子どもが見えなくなることへの懸念があります。
地域で子どもを見守ることができるよう、日頃から地域コミュニティに参加することが望ましいです。
- ▶子どもが遊べる場所の確保を念頭に置いたまちづくりや、地域の人々で子どもを見守り育てていく意識づくりが重要です。

【子育て支援】子育て支援の一層の充実で、もっと子育てをしやすく

- 経済的負担の軽減
子育てにお金がかからないことが理想的であり、収入が増えたことによる所得制限で子育て支援が受けられなくなることは望ましくないと考えます。
 - きめ細かな子育てサービス
もっと子育てがしやすくなるよう、多様なニーズに対応したきめ細かなサービスで、子育て支援が一層充実していることが望ましいと考えます。
 - 保育の充実
親の雇用形態によって保育園に入れないこと、保育園や学童が不足することへの懸念があります。
一時預かりや送迎の充実、親の働き方にあった保育の実現などが望ましいと考えます。
- ▶子育て支援を一層充実させ、子育てと多様なライフスタイルが両立できる、子育てしやすい環境づくりが重要です。

子どもも親も、より自由に生きられるまちへ

子どもが好きな場所で好きなことができるように、親が子育てを理由に仕事などをあきらめなくて良いように、必要な取組を進めることが重要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	鉄道発祥の地として交通網が充実し、 <u>トップレベル</u> の企業や大学、病院など、様々な機関が集まっています	<ul style="list-style-type: none"> 「トップレベルの企業や大学～」とあるが、中小企業やトップレベルではない大学も多い。トップレベルという表現はそれらを切り捨てたような印象があり、不適切ではないか。
	身近な場所にある <u>うるおい</u> とやすらぎが、人々に癒しをもたらしています。	<ul style="list-style-type: none"> 「うるおい」は漢字にした方が、視覚的にわかりやすいのではないか。
	多くの外国人が住み、大使館の半数以上が集まり国際性を享受する港区には、多様な価値観や文化を受け入れる <u>寛容な心</u> があります。	<ul style="list-style-type: none"> まちが主語の文章で「寛容な心」としていることに違和感がある。「寛容」の意味は理解できるが「心」に違和感がある。 「寛容」は上から目線な印象がある。「柔軟性」としたほうが良い。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、子育て・教育の要素がないことが気になる。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	今を引き繋ぎ、 <u>未来を創る</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> 「未来を創る」という表現は、未来志向で良い。
	「歴史と最先端」「都会と自然」「地域と世界」が交差し、 <u>多様な考え方や生き方が当たり前のように共存する</u> まち。	<ul style="list-style-type: none"> 「多様な考え方や生き方が当たり前のように共存する」は、もう少しまいい方がいいか。「共存する」を「尊重する」にしてはどうか。 「2040年代に向けて大切にしていく思い」では、「多様な価値観を認め合う」とうまくまとめているのに、将来像では「多様な考え方や生き方が当たり前のように共存する」となっている。「当たり前のように共存」というニュアンスに違和感がある。
タイトル	<u>新しい風が吹く</u> まち	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい風が吹く」は、チャレンジしていく姿勢が示されていて良い。
本文	これまで大切にしてきた歴史や文化を礎に、時代の変化を受け止めるだけでなく、 <u>日本のトップランナー</u> として新しい風を巻き起こしています。	<ul style="list-style-type: none"> 「日本のトップランナー」とあるが、いい過ぎではないか。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> どこかに1文字でも、子どもの要素が入っていてほしい。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていきたい）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	一見、相反するよう見えるものでも、 <u>互いを尊重し認め合いながら</u> 、手を携えて未来へと進んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「互いを尊重し認め合いながら」とあるが、歴史と最先端は尊重し認め合うものではないため表現として違和感がある。「互いを尊重し認め合いながら」は抜いてもいいのではないか。
	港区には、地域に想いを馳せる、たくさんの人たちがいます。 <u>区民をはじめ、働く人や学ぶ人。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「区民をはじめ、働く人や学ぶ人。」の文章に子育ての要素を入れられるのではないか。
	そして、 <u>企業や大学、NPO、町会・自治会、商店会など</u> 。港区という輝く舞台で、それぞれが可能性を最大限に発揮することで、区民の幸せとまちの発展を目指していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「企業や大学、NPO、町会・自治会、商店会など」羅列の中に、学校や教育機関などの要素を入れられないか。
	人と人との絆を紡ぎながら、 <u>港区に関わる全ての人が幸せを感じられるまち</u> を実現していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「港区に関わる全ての人が幸せを感じられるまち」に「子どもから大人まで」を加えてはどうか。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、若い世代の要素を入れてほしい。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	<p>子どもたちとともに。 今を生きる子どもを未来へつなぐまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「子どもたちとともに～、」は具体的ではなく、「～のまち」で統一しているのでなければ変えても良いのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「今を生きる子どもたちとともに未来へつなぐまち」はどうか。 ➢ 「子ども」が2回入るのはおかしいのではないか。 ➢ 「子どもたちとともにえがこう 今を生きる子どもを未来へつなぐまち」はどうか。 ➢ 大人だけでなく「子どもとともに未来を描く」という意図か。 • 港区の特徴、大使館の多さを生かした交流、情報リテラシー、といった話がない。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 外国人との交流、なら入れられるか。 ➢ 1回目の議事録を見て思ったのは、海外に行かなくても区で留学体験が実現できる様なまち、という要素はいかがか。 ➢ 「多様性」「共生」も入れられないか。
リード文の本文	<p>希望のサイクルが将来へと続き、誰もが笑顔で過ごせるまちが実現しています。 将来へ希望のサイクルがつながる、笑顔あふれるまちへ。</p> <p>今を生きる子どもたちも、やがて大人になります。 子どもも大人も、今だけでなく将来にも希望を持てるまちをつくること、未来の子どもたちの希望につながります。希望のサイクルが将来へと続き、誰もが笑顔で過ごせるまちが実現しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「希望のサイクル」が全体を通して2か所に入っている。 • 本リード文の内容は下段の本文の要約となるべきである。 • 「描こう」のイメージに関するワードを追加したい。 • 「子どもは地域の財産です」とする。「地域で育む」をキーワードにするべきである。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	子育てしやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> • タイトルは「子育てしやすいまち」が良い。しやすいから両立できる。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 環境が整っているから、安心して子育てができ、両立もできる。 ➢ 「子育てとやりたいことを両立できるまち」はどうか。
	<p><u>子育てとやりたいことを両立</u>できるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「地域」で育むまちにするべきである。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「地域」にはコミュニティと港区（行政の支援）両方を含むということか。 ➢ 「子どもを地域で育むまち」はどうか。みんなで、区としてというニュアンスを出したい。 ➢ 地域で見守り、だれもが孤立しないニュアンスはどうか。 ➢ 子どもは「社会」で育むまち、「みんなで」を入れたらどうか。
本文	<p>2040年代の港区では、遊具が充実した公園や安全に遊べる場所、わくわくする環境が整い、子どもたちがのびのびと過ごせるような、子どもが<u>一人でも安心して</u>出歩けるまちになっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「一人でも安心して～」を安心・安全というワードにするべき。 • 港区民は自信をもっと持って良い。10～20年後の区民に残したいものは「変わって良い」「自由」などである。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「変わってイける」「変化」というニュアンスを入れるべきである。「子どもを社会で育てる」というメッセージを込めるなど、皆の意見を集約したものが入ると良い。 ➢ 「変わるもの」、「変わらないもの」というワードが良いのではないか。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	年齢を重ねても、学んだり、ゆっくり過ごせる居場所がいつでも誰にでもあり、一人ひとりがやりたいことを自由に選べるようになっていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「年齢を重ねても～」について「年齢によって支援の在り方、必要な場所は変わる」ということ。表現が足りていないのではないか。 「年齢を重ねても～」は子どもだけではない。子ども目線、保護者目線、外交、ITなど、絡むものなのではないか。 「年齢を重ねても～」を「子どもの成長に合わせて」とするのはどうか。
	街中では段差などを気にせず、 <u>ベビーカー</u> や <u>子ども乗せ自転車</u> でも快適に移動できるようになっています。	<ul style="list-style-type: none"> 一文不要であると考える。 「ベビーカー」、「子ども乗せ自転車」の箇所が急に具体的である。また、子ども乗せ自転車は2040年にはないのではないか。
	<p>「<u>子育てしやすいまち</u>」 「<u>子育てとやりたいことを両立できるまち</u>」 の本文全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「子育てしやすいまち」と「子育てとやりたいことを両立できるまち」を合体すべき。 <ul style="list-style-type: none"> 子どもと子育てしている人という立場以外の子ども、親、別の目線を合わせたうえでもう一つ別に新たに立てると良いのではないか。 子ども・親・社会の視点を入れるべきである。 「子育てしやすいまち」に含まれている「保護者だけが悩みや苦労を抱えるのではなく、周りのみんなが子どもを見守り、支え、相談窓口にもすぐにつながることで、子どもや家庭の孤立がなくなっています。」を見出し3つ目として「子どもを地域で育むまち」に含めるべき。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	保護者だけが悩みや苦勞を抱えるのではなく、周りのみんなが子どもを見守り、支え、相談窓口にもすぐにつながることで、子どもや家庭の孤立がなくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもを地域で育むまち」に含めるべき。 保護者目線のまちの姿を再設定するに当たって「子どもを持ちたくなるまち」はどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 子育てもやりたいことも両立できるとニュアンスを入れるべきではないか。 「子どもを持つことが理想」とは書けない。持つことを強制するようである。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 子どもを持ちたくても持てないこともある。「望む人が」が良いか。
	一時預かりや送迎、夜間の保育など、きめ細かな保育サービスの充実により、子育てをしながら多様な生活スタイルを実現することができています。	<ul style="list-style-type: none"> 「子育てしやすいまち」に記載すべき。 「おむすび」、「こむすび」など、行政を使用しつつ地域とつながりも持てる良さや住んでいる人が自分も保育サービスに参加できる、子どもを安心して預けられるような要素があると良い。
	保護者だけが悩みや苦勞を抱えるのではなく、周りのみんなが子どもを見守り、支え、相談窓口にもすぐにつながることで、子どもや家庭の孤立がなくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもを地域で育むまち」に含めるべき。
まとめ	子どもや保護者に優しく、誰もが将来に希望を持って	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもや保護者」を大人/おとなとするべき。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「おとな」は漢字かひらがなか検討する必要がある。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがのびのびと過ごせるまち・子育てしやすいまち・子育てとやりたいことを両立できるまちがキャッチコピーが将来像となるという認識。抽象度が高いと港区の将来像としてはどうか。



2. 各グループの検討経過

②福祉・保健

グループ参加者

伊藤	文子	大久保	百合子
笠茂	修平	柏原	美季
片岡	佳和	佐藤	篤子
杉山	和彦	丹伊田	夏杏
新妻	扶美恵	松江	絵里
万石	久志	紫	はるみ
		他	1名



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
江戸	江戸時代のSDGs的考えを伝えていきたい	忠臣蔵関係の歴史遺産は残したい	大名屋敷跡 大名庭園の緑
	歴史を物語る文化財	多くの寺・神社	水路の活用
	江戸の石垣		
下町	都心ながらコミュニティがしっかりあるところ	小さな商店が多いところが好きだ	魅力的なお祭りを大切にしたい
	下町 麻布十番商店街など	泉岳寺行事を残したい	増上寺の盆踊り
	お祭りが多い	商店街	
みどり	近代日本の黎明期を支えた偉人（高橋是清公園）などの跡	公園や緑を守りたい	有栖川宮記念公園などの緑
	宮家の公園		
水辺	レインボーブリッジの夜景が好き	都市の再開発は続けてほしい	水辺の景観を大事に！
マインド	新しいものに取り組むチャレンジ精神は大事にしたい	ソフト面での端的な情報発信	
建造物	歴史と現在が融合した景色	歴史のある建物を残したい	戦時中の遺産は残したい
	台場（歴史）		

分類	意見		
国際	大使館が多く国際色豊かなまち	各国の大使館の見学をしたい	
歴史学習	昔の町名を復活してほしい	東京タワーができたとき	御田という地名
	戦争学習		

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
文化	都市機構と歴史・伝統が共生しているところ	(ブランド品) ショッピングが楽しい	ほしいものが手に入りやすい
	テレビ局が多い(マスコミ)	流行の先端を走るまち	グルメが楽しめる
	ワクワクさせるまち	文化の中心	
交通	交通の便がいい	道路の幅が広い	交通便利
	ちいばす		
豊か	(税収!) 大企業が多い	土地(地価)が高い	ITなどの先端企業
	法人税収が大きい	再開発が盛ん	財政が豊か
観光	海外の方々が訪れたい観光地になっている(東京タワー・六本木)	観光資源がいっぱい	
暮らし	海に面した立地 お台場など	路上禁煙なのが良い	コミュニティ
	治安がいい	学校が多い	病院が多い
	教育が強い	港がある	街並み
	医療		
子育て	子育ての制度は充実している	育児制度充実	卵子凍結助成
	妊婦に優しい		

分類	意見		
国際的	国際色豊か	大使館が多い	多様性がある
	外国人が多い		

第1回グループ会議

第3ラウンド

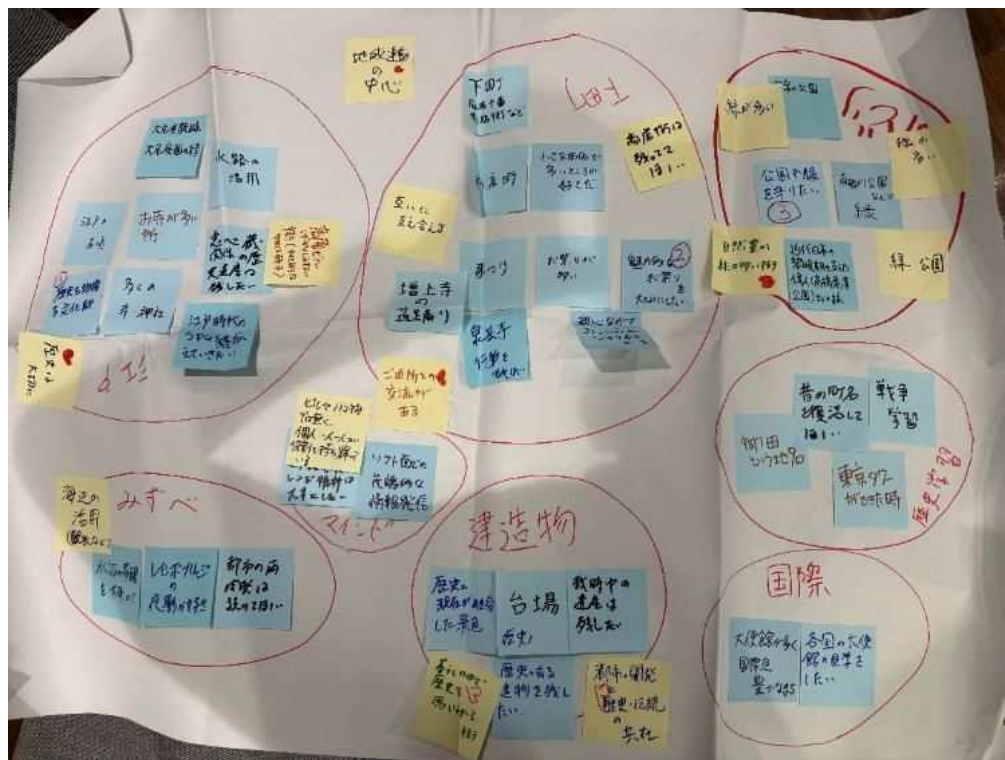
港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
江戸	高層ビルばかりではないまち（文化的なものは残す）	歴史は大切に	
暮らし	鍵をかけずに暮らせるくらい安全なまち	公共インフラは十分に整備されている	性差、年齢差を埋めるハイテクなまち
	最新の医療介護を受けたい	公共施設が充実している	ずっと暮らしやすいまち
	安全が保全されている	子どもからお年寄りまで	教育が充実している
	誰もが暮らしやすい	ずっと治安が良い	
建造物	暮らしの中で歴史を感じられるまち	都市の開発と歴史・伝統の共存	
交通	交通のよりハイレベルな安全	全ての工事が終わってほしい	リニア新幹線（品川）
	日本の玄関口		
国際的	国際共有でいつでもいける世界	国際色	
子育て	誰も取り残されない教育	子どもが増えている	
下町	商店街は残っていてほしい	ご近所との交流がある	互いに支え合える
	地域連動の中心		
文化	楽しいこと（ワクワク）が多い	流行・文化の中心であってほしい	先駆的なまち
	文化の中心	文化の発信	

分類	意見		
マインド	ビルや箱物ではなく、個人一人ひとりが役割を持ち輝いている		
水辺	海辺の活用（観光など）		
みどり	自然豊か	緑が多い	公園が多い
豊か	地価が高くなってほしい	財政が豊かであってほしい	大企業（税収）

第1回グループ会議

第1回グループ会議（模造紙）



New Vision
MINATOZONE - タウンフォーラム

福祉・保健

R7
8/19

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史



港区の誇るべき特徴・長所



港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討



■区全体の将来像 検討のまとめ

●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 港区が持つ江戸時代からの貴重な文化財や大名屋敷跡、寺社などの歴史的遺産が残っています。
- 下町の祭りや地域コミュニティなど、昔ながらの人のつながりを大切にしています。
- 守るべき緑や水辺の景観、公園など、自然環境があります。
- 歴史的な建造物や戦時中の遺産を伝えていきたいです。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 文化の中心地であり、流行や情報の発信地、そしてわくわくするような活気があります。
- 交通の利便性や「ちいばす」など区民の生活を支える仕組みがあります。
- 先端企業などが多く集まり、経済の中心地として栄えています。
- 治安や教育、医療など生活の質を支える面で高い水準にあり、安心して暮らすことができます。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 安全で治安が良く、誰もがいきいきと暮らしています。
- 財政の安定が維持され、豊かさを実感できる社会になっています。
- 都市開発が進む中でも、歴史や伝統を大切に、「新しさ」と「古き良きもの」が調和した街づくりが進められています。
- 多様性も受け入れられており、国際色豊かな街として、一層発展しています。

港区の伝統や歴史を守りながら、現在の強みを活かし、未来に向かってさらに暮らしやすく、活気ある街にしていきたいという思いが共有されました。
都市開発や国際化が進む中でも、地域コミュニティや自然環境を大切に、多様な人たちが安心して暮らし、誇りを持てる港区の実現を目指していきたいです。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	在宅医療のサービスが充実している	医療サービスが充実している	在宅で受けられるサービスが広がる
	ご近所にちょっとした熱くらいなら診てくれる町医者がある	健康でいられたら区から何かうれしいことがある	健康診断が若年層でも当たり前になっている
	生涯現役の区民	介護サービス施設が充実している	全てオンライン化して役所に行かなくていい
	老々介護の負担がない	高齢者/介護施設が充実している	介護・子育ての従事者の所得が高い
	多様な人との集う場ノウハウがある	全ての人が共存できるまちになっている	フリーな遊び フリーなカルチャー
	高齢者が楽しく元気である	子ども食堂 多様な食堂	世代間交流が活発
	仕事を休んでも復帰しやすい社会	妊娠中に無理に働かなくていい	安全な無痛分娩が当たり前
	第2子が生まれても利用できる産後ケア	妊娠・出産にかかる医療の保険適用	出産費用の全額補助
	妊婦健診の無償化	卵子凍結を活用する女子の増加	道路・駅における段差が改善されている (バリアフリー)
	区民同士、ご近所さんが声を掛け合って、一人暮らしのお年寄りもさみしくない	地域の連動ができるまち	危なくない街 ・緑が多い ・ルールが守られている

分類	意見		
避けたい姿	格差の固定化 親の所得階層が子どもにそのまま引き継がれ努力が評価されない	隣に住んでいる人がどんな人だかわからないと、いざというとき助けられない	保険料が高すぎるor受けられるサービス水準が低下している
	バス便の減少で出かけることが不便（高齢者・子育て）	民間救急や看護タクシーに関する認知が広がらない	外国人のオーバーツーリズム 風紀ルールの乱れ
	出産する病院・サービスを選べない	介護士の給料が安すぎて全滅している	アンコンシャスバイアスのない時代
	夜間休日の診察が受けられない	病院経営の難しさが改善しない	孤立・孤独死で寂しく亡くなる
	障害児の療育施設が減っている	高齢者が活躍できる場がない	開業医の閉院が増えている
	子どもが少なくなっている	医療者を目指す人が減る	高齢化が進んでいる

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
医療	社会的コストが増えないよう、ITなどの先進技術を日頃から使いこなす	保険で受けられる医療の種類を増やす	
高齢化	全員が主役（リーダー）全員が補佐（フォロワー）な区になろう！	孤独死を避けるため、人・社会とのコミュニケーションは大切に	なんでもデジタル化するので（ロボットも居るし）人と話そう
	人と常に連絡を取る		
コミュニティ	港区を大きな一つの家だと思って（世代・国籍の壁を除いて）助け合い精神		
福祉	孤独死を避けるため自治会や近所づきあいをしよう！	手厚くしてほしい	

第2回グループ会議

第2回グループ会議（模造紙）



New Vision
MINATOビジョン・タウンフォーラム

福祉・保健

RZ
9/3

2040年へタイムスリップした港区の姿を検討

介護サービス向上

妊婦も働きやすい環境

ボランティア/子ども食堂

出産/産後ケア 安全なまち

子育て支援の充実

歩きやすい

生涯現役の区民

うれしい姿

高齢者 楽しく活発

健康寿命 UP

共存

多様性

避けたい姿

夜間診療がない

保険料 値上がり

医療従事者が減る

利益優先のまちづくり

アクセス 悪

孤独死

チャレンジできない区

避けたい姿

安コンシャスバイアスだらけ

「保険料」値上がり

「医療従事者」が減る

「利益優先」のまちづくり

「アクセス」悪

「孤独死」

「チャレンジ」できない区

2025年の港区民へのメッセージ

うれしい姿を実現するために

医療・福祉に興味を持つ

血縁く地縁

子どもを大切に育てる

目かけ合い精神

多様な医療の選択

近所とのコミュニケーションができています

ホーリドクター? 地域で見守る

こんにちは!

避けたい姿を避けるために

サービス水準を維持しよう!

近所づきあいを大事にしよう

障がい者・難病者ももっと現役活躍ができるように

お互いを見守る 区民になろう

血縁よりも地縁を社会的コストが増えすぎないように

IT・技術を活用しよう

健康寿命を延ばすためにできることを!



2 各グループの検討経過 ②福祉・保健

■区全体の将来像 検討のまとめ

【健康】

- **健康寿命の延伸**
健康寿命が延び、一人暮らしの高齢者が元気に暮らしていることが望ましいです。
また、健康のために、健診・人間ドックを受診するなど、できることからやってみることが重要です。
 - **医療の選択肢**
大学病院だけでなく身近な診療所もあり、医療の選択肢があることが望ましいです。
また、医療従事者が減少し、病院の閉院が進むことへの懸念があります。
- ▶健康のためには、健康寿命の延伸を目指した一人ひとりの行動とともに、病気になったときの選択肢が確保されていることが重要です。

【高齢者・障害者】

- **孤立を防ぐ**
高齢者の孤立、孤独死への懸念があります。地域のつながりを維持し、積極的な交流や声掛けが重要です。
 - **社会的役割**
高齢者や障害者に対しては、支援を行うだけでなく、雇用されるなど社会の中で役割があることが重要です。
- ▶高齢者・障害者に対しては、介護などの支援を提供するだけでなく、地域のつながりや雇用などによる社会的な居場所の確保が重要です。

【介護・福祉】

- **人材の確保**
介護に従事する人材が減少していくこと、介護職の給料が安いことへの懸念があります。また、将来に向けて福祉に関わりたいと思う子どもが増えていることが望ましいです。
 - **介護施設**
介護施設の閉所が進むこと、介護施設の入居費用が高くなることへの懸念があります。
- ▶介護を志す人材が増えるような就労環境を確保し、希望する誰もが入居できる介護施設とともに、在宅介護も選択肢として確保することが重要です。

【妊娠・出産支援】

- **経済的な支援**
妊娠・出産にかかる費用の無償化や保険適用、妊婦が働きやすくなっていることが望ましいと考えます。
- ▶働き方や、持ちたい子どもの人数を自由に選択できるような妊娠・出産支援が重要です。

健康寿命の延伸と、全ての区民に合った支援や居場所の提供

今後は、区民の健康寿命増進を図るとともに、一人ひとりに社会の中での居場所と必要な支援を確保することが重要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
その他	全体	<ul style="list-style-type: none">ワークショップの内容を踏まえて良いことのみ記載している旨を書いたほうがいいのではないか。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	困ったときには、 <u>互いに助け合い、支え合う</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> 親族でないと運動会などに参加できなかったりするという課題がある。困ったときに助け合えるよう、環境を整えてほしい。文章では現状としてある壁なども言及し、具体的にイメージができるように修正できると良い。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンをもとにどのように行政に落とししていくのかが不明瞭となっている。きれいすぎるのではないか。ビジョンをもとに何が始まるのかについてもっと知りたい。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていこう）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	理想の未来へと進むためには、 <u>想いを一つにすることが不可欠</u> です。 港区に関わる全ての人とともに、3つの想いを胸に歩みを進めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「想いを一つにする～」という表現の後に、3つの想いがでてくるのは違和感がある。「想いを一つに」より良い表現があるのではないか。または一つ目の文章は削除でも趣旨は変わらないのではないか。
本文	<u>多様な価値観を認め合う</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「多様な価値観を認め合う」の文章の内容が価値観になっていない。「多様な価値観を認め合う」と「一人ひとりの幸せを願う」のタイトルを入れ替えたほうが良いのではないか。
	<u>一見、相反するように見えるものでも、互いを尊重し認め合いながら、手を携えて未来へと進んでいきます。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 何が相反しているのか、何を認め合うのかがわからない。もう少しわかりやすくしても良いと思う。色んな意見や色んな価値観のことをいっているのであれば、「歴史と最先端」「都会と自然」などは関係ないのではないか。
	港区には、 <u>地域に想いを馳せる</u> 、たくさんの人たちがいます。	<ul style="list-style-type: none"> 本文は前提であり、書かなくても良いのではないか。またはブランド意識やシビックプライドのことをいっているのかもしれないが、わかりにくい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「地域に想いを馳せる～」の部分は不要なのではないか。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	都心ならではの支え合いの輪をつくる。 一人ひとりが自分らしく暮らせる健康福祉先進市	<ul style="list-style-type: none"> 都心ならではの支え合いのイメージがしづらい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ご近所づきあいに限らず、都市ならではの連携の仕方ではないか。 都心の課題があるため、それもわかる形で表現するのが良いのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「都心にあった」または「孤立社会を解決する支え合いの輪をつくる」とすべき。 「なっています。」と語尾を合わせ、「支え合いの輪ができています。」でも良いと考える。
リード文の本文	高齢者や障害者、生活に困っている人など、誰にでも社会の中で居場所があり、 最先端のサポート を受けながら、健康で安心して穏やかに暮らしていけるまちになっています。	<ul style="list-style-type: none"> 最先端のサポートの内容がわからない。 誰一人取り残さないに関して、取り残されないのは誰かがわからない。
タイトル	誰にでも居場所があるまち	<ul style="list-style-type: none"> LGBTQなど性的にマイノリティな方に関することも含めてもいいのではないか。受け入れる方の気持ちも配慮しつつ、文章化してもいいのではないか。 本人のことであり、周りが合わせない方がいいのではないか。男性用施設、女性用施設どちらでも自由に入れるなどにあえてしなくていいと思う。 社会的弱者でも居場所がつかれるという意味合いにするのが良いのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「多様性を受け入れられるマインドを持った区民がいるまち」はどうか。 ➢ 「誰にでも～」があるからこのままでも良いと思う。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	みんながつながり合い、支え合うまち	<ul style="list-style-type: none"> • あまりに馴染みがある。そして、ずっと解決していない。深掘りできる表現が良いかと思う。 • 地域の方や区の方が声をかけている姿を率先して見せることが大事である。それを文章化するのはどうか。
	誰にでも居場所があるまち	<ul style="list-style-type: none"> • 「誰にでも居場所があるまち」、「みんながつながり合い、支え合うまち」の内容は同じ内容な気がする。分類を見直す必要があるのではないか。
本文	病気の際には、身近な診療所から大きな病院まで、治療方法など多様な選択肢の中から、自分の希望に合った医療サービスを受けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • 医療施設の整備が目的に感じられる表現になっていると思う。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ お金や施設の関係で希望する医療サービスを受けられない人はあまり多くいないと思う。「維持できる」「引き続きできている」のような表現の方が良いと思う。
	<u>困っている人がいれば声をかけるなど</u> 、自然なコミュニケーションを通じて支え合う地域のつながりが、都心ならではの形で築かれています。	<ul style="list-style-type: none"> • 声をかけると不審者になってしまうことが多い。声をかけやすい環境があってもいいのではないかと考える。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> • 全体を通じ、本当にできるか実現できるか不安がある。特に「みんながつながり合い、支え合うまち」は難しいと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> • 現実にあった文に合わせるか、文はそのまま対策や課題を明確に書く、どちらの方向性が良いか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 対策の方が重要であるため、文はそのまま対策や課題を明確に書くの方が良い。



2. 各グループの検討経過

③街づくり

グループ参加者

小野寺 学	川口 誠
菅野 七彩	幸田 千栄子
古瀬 淳史	斎藤 正信
笹井 一樹	新名 祐樹
関口 直行	中野 大亮
新居 辰彦	松尾 愛子
真鍋 浩	三田 夏実



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
下町文化	公園で開催されている祭が好きだ	「地元のお祭り」を残したい	昔ながらの商店街
	伝統 祭り	無尽の会	芝っ子
	商店街	老舗	闇市
先端企業	Tech企業 アントレプレナーが集まる街	高層ビルと緑が融合する景色	大企業
シンボル	東京タワーやモノレールなど高度成長のシンボル	レインボーブリッジ	東京タワー
	中央図書館	ヒルズ	
自然	緑・公園は残していきたい	自然豊かな公園	緑の多さ
	公園		
国際性	国際性 エキスパット、インバウンド、大使館が多いゆえ、多様性に富み化学反応の多い街であること	古くから外国人居住の多い歴史	国際都市としての立ち位置
	世界各国多様性		
食	多様なレストラン 食文化	食文化	

分類	意見		
歴史	神社仏閣が多いこと またそれぞれに歴史上の重要なことがあること	歴史的資産を守りながら郷土歴史館デジタルアーカイブがあること	伝えたい歴史 愛宕山にあるスカルノの石碑
	港区にあるたくさんの”坂”を大切にしたい	お寺・神社を大事にしていきたい	泉岳寺の歴史を伝えていきたい
	歴史ある寺院・公園・坂・各所	高輪築堤を次世代に伝えたい	寺町の伝統
	増上寺	伝統 治安の良さ	火消し
港	区名のとおり東京のウォーターフロントとしての歴史	古い価値ある建物を残したい	海辺の良さを活かしたい
	港町としての歴史	水辺の文化	運河
	港		

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
港	船の航路 国内航路があること	東京湾があること	
交通 利便性	飛行機も新幹線も30分圏	交通アクセスの利便性	ゆりかもめが便利
女性 支援	他区に先駆けた女性支援の政策		
子ども 支援	教育の質（レベル）が高い	義務教育の充実さ	子育てにやさしい
	子育てへの積極性		
メディア	メディアの最先端	流行の発信地	テレビ局が多い
防災	防災モデル 都市お台場	防災 ヒルズ	
国際性	外国人が多く子どもが国際性に慣れる	国際的であり大使館や外資企業	多様性と洗練性がある街
	国際性 多様性	英語の通じる店が多い	英語教育
	大使館		
公園・緑	芝公園や有栖川宮記念公園など緑豊か	公園が多い	緑が多い
住みや すさ	病院の多さ	受け皿	助成金がある

分類	意見		
治安の 良さ	日本で最も最先端なイメージ	整備されていて動きやすい街	グローバル企業の本拠地、アート、ガストロノミーなど
	最先端商業施設がある	低層地住宅街がある	治安が良い
歴史	古い価値ある建物などを残す文化、仕組みがある	寺社仏閣が残っている	歴史が他の区より多い
	お寺が多い	坂が多い	
職・ 住居	華やかな文化エリアと居住地域の両方が共存している	企業と住居が共存している	徒歩で生活できる
	職住一接近		
文化	「ランドマーク」のある街	有名な飲食店が多い	芸術の発信地
	図書館が便利		
ブラン ド	「ワンランク上」のイメージ	良くも悪くも港区女子	ネームバリュー
	税金の高さ	金持ち	
経済	外資系企業に選ばれる	所得水準の高さ	スタートアップ

第1回グループ会議

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
条例	区民評価事業のアンケート必要 事業の認知がされているか 年度予算前の説明	ゴーカートの港区での走行禁止の条例設置	トイレの適切化 男性用と女性用で行列の負担を均等化
	運河のにおい問題 水中調査で違法下水のプロット化	区民企画 ご近所イノバやミナヨクを他の地区へ展開	主権は区民に有り 行政や区議、委託業者ではない
	「泳げるお台場」の前に「泳げる運河」を目指す	ゴミ箱を販売量と関連し設置すること	路上喫煙に対して罰金化条例
子ども支援	働く女性、子育てする女性、地域のために活動する女性	子育てがしやすく教育も質が高い	子どもたちが楽しく成長できる
	グローバルマインドな子ども	女性の選択肢が多い	子育てしやすい
	子どもが多い街		
交通利便性	交通の利便さ、最先端の規制×安全	全世代の高いデジタルリテラシー	安心安全な街
	区外も参画できる街づくり	車の運転がしやすい	
下町文化	企業がやる町会コミュニティ	地元・近所の人との交流	世代をこえた交流
	祭りなどの伝統行事	地域コミュニティ	

分類	意見		
シンボル	老若男女、国籍を問わず、言葉や文化の壁をなくして、受容性と利便性の高い街へ！	国際的に認知される "MINATO" city	日本で一番国際的な街
	東京の「シンボル」	世界に情報発信する	国際性が豊かな区
	英語が通じる街	国際都市	
防災	防災 働いている人も受け入れできている	防災のレベルが高い区	
街	持続可能な建築設計 (デザイン×保全×防災)	便利な街 (生活圏がコンパクト)	地下道で区内どこでもいける
	コンパクトシティ	治安の良い街	バリアフリー
港	日常に海辺、運河を楽しんでいる	台場のビーチでいつでも泳げる	明るく楽しい水辺
	水辺が多い	海がきれい	魚釣りがいろんなところできる
歴史	古い価値ある建物など残す文化がある	歴史的×デジタルベース	歴史と最先端文化の共存
	区の職員が和装で出勤	歴史的建造物などを保存	最新技術の共存

第1回グループ会議

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
職・住居	生活の質（QOL）豊かな人間性	個人が”尊重”されるまち	老後を安心して過ごせる街
	多様な家庭像	人優先	在勤選挙権
自然	自然が残る大都会水辺、緑、坂	道の緑公園ビルの緑化が多い	景観の維持（緑の多さ）
	オフィス外でも緑が多い	自由に遊べる公園が多い	緑が保全されている
	外がきもちいい	緑の多い街	柵が少ない
行政	区職員がルンルン！（職員兼務）	日本語表記を残してほしい	大企業と区の連携

第1回グループ会議

第1回グループ会議（模造紙）



New Vision
MINATO City

街づくり

R7
8/18

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

港区の誇るべき特徴・長所

港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 港区には、寺社仏閣や100年以上続く老舗、お祭りなど、昔からの文化や人のつながりが今も息づいており、こうした伝統を次世代にしっかり残しつつ、近代的な街へと発展させていきたいという思いがあります。
- 外国人が多く住み、大使館や外資系企業、インバウンドなど、様々な人々が集まる国際的な街であることも港区らしさであり、多様性や国際性の拠点としての地位が確立されつつあります。
- 港町としての海や運河、緑豊かな公園など、ウォーターフロントとしての魅力や自然環境は独自の魅力です。守り続け、最先端と自然を融合していける可能性を感じています。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 港区は、支援や医療機関などが充実していて子育て世帯にやさしいまちであり、美術館や歴史ある公園、多彩な飲食店など、住みやすさや文化的な豊かさがあります。
- 空港や新幹線へのアクセスが便利で、治安の良さや防災対策の充実、教育の質の高さなど、様々な場面で暮らしやすいまちです。
- 外資系企業や大使館が多く、様々な価値観を理解し、住民や外国人、企業などが互いに関わり合いながら、共存しています。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 子どもが安全に歩ける、働く女性が子育てをしやすいなど、年齢や性別、国籍を問わず誰もが安心して暮らせる街になり、企業や区外の人でも参画できる開かれたコミュニティがうまれています。
- 公園や緑を守りつつ、ビルを緑化するなど、最先端の建物と自然が調和する大都会が実現しています。
- 世界に誇れるベイエリアとなるように港区のブランド力をもっと高め、どこでも歩いていけるようなコンパクトでスマートな、東京の象徴となるような街になっています。

歴史や伝統を大切にしつつも、時代の変化や多様性を積極的に受け入れ、より良い未来を区民や企業など、地域の様々な人たちの手で協力し合いながらつくっていくことが重要だと考えます。

港区は、国際性やウォーターフロント、快適な住環境といった多くの強みを持っていますが、その根本には、世代や国籍を超えた人々のつながりや、地域の文化、自然を守り、そして未来につないでいく思いがあること共有しました。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	各種手続きが極限まで簡素にオンラインで完結する（公共・民間）	交通インフラが整備され、自動運転が実現している	英語化 グローバルリテラシー 老若男女高い
	公園 ゆっくりとした街、お店 変わらぬ風景	いろんな人と気軽に交流できる場が整っている	技術とリテラシーを向上し、効率化が実現
	リニアもできアクセス利便性がより向上	街中でリラックスできる場が増えている	区画整備された道路車/自転車/人
	自然が残り、街と融合した港区が完成	最先端&持続可能高層ビル+緑化	名古屋が生活圏内になる（リニア）
	子どもが泳げるくらいきれいな水辺	高層、商業ビルが多くなっている	地域間の移動がしやすくなっている
	一目でわかる避難所が増えている	コミュニティの活動が増えている	区の職員が増える&事業者と連携
	海辺が歩道橋でつながっている	歩いて10分で公園がある	多様な人々が集まっている
	街路樹が高く、日影がある	区の職員がウキウキしている	国際化が一層進んでいる
	町会のあり方が変わっている	水がきれいになっている	緑で水と空が残っている
	地下道が涼しく歩ける	景観が統一されている	移動が楽になっている
	ベンチが増えている	公園が増えている	町と企業が連携
	海水浴ができる	ちいバス無料	犯罪がない
	駐車場無料		

分類	意見		
避けたい姿	手続きのためにその都度出かけなければならない 時間が限られる	日本全体が衰退し港区はどうか!? 地域外人口が集中する	外国語表記だらけになり、どこの国かわからない街
	空室、空のテナント、廃墟の多いビル・マンション	お店で英語が通じない テクノロジーも使える	高齢者が多くなり、生活が大変になっていく
	港区が水辺がなくなり内陸地になった	学生と街のつながりが少なくなっている	出自の違いによっていがみ合っている
	個性がなく、チェーン店ばかりの街	土地高くなって日本人誰も買えない	ゴミが散乱→リサイクル、ゴミ箱
	区民の住居の数不足や家賃の高騰	海辺の歩道が、分断されている	排気ガス・車・道路・ゴミゴミ
	日本人がいなくなってしまう	発展に伴うCO2排出量増加	コミュニティの活動が少ない
	緑がないビルの無機質な姿	シニアばかりになっている	保育園が少なくなっている
	ベンチがなくなっている	運河や港がさびれていく	ゴミ箱が民間でなくなる
	交通手段に進歩がない	公園が減っている	公衆トイレが汚い
	お祭りが減っている	水が汚い	海が汚い

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
インフラ	2040年は高温を見越して、緑化（ビル・道など）、地下道を増やすなどの計画をしてほしい	自動運転×代替エネルギー スマートシティ化	「地域」の分け方を抜本的に見直すべき
	洗練された息苦しくない地下道の活用	全ての自然保護ではなく、選択し集中	
環境汚染	税金の使い道を清掃費を増やす	トイレをきれいにする	水質改善に取り組む
行政	多様化に伴う犯罪率増加を避けるための制度や取組みを実施してほしい	区外の人にも施策に参画できるようにする	街づくりに参加
	街づくりに熱心な政治家に投票する	区外の人にも投資	
グローバル	日本語外国語に関わらずシームレスになるようAIを活用してコミュニケーションができる街づくり	外国人も増え続ける 多様な価値観、多様な理解力 ” 誰でもわかる ” 目線	いろんな人との交流を通じて新しい価値をつくっていく
	グローバルスタンダード×ジャパニーズエッセンス	言語のマジョリティvsマイノリティ	日本の歴史に興味を持つような教育
	港区から日本を世界に宣伝	過度な移民政策を辞める	若者に投資しよう
景観	今の港区の海辺を守るように埋め立てなどしないルールを作って実行	港区の水辺を守るため、開発できる土地を水辺に新たにつくる	建築物の評価制度（日本的建築物）
	緑を保全するための体制		
公共設備	ビジュアルな都市計画を今から	緑化目標を定める	
高齢化	高齢化社会に適応した社会（バリアフリー）の実現	高齢者・子ども・子育て中の女性 歩きやすい、移動しやすいという目線	地方からの人口流入に耐えられる住宅整備・街づくり
	高齢者、身体弱者が生活しやすい街づくり		
コミュニティ	プロフェッショナルとちゃんと連携	学生を飲食店に取り込む施策を	事業者も区の施策に参画できるように
	コミュニティ活動に参加する	事業者に選挙権	
自然	地球温暖化40℃が当たり前になると意識した緑化		
テクノロジー	徹底した利便性を追求して本質的な時間に集中していく	テクノロジーの進化は止まらない キャッチアップしていく	



【都市空間】国際都市としての可能性と美しさの追求

● 国際化が進展していく

国際化が進む中で、グローバルスタンダードとジャパニーズエッセンスの融合、誰にでもわかりやすいアイコンの整備などが必要であると考えます。また、国際化の進展に伴い、犯罪率の抑制や英語が通じる飲食店の増加が求められています。

● 美しい街並みをデザインする

景観に関しては、統一感のある街並みや既存の建築物を生かした景観、商業ビルとの調和など、美しさを重要視しました。一方で、街の個性が失われていくことや、廃墟の増加に対する懸念があります。

▶ 国際化が進展していく中で、日本らしさを残しつつ、国際水準の街づくりを進めることが重要です。

あわせて、統一感のある景観づくりなどを通じて、誰もが「美しい」と感じられる街をデザインしていくことが求められています。

【居住環境】水辺のにぎわいと緑の癒しが息づく街へ

● ウォーターフロントのにぎわいと緑の癒し

水がきれいになり、海水浴ができるようになっていたり、ウォーターフロントがにぎわいを見せていることなど、水辺には一層のにぎわいや発展を求めます。また、最先端の都市の中にも緑があり、着実に緑が増えているなど、都心でありながら豊かな自然環境の実現に期待します。

● 区民が安心して過ごせる場づくり

リラックスできる場所があることや、歩いて10分以内に公園があることなど、区民が日常的に憩い、気軽に交流できる場が必要であると考えます。そのためには、公衆トイレの清潔さの維持、犯罪の抑止、高齢者や障害者など多様な人への配慮など、安心して過ごせる環境づくりの視点を持つことが重要です。

▶ 港区ならではの水辺の特性を生かすとともに、水と緑を肌で感じられる心豊かな環境づくりが重要です。

また、清潔さや安全性、多様性への配慮など、あらゆる面から安心できる環境を整えることが必要です。

【都市基盤】人々が自由に行き交い、活動を支える都市へ

● 自由自在な交通と安全な道路環境づくり

自動運転技術の普及やリニア中央新幹線の開業により地域間の移動がしやすくなっていること、水辺沿いに整備された歩道があること、街路樹により日影が道路に確保されており夏でも安心して歩けることなど、交通や道路環境のより一層の発展が必要です。

● 人と街を支える基盤整備

地震などの災害時に避難できる場所が増えていること、2040年代の温暖化を見据えた対策の推進、代替エネルギーの活用促進など、街づくりの分野においても、防災や環境といった様々な視点から取組を進めるべきと考えます。

▶ 港区は陸・空・海の交通アクセスの要所であり、交通や道路の利便性や安全性を高めていくことが重要です。

また、防災や環境など多方面から都市基盤を整備し、人々の都市活動を支えていく必要があります。

今あるものと最先端を共存させながら、みんなで街づくりを進めていく

区民、在勤者、在学者、事業者など、様々な人々が街づくりに関わりながら、守るべきものと最先端の街を融合していくことで、港区ならではの魅力や価値を高めていくことが重要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	伝統と新しさが、 <u>出会い続けてきた場所</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「出会い続けてきた」が、イメージできない。どのようなつながりを持ってきたのかを示すとわかりやすい。
本文	鉄道発祥の地として交通網が充実し、 トップレベルの企業や大学、病院など、様々な 機関 が集まっています。国内外から多くの人が行き交い、まちは活気に満ちています。	<ul style="list-style-type: none"> 「鉄道発祥の地」と「交通網が充実する」ということは因果関係がないのではないか。発祥の地は歴史の内容として記載したほうが良いのではないか。 「機関」というワードの選定は適切なのか。
		<ul style="list-style-type: none"> 港区とわかるもの、港区の「ヘー」など、港区の特徴を示す具体的なワード、数値を記載する必要がある。
	全体	<ul style="list-style-type: none"> 区政として80周年であることに係る文言を記載したほうが良いのではないか。 文章で記載することでわかりにくさがある。箇条書きでも良いのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> 「まち」、「街」の使い分けがわかりにくい。 	

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	誰もが憧れる都会でありながら、そこには心が穏やかになる居場所があります。木漏れ日が差し込む公園や、輝きうるおう水辺の景色。	<ul style="list-style-type: none"> 「うるおう」は「潤う」の方が読みやすい。
	港区という輝く舞台で、一人ひとりが自分らしく、 <u>幸せに暮らせるまち</u> が実現しています。	<ul style="list-style-type: none"> 暮らせるまちという文言は上記文章での訪れるまちと矛盾が生じるため、「幸せに過ごせるまち」が良いのではないか。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 港区の特徴を記載する必要がある。江戸時代から近現代まで、具体的には、寺社仏閣から東京タワーなどを記載してはどうか。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていこう）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	2040年代に向けて大切にしていこう	<ul style="list-style-type: none"> 「2040年代の港区の将来像」にある3つの項目とリンクしているように見える。そうすると記載内容の不整合が気になってしまう。2040年代に向けてとすると、将来像の3つの項目と対応しているように見えるため、「港区民」「港区が」といった記載にしてはどうか。
	多様な価値観を認め合う	<ul style="list-style-type: none"> 標題と記載文章が連携しておらず、わかりにくい。
	一人ひとりの <u>幸せを願う</u>	<ul style="list-style-type: none"> 将来像に向けた想いとすると、幸せという記載は抽象的すぎて、適していないのではないか。
リード文	理想の未来へと進むためには、 <u>想いを一つ</u> にすることが不可欠です。港区に関わる全ての人とともに、3つの想いを胸に歩みを進めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「想いを一つ」は、後続の「3つの想い」、多様性などと矛盾するので、表現を改めてはどうか。
本文	港区には、地域に <u>想いを馳せる</u> 、たくさんの人たちがいます。	<ul style="list-style-type: none"> 「想いを馳せる」の「、」は入れない方がよい。
	<u>区民</u> の幸せとまちの発展を目指していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 区民に限らない方がよいのではないか。港区に関わる人としてはどうか。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 3点を大切にすることで、2040年の将来像の実現にどのようにつながるかがわかりにくい。つながりを示せないか。
		<ul style="list-style-type: none"> 区民が主体となったまちづくりの視点を入れるべき。
		<ul style="list-style-type: none"> 港区のものであるならば、全体としてさらに具体的に記載したほうがよい。
		<ul style="list-style-type: none"> 3つの想いの視座をあげ、想い、感情、感性と整理してはどうか。例えば、世界をリード、いるかがくる、子どもが一人で遊べるといったくらいにイメージしやすいとよい。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	みんなで創ろう。 心潤わせるグローバル・ベイフロントシティ	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル・ベイフロントシティ」というワードの選定について要検討である。
		<ul style="list-style-type: none"> もう少しわかりやすい表現が最適なのではないか。横文字ではなく、日本語を採用することも一つの案である。
		<ul style="list-style-type: none"> 街づくりが由縁のワードを選定したほうが良いのではないか。他区と比較し、港区ならではの要素を抽出し、採用する検討方法が良いのではないか。「ベイフロント」というワードについては受け取り方が様々であることから再検討の余地がある。
		<ul style="list-style-type: none"> 「人を中心として」という観点を将来像に組み込みたい。
		<ul style="list-style-type: none"> グローバルではなく、どのようにして古い町並み（歴史など）を守るか、住みやすい街（区民など）にするかがテーマであった。そのため将来像タイトルを再考すべきである。「伝統文化」に係るワードを記載したい。
		<ul style="list-style-type: none"> 「みんなで創ろう」という文言はこれまでの協議内容に沿っていないと考える。
タイトル	グローバルスタンダードな美しい都市	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバルスタンダード」というワードでは広義過ぎてしまう。伝えたい要素を具体化して明記すべきではないか。港区ならではの要素を検討したい。
		<ul style="list-style-type: none"> 区民が創る港区が「世界をリードする」といった先のイメージを記載する。
		<ul style="list-style-type: none"> 「グローバルスタンダード」というワードを中項目のタイトルにタイトルにすることは避けたい。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	2040年代の港区では、世界中から訪れる人々の活気が街中に広がり、国際色豊かな雰囲気を感じられます。	<ul style="list-style-type: none"> 地方など衰退している地域を支える方向性を示したい。 「2040年代の港区では、世界中から訪れる人々の活気が街中に広がり、国際色豊かな雰囲気が感じられます。」は締め文章で良いが、冒頭の文章としてはふさわしくないのではないか。 都市空間と居住環境は同様のコンテンツではない。ウェルビーイングなどを追加することも検討してはどうか。「空間」に寄ったテーマなのではないか。「人」(子ども・国際・年配者)「心地」(やさしさに満ちた・リラックスできる)の要素などの3分類で記載したほうが読みやすく伝わりやすいのではないか。
	グローバルスタンダードと日本らしさが融合した街並みは美しく、歩く楽しさへとつながっています。カフェやレストランでは、様々な言語が飛び交うなど、多文化交流が日常に。	<ul style="list-style-type: none"> 日本らしさから港区らしさに変更した方がいいのではないか。「港区らしさとグローバルスタンダードが融合した」という文章にしたら良いのではないか。
	歴史ある建物と最先端の街が調和し、港区ならではの個性が街の様々な場所で輝いています。	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史ある建物と最先端の街が調和し」の部分を強調したい。グローバルではなく、伝統を主旨にしたい。地区ごとではなく、区として統一感のある街づくりを実現できる方向性で文章を記載してほしい。 「港区ならではの個性」、このワードが明確に確立していないことが文章がまとまらない要因なのではないか。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	<u>ウォーターフロント</u> には澄んだ水辺があり、都心のオアシスとして親しまれています。	<ul style="list-style-type: none"> 「ウォーターフロント」というワードではなく、他の語を選定したい。
	水辺と緑あふれる癒しの都市（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に文字数を統一したほうが良いのではないか。読み込んでわかるのではなく、広く読んでもらえるような工夫が必要なのではないか。 文章構成としてわかりにくいのではないか。直接的なイメージにつながらないのではないか。人と都市の両要素が混ざってしまっている。両要素を切り分けて表現したほうが読み手がわかりやすいのではないか。 「水辺に接した港区」「運河の水質改善に取り組み、継続する港区」になれるような文言を記載してほしい。 「イルカがくるような運河」「食べられる魚がいる」などといった水がきれいと思えるような文章を組み込んでどうか。 ➤ 読んでいてわくわくするか、わかりやすいかが重要であると考えている。
	<u>身近な場所には公園があり、子どもたちが元気に遊ぶ姿や、地域の人たちがリラックスしながら交流する様子も見られます。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な場所には公園が～」以降は個人的には既に大部分が達成されている。そのため2040年の港区を創っていくうえでこの文章を短くまとめたほうが良いのではないか。
	高齢者や障害者をはじめ、誰でも安らかに暮らし続けられる、 <u>やさしさに満ちた環境</u> が整っています。	<ul style="list-style-type: none"> 都市が人に与えるやさしさなのか、人が人に与えるのか、わかりづらいため、削除しても良いのではないか。
	人々の暮らしと活動を支える都市（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 年間の行事や催しが本文に組み込めれば（ハード・ソフトの棲み分け）、より読みやすくなるのではないか。 治安にも言及してほしい。安全で心配のない街をイメージできる様な文言を追記してほしい。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	人々の暮らしと活動を支える都市（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化しても安心して過ごせるまちといれるのはどうか。 ・ ごみ、トイレの改善（＝清潔感のあるまち）を入れるべき。 ・ 路上喫煙、ゴーカート、深夜暴走車の規制に係る文言を記載してほしい。（＝安全・安心なまち） ・ テクノロジーを活用して「子どもが一人で電車に乗れるまち/冒険できるまち」（守られるべき者が安全に生活できる）といった安全・安心が連想できるような文章を組み込んではどうか。
	リニア中央新幹線が開通し、自動運転車も当たり前前に走るなど、遠くへの移動もスムーズで便利な毎日が広がります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 港区特有ではないことから記載しなくても良いのではないかな。
まとめ	様々な人が街づくりに関わり、それぞれの夢やアイデアがまちの魅力を高めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漠然としている。（区民、在勤者、在学者、事業者などを明確に記載したほうが良いのではないかな）



2. 各グループの検討経過

④環境・リサイクル

グループ参加者

阿部	直	伊藤	里沙
後藤	佳与子	小西	晴子
近藤	貴子	高木	信彰
寺内	純子	中村	真由美
藤田	悦雄	古川	敦子
森	一	横尾	有哉
吉田	奈穂子		



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
水辺	大きな公園（浜離宮、有栖川など）	海や川をキレイに	橋のある風景
	運河と水辺	水辺	
歴史	古くから続く祭 赤坂→氷川祭礼	地域の伝統 つながり を残したい	古いものと新しいもの の融合
	昔から住んできた方を 大事に	過去、現在、未来の 集合地	歴史的な神社・仏閣
	東京大空襲の記憶	歴史のある公園	通り
	台場	坂	味
都市と自然の 共存	生物多様性に配慮した まちづくり（東京ポ ートシティ竹芝）	自然教育園etc. 有栖川宮記念公園	土、樹、虫、動物が 好きだ
	森林伐採をしていない	クリーンな大都市を	都市と自然の共存
まち づくり	大きな再開発の必要 性 将来性？	5支所（地域）の特 徴を活かす	今あるまちを守る
	アートの発信	東京タワー	神社仏閣
	祭		

分類	意見		
グロー バル	国際化 双方向のコ ミュニケーション （例：パリ）	多種多様な方を受け 入れるところ	海外から来た方との 共生
	相互理解を大事に	日本をリード	国際交流
	大使館が多い		
人	港区の最大のリソー ス「人」を活かす （観光スポットをア ピール）	企業・行政・区民の 絆（機会）を深めた い	

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
福祉コミュニティ	高齢者（在宅）介護支援は充実している	町内会で子どもも集まる（少ないが）	子育て支援の制度が充実
	医療施設も充実している	子どもの支援が割とある	発達障害支援もある
	児童養護施設は多い		
観光	都内でも大きなランドマーク（東京タワー、レインボープリッジ）	観光地が多くて楽しい	おいしいお店
	東京タワー	観光名所	
歴史	ビジネスライフアートの集合	歴史的な場所→教育に良い	歴史深い建造物の多さ
	お寺が多い		
企業	企業の本社が多い→出前授業	大企業を含めた企業の多さ	産官学連携の強さ
潤沢な税収	税収が多い	潤った財政	
多様性人材	多様性とopenさを大切にしている	海外のユニークな料理のお店	グローバルな雰囲気環境
	近所にすごい方が多い	グローバルな雰囲気	他者を受け入れる
発信力	マスメディア（TV）多い 発信力	テレビ局の多さ（マスコミ）	注目される存在
	圧倒的認知度	日本の中心	

分類	意見		
治安	治安、柄、品が他の区より良い	治安 大使館、政治家警察官製多い	民度が高い
運動・wellness	wellnessの高いくらいがしやすい（ヨガ、ピラティス...）	注目される競技場	
交通	都心どこへもアクセスが良い	地下鉄などの交通網の便利さ	自転車の移動が便利
	交通の便が良い		
環境	農薬をまいていないのでハチをはじめ生物が暮らしやすい	オーガニックや認証商品が多く販売されている	都会のわりにペットが暮らしやすい緑地
	他区に比べ公園にゴミ箱を設置している	水辺が多い→親しめるものにしたい！	整理された街（建物、マンション...）
	景観が良い（建築、自然）	ペットOKのカフェが多い	都市と自然の共存
	虫、鳥、樹がある	都市と自然の融合	意外と公園が多い
	緑被率の高さ	海がある	

第1回グループ会議

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
環境	ペットが暮らしやすい（家、外食、運動、病院、保護）	生物が暮らしやすい（無農薬、グリーンコリドー）	ノラ猫がいなまち（捨てられるものがない）
	CO ₂ の排出を減らしたサクセスストーリー	豊かさと環境のバランスがとれている	再エネ率100% RE100！
	カーボンニュートラル実現したまち	プラスよりマイナス環境の良さ	カワセミやハヤブサが飛んでいる
	虫、樹、鳥 動物と共存できる	リユース、リサイクルの重視	公園や観光地にゴミ箱が整備
	ペットを大切に命を大切に	自然と都心の共存できるまち	脱炭素 先進都市発信！
	緑が多い 23区で1番	ペロプスカイトの促進	資源の循環が最先端
	緑地を減らさない	自然を増やし守る	自然が多いまち
水辺	水辺のきれいなまち 運河・川・台場	水辺に親しめるまち（山一川一海）	
歴史	新しいものと歴史あるものの共存	受け継いだ歴史を守り続ける	歴史と最先端の融合
	歴史的建物の保全		
まちづくり	変えてはいけない物と変えなければならぬ物が明確になっている	何世代も同じ土地に住める	建物、ビルの再生

分類	意見		
福祉コミュニティ	シニア世代も支える子育て支援 地域共生社会	コミュニティでの助け合い	防災
潤沢な税収	潤った財政の維持！		
多様性人材	国や地球規模で物事を理解し、行動する仕組み	外国から来た人と心地よく共生している	コミュニケーションツールが多いまち
	日本の良さとグローバルの共存	お互いに理解しようとするまち	人の多様性を大切にすまち
	昔からの人々との相互理解	港区立の教育の向上！	知ること 理解
発信力	世界の先駆都市へ		
治安	公園や観光地にゴミ箱が整備	安心・安全 治安の良さ	



環境・リサイクル



R7
8/18

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

味を守る 東京天空祭 企業・行政
 公園 水辺 自然 再開発はか? 歴史 都市 まちづくり
 国際交流 グローバル 運河 今まで住んでるとの相互理解 神社 坂 Art
 森林 係保

港区の誇るべき特徴・長所

Community 福祉 交通 多様性 人材
 潤沢な税収 観光 企業 環境 運動 wellness
 歴史 発信力 治安

港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

変えてはいけないこと
 変えるべきこと

再生率 100% CO2 排出 ↓ 昔があるから 今がある
 歴史と最先端の 融合

つなげることを知る
 人の多様性 大切に 地域 Community 大事に
 シニア世代

生き物 暮らしやすい 緑 資源の 減らさない 循環
 ヘルプが 暮らしやすい 助け合いのまちへ
 かんこいまちだけど あたかいまちへ

●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 水辺や有栖川公園などの自然、地域に根付いた社寺や仏閣、そして東京大空襲の記憶など、歴史的な資産があります。
- 再開発が進む一方で、都会の中に自然が息づく「都市と自然の融合」を守るべきだという意識も強く、地域の伝統や味、坂、通りなど、日常の中にある歴史や文化にも誇りを持っています。
- 多様な国籍やバックグラウンドを持つ人々が共生する港区ならではの国際性や多様性も、私たちが継承したい大切な価値です。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 子育て支援や医療・介護施設の充実、町内会といったコミュニティの温かさが港区にはあります。
- 水辺や公園などの自然環境、都市景観も魅力です。
- 治安の良さや交通の利便性、民度の高さも誇りであり、観光名所やおいしいお店、企業・テレビ局など、港区が持つ発信力や財政力も将来への強みです。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 自然と都市が共存し、生物多様性が守られるまち、資源循環など環境に配慮したまちづくりが進んでいます。
- 多様な人が互いを尊重し、日本らしい良さとグローバルな価値観が共存しています。昔から住む人と新しく来た人が相互理解を深め、世代を超えて同じ土地に住み続けられる地域共生社会、コミュニティの助け合い重要視されています。
- 港区が世界をリードする先進性や財政の潤いを維持しつつ、新旧が共存するまちとなっています。

歴史や伝統、自然と都市の融合、多様性、コミュニティのつながり、先進性と発信力といった港区の強みと、これから守るべき価値を改めて確認できました。港区は変化の大きい地域ですが、私たちはそれぞれの価値を未来につなげ、誰もが安心して住み続けられるまちづくりに、区民一人ひとりが参加していきたいと感じています。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	外国の人もごみ分別が理解できるシステムが整備され、取り残されていない	運河と海岸がにぎわい(家族)釣りもできるよになっている	行政・企業・住民のコミュニケーションで成功した温暖化対策
	物が循環している(おむつ、服、食べ物、金屑、油…)	自転車・車それぞれに配慮した道路整備(ドイツのように)	生き物が生活しやすくなった 花も木も虫も鳥も増えた
	家庭菜園をしている家が増えている 自給自足→ゴミ減	川がきれいで水草が見える市民のいこいの場所になる	ビルの窓が全て太陽光パネル!再エネ100%都市
	創エネ先端大都市になっている(ペロブスカイト)	ランナーだけではなくスイマーも!(川や海で)	知らないことをたくさん知るチャンスが増えた
	コミュニケーションツールが増えてよかった	区の公園で住民が掃除する姿(コミュニティ)	環境に興味ある人がマジョリティになっている
	公共施設が増えている→冷房の共有(日中)	みんなで協力してリサイクルできている	子どもたちが遊べるくらいきれいな海や川
	EVや水素ステーションが充実している	生物多様性 ウナギ(絶滅危惧種)復元	ペットや地域ねことの共生ができている
	産官学住の連携で最先端Cityへ!	企業・行政・市民で決める区の姿	リサイクルなどの最先端City!
	食べ物を無駄にしなくなった	再エネ50%に貢献した港区	リユース当たり前になった

分類	意見		
うれしい姿	養蜂がたくさん行われている	自転車の移動がより便利	区の面積の半分近くが緑
	外来種が抑制されている	水素社会が見えている	コンポスト当たり前
	誰とでも協創、協働	環境都市みなと区	泳げるお台場

分類	意見		
避けたい姿	相手のバックグラウンドを知らないのに批判拒絶しない(ごみ捨て方とか)	温暖化の加速により日中人が歩いていない	裏路地が汚くなっていく(外国人の増加)
	さらに温暖化 二季化 40℃当たり前	紙が使われ続ける…(無くしてほしい)	暑すぎて外に出られなくなっている
	電力の高騰で家にいらなくなっている	排気ガスによって都市が暗くなる	海面上昇 バイエリアが浸水
	環境への関心の低さ	再開発が進んでいる	星が全く見えない
	大きな樹が少ない	差別が増えている	人工物が多い

第2回グループ会議

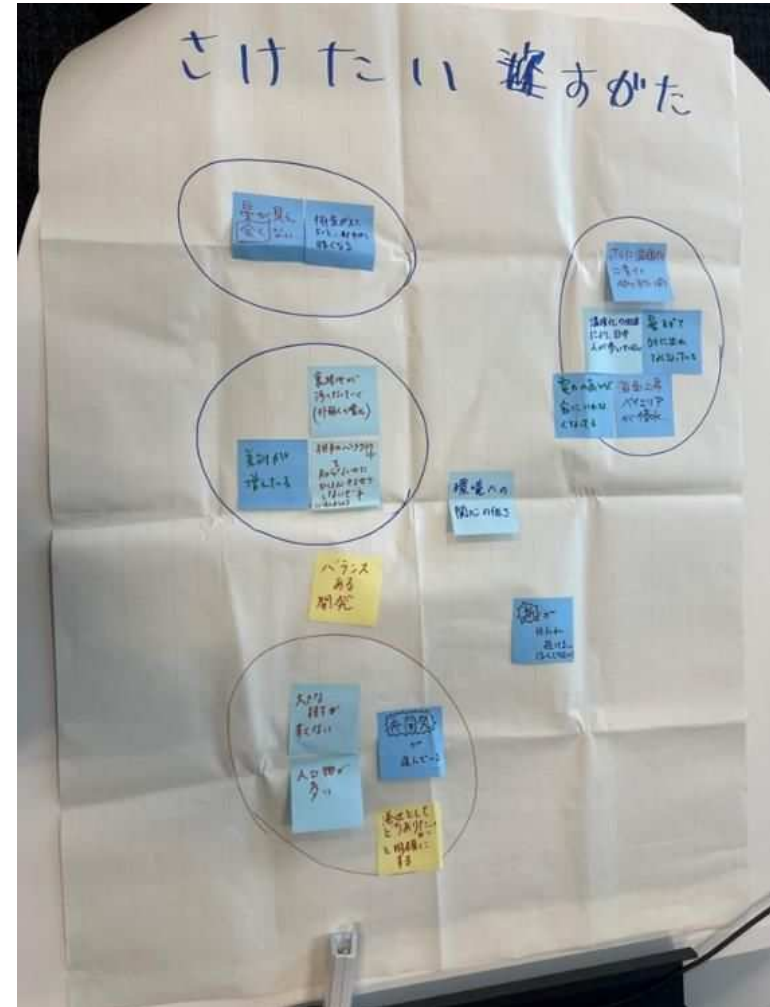
第2ラウンド

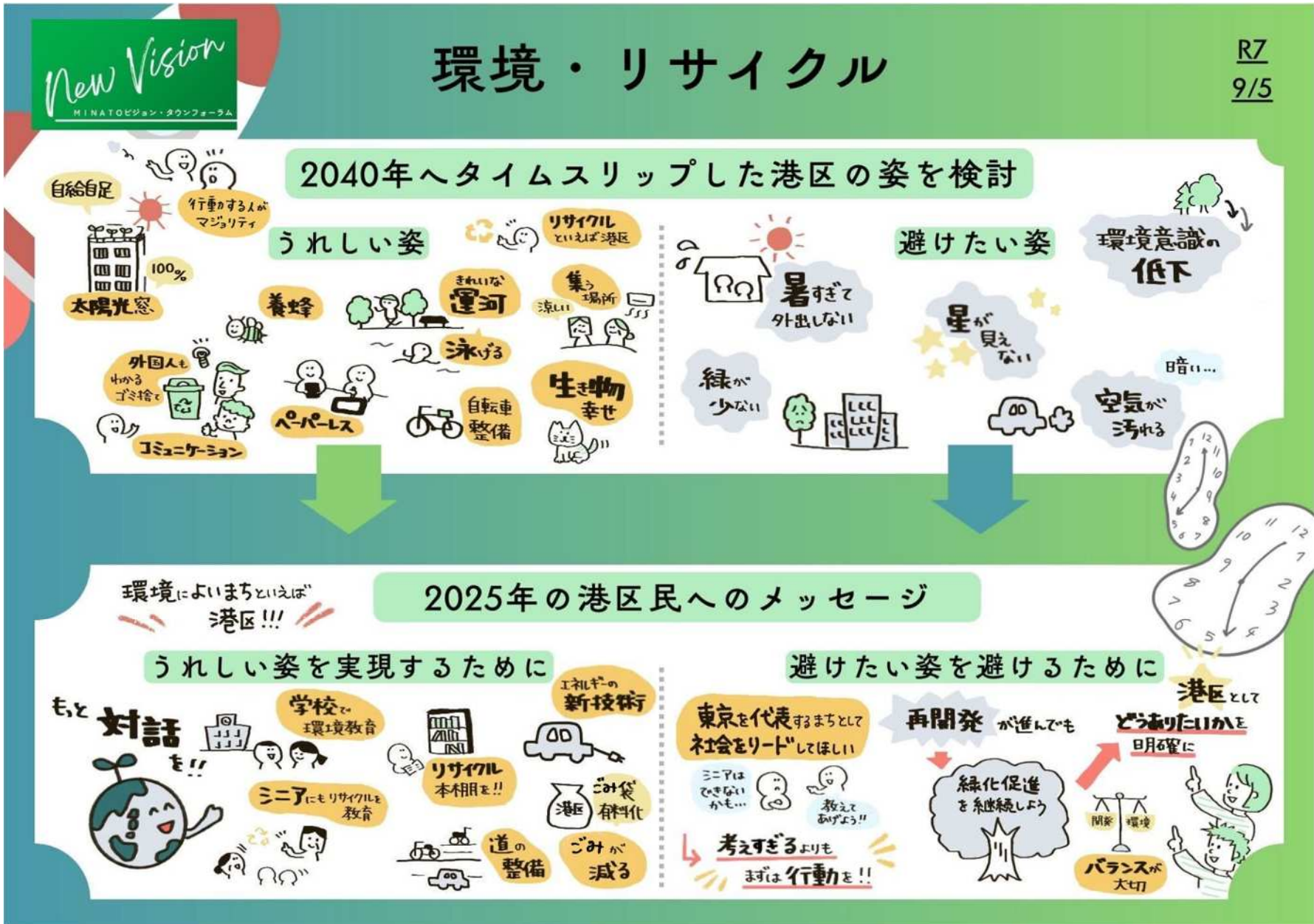
2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
エネルギー	日本の大都市という自信とプライドを持って引き続き頑張ってもらいたい	2040年再エネ先進都市に向けて自分のできることに集中したい	エネルギー安全保障の意識をもっと高めてほしい
	エネルギーの新技术にもっと投資してほしい		
コミュニケーション・意識改革	環境問題を真摯に受け止め行動する人が増えてほしい（このメンバーから派生して…！）	学校・会社・単位でも今日のダウンフォーラムのような話し合いをしてほしい	行政・企業・区民のコミュニケーション目的と手段を明確に伝える
	隣人、近所の人を知り、仲良くコミュニケーションを取ってほしい	区民全体の環境への関心を高める活動ツールをさらに充実	民間と行政のコミュニケーション機会をより豊富に
	コミュニケーションツールをたくさん持つ	MINATOビジョン会議のような会議をしていく	区民への情報共有をもっと効率的に
	シニアの意識改革	もっと対話を！	
サーキュラー	セカンドハンド/リサイクル（本のリサイクル・ごみの削減）	ゴミの分別の徹底のためできることをする	いろいろなもののリサイクルに挑戦してほしい
	ゴミ袋有料化（収入に応じて）無料	もっと細かく分別する	
自転車	自転車が走りやすくなるような施策	自転車道の整備をしてほしい	自転車のエコ活用
社会	港区としてどうありたいかを明確にする		
生物多様性	2040年に向けて緑化を東京でNo1 引き続きがんばって！		
まちづくり	バランスある開発		

第2回グループ会議

第2回グループ会議（模造紙）





2 各グループの検討経過 ④環境・リサイクル

■分野別の将来像 検討のまとめ

【脱炭素】技術と行動で進める、脱炭素なまち

- 環境技術が進んだ都市へ
ビルの窓が太陽光パネルになり、電気自動車や水素自動車が街中を当たり前のように走るような、環境技術が進んだ都市となることが望まれます。
- 温暖化への危機感
温暖化が進行し、猛暑が深刻化することで外出が困難になったり、海面上昇などの深刻な影響が現れることが危惧されます。
- ▶ エネルギー安全保障の意識を高めることや、環境技術への投資、そして自転車の積極的な活用などエコフレンドリーな移動など、一人ひとりができることから取り組んでいく必要があります。

【環境保全・水緑・生物多様性】発展する中でも、自然と共生する都市へ

- 自然と共生する都市へ
区の半分が緑に覆われていたり、養蜂や水辺のにぎわい、お台場の海が日常的に泳げたりするようになるなど、自然と共生する都市となることが理想です。
- 無機質な都市化への懸念
大きな樹木が減り、人工物ばかりが増えていくような無機質なまちづくりや、星が見えなくなることは避ける必要があります。
- ▶ 2040年に向けた長期的な視点での緑化推進や、まちの発展と自然保護のバランスを考えたまちづくりが必要です。

【環境美化・ごみ・リサイクル】一人ひとりの行動で、資源が無駄なく循環する社会

- 物が無駄なく循環する社会へ
環境美化やごみ問題については、リサイクルやリユースをすることが当たり前となり、物が無駄なく循環する社会が理想です。
地域猫との共生も、地域全体で生きものを大切にする意識の表れです。
- 地域の意識改革が不可欠
裏路地の衛生状況や、環境問題への区民の無関心といった現状は改善すべき課題です。
- ▶ ごみの分別をより細かく行うことや、様々なリサイクルに挑戦すること、特に学校での教育やシニア世代の意識改革など、一人ひとりの行動変容が不可欠です。

環境問題を「自分ごと」に

これら3つの柱を支えるためには、環境問題を「自分ごと」として真摯に捉えること、区民・企業・行政が連携し、効率的に情報を共有し合うことが重要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	風格漂う寺社仏閣や、趣のある歴史的な建造物。	<ul style="list-style-type: none"> • 港区とわかるような表現をいれてほしい。増上寺や東京タワーなど。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 具体的なシンボルをいれたほうが良い。寺社仏閣や歴史など。 ➢ 港区では坂にも名前がついている。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> • プラスのことが多いが、再開発など課題はあると思う。良いことばかり書いているがこれまで長く港区に住んでいた立場からするとそうではない。再開発が進み商店会が廃れ、地域コミュニティが縮小するなど課題はたくさんある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 昔から住んでいる人と新しく住み始めた人など、人によって感じ方の違いはあるかもしれない。 • 個人的には概ね問題ないと思う。港区に描いているイメージのとおりである。端的にまとめられていると思う。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	<u>地域から世界へ広がるまち</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「地域から世界へ広がるまち」が何を意識しているかわかりにくい。文章をみるとグローバル化の側面がありながら、ローカルな関係性も構築できているということだと思うが、小タイトルでは伝わってこない。
本文	<p>これまで大切にしてきた<u>歴史や文化</u>を礎に、時代の変化を受け止めるだけでなく、変化を巻き起こしてきた・時代をリードしてきた日本の<u>トップランナー</u>として新しい風を巻き起こしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> リード文に「歴史と最先端」とあり、対比の関係にしたいのと思うが、歴史を守るために最先端を活用したりもするので、対比ではないのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ そうすると「歴史と未来」などの言葉ではいかがか。 トップランナーの意味がわからない。何のトップランナーかを記載した方が良い。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ トップランナーは変化を起こしている。「リードしている」といった表現が良いのでは。 ➢ 「時代をリードしてきた」などはいかがか。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていこう）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	一人ひとりの幸せを願う	<ul style="list-style-type: none"> 「一人ひとりの幸せを願う」が何のことをいっているのかわからない。他人の幸せを願うって少し怖い気がする。
本文	そして、企業や大学、NPO、町会・自治会、商店会など。	<ul style="list-style-type: none"> 今、町会・自治会を大切にできていない。隣近所の付き合いを重視することを盛り込みたい。特にマンションなど引っ越してきた際に挨拶することも少なくなっている。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 安全面であったり、通信手段の発達など社会背景が変化し、ご近所付き合いのあり方も変わっている。 ➤ 女性だと一人暮らしであると周囲に知られることがリスクなので、引っ越しの際に近所に挨拶に行かないこともある。
本文	「一人ひとりの幸せを願う」の本文全体	<ul style="list-style-type: none"> どの立場から誰に対していっているのかがわかりにくい。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	一人ひとりの行動が未来を変える。 自然が暮らしを彩るサステナブルシティ	<ul style="list-style-type: none"> • 「一人ひとりの行動が～」より「一人ひとりの行動と意識が～」とした方が良い • サステナブルシティは一人ひとりが推進するよう見られるが、一人ひとりの行動の運用があまり具体的に記載されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 区として引っ張っていく姿勢を盛りこむべきである。 ➢ サステナブルシティを全体でつくりあげていく系のタイトルにすべきである（一人ひとりの行動は個人に寄りすぎている。） • タイトルとリードの内容が被っている。自分事として捉えられるような、区民に語り掛けるようなメッセージにするべきである。 (例) 15年後も港区にいたいのか？
タイトル	脱炭素型のまち	<ul style="list-style-type: none"> • 二酸化炭素以外にも温暖化に大きな影響を与える物質があるので脱炭素という表現は違和感。脱炭素以外にも温暖化の要因があることを付け加えたい。 • 温暖化を止めるまち、歯止めをかけるまち、地球を長生きさせるまちが候補として考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 脱炭素とはいつているが、温室効果ガスの排出抑制という意味合いで伝わるのではないか。 ➢ 再エネ100%という表現がキャッチーでわかりやすいのではないか。 ➢ 他の地域から電力を買う形なども考えられるが、港区では自然が増えて再エネ100%でも、他地域の自然を破壊するのであれば本末転倒である。そうならないような姿勢を併記すべき。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	自然と共生するまち	<ul style="list-style-type: none"> 港区でわざわざ自然と出会う理由を記載すべき。自然と共生するだけなら他自治体でもできる。 <ul style="list-style-type: none"> 「アスファルトでやけどしないまち」はどうか。 自然を活用するという意味で自然保全の方が良い。 「都市と自然が共生するまち」が良いと考える。
	3Rで <u>ごみのない社会</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみのない社会」は無理があり、いい過ぎである。 <ul style="list-style-type: none"> 循環型社会など、循環という言葉を使うのが良いのではないか。 文章でも触れているので違和感はない。循環するのではなく、させる必要がある。3Rの順番はリデュース、リユース、リサイクルであるべきである。
本文	エネルギーステーションが街中にあり、環境負荷の少ない電気自動車や水素自動車などが当たり前前に走っています。	<ul style="list-style-type: none"> 電気の発生源や水素の製造源を踏まえると再エネ推進の文脈につなげられるのではないか。自給率向上にもつながり、先進都市の標榜にもつながる。エコフレンドリーな交通手段への言及が弱い。「自転車などが快適に使えるまち」とすべき。
	自然と共生するまち（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 都市と自然の共存は港区らしさである。緑化率の目標を具体的に記載すべきである。 家族が水辺で楽しめるまちなど、水辺の再生への言及を加えるべき、都市の中での水辺の活用を盛り込みたい。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 全体として文章が長めなので短く切った方が良い。自分事として捉えられるような区民に語りかけるようなメッセージにするべきである。今感がない、危機感を持てるようなものが良い。

2. 各グループの検討経過

⑤防災・危機管理

グループ参加者

稲村	智美	伊吹	仁宏
江本	裕子	川鍋	かつら
菊池	剛	椎名	幸哉
高橋	純之	高橋	颯太
田中	巖美	趙	泰勇
根本	弘絵	花井	幸二
平尾	恭一	星	麻子



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
多様性	大使館など国際的な交流を持つ地域	日本人らしさを大事にしていきたい	イタリア大使館の赤穂義士の切腹
	海外の文化を守る大使館や施設	大使館多く国際的に伝統がある	まちの多様性・お台場・住宅
	幕末から国際交流大使館	多様性を受け入れ外国人	多様・雑多な文化
教育	学問や研究 文化の拠点があるまち	実は北海道大創設の地	日本最初の公立小学校
	子どもが多い（意外と）		
寺社歴史・伝統	歴史的な建物が多く、歴史的にも文化的にも優れた遺産が多い	北里柴三郎、福沢諭吉、渡辺綱などの有名人	港区の歴史について詳しくないので知りたい
	首都、東京の重要性を担う歴史と伝統	江戸時代からの名残が残っている	大名屋敷が多く、昔をしのばせる
	プライドオブ徳川家増上寺	中の橋のヒュースケン事件	歌舞伎の「め組の喧嘩」
	武家屋敷跡が残っている	歴史のある神社、お寺	江戸期以来の寺社
	増上寺将軍家の墓	芝や三田の寺町	古いお寺が多い
	鉄道の遺跡	近代建築	埋め立ての歴史
文化	日々変化	新しい文化を創出する場所、人達	文化

分類	意見		
まちなみ	増上寺からみる東京タワーが好き	新しい文化を創出する場所、人達	新橋5・6丁目の街並みが好き
	ブランドイメージのあるまち	坂の名前が歴史を感じる	落ち着いた雰囲気
	坂のまちなのがすき	意外に静か	東京タワー
	空が広いまち	日々変化	商店街
	港湾	商店	
近所づきあい	助け合う住民意識（お祭り、盆踊り）	まちぐるみで仲良くしていきたい	治安がいい
利便性	日常生活がしやすさを誇りに思っている	発展性 どんどんまちが大きくなる	ちいばす とてもいい！
	日本有数の「便利」なまち	リニア高輪GW	公共施設が多い
自然	豊富な緑・芝公園・浜離宮・赤坂	緑豊かな公園（楽しみ・安らぐ）	浜離宮などの伝統ある公園
	景観の良さを誇りに思う	ツバメが巣づくりが好き	自然が多い
企業産業	大学発のベンチャー企業多い	企業の本社が多い	
雰囲気	意外に静か	ツバメの巣づくりが好き	落ち着いた雰囲気
人口	入りも多い、出も多い		

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
誇り	本当の意味での港区女子	洗練されている	
先進性	新しいアイデアが推進（支援）するまち	伝統と先進性が融合している	新たな文化の発信地
	情報の集積、発信力	高いブランド力	先進的
特色	昔から住んでいる人転居してきた人、両方受け入れるまち	地域でまとまっているまち	地区ごとに特徴あり
	人情も残っている	自然発生的なまち	
多様性	若い人、頑張る人が活躍する環境	多様性 まとまりのなさ	寛容性と多様性
	多様な表情のあるまち		
公共	先進的な経済都市（インフラの充実）	教育の制度が充実している	高齢者用施設が多い
	子育て支援		
歴史	史跡が多く、歴史的にも文化的にも優れた遺産が多い博物館になっているところも多い	歴史を守るまちづくり	歴史的な建築物
	歴史に近い		

分類	意見		
交通	大きな公園や商店街も多く、人々の暮らしやすさがたくさんある	住みやすい安全で便利なまち	インフラが整っている
	交通インフラの充実	交通の便がいい	
景観	自然を守る街づくり	都心でも緑が多い	公園、緑が多い
	まちの眺めが良い	海辺の景色	公園が多い
グローバル	一時的に訪れる人が多い地域 住んでいる人数より、だいが多いのが特徴	外交のまち	大使館が多く多様・国際的
	外国人との共存		
安心・安全	ここにしかない歴史のまち	日本的なマナーの維持	災害に強い街づくり
	安全なまちだと思う	落ち着いた街並み	ペットは家族
	治安 清潔	病院が多い	

第1回グループ会議

第3ラウンド

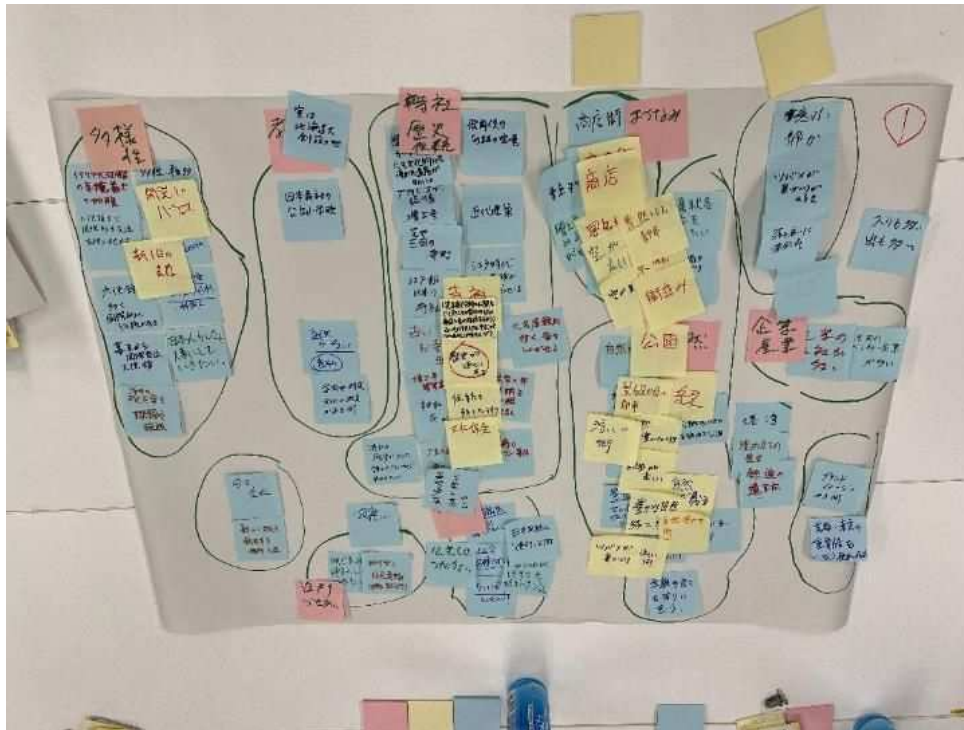
港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
寺社・歴史・伝統	（史跡や神社仏閣などと共にその周辺の個人商店も含め存続するよう）古いものを大切守ることで（地味かもしれませんが）個性を活かした港区であってほしい	歴史が近くにある	伝統を残したまち
	文化保全	寺社	
街並み	整然とした都市	空が見える	空が広い
	商店街	街並み	景観
自然	豊かな自然 緑と鳥	景観が良い都市	ツバメが巣づくり
	自然豊かなまち	散歩が楽しい	緑がある
	風が涼しいまち	自然が残る	涼しいまち
	公園がある		
先進性	住むのも仕事も楽しい	先進的に発展するまち	人をワクワクさせる
	経済的に豊かなまち	グルメなまち	先進的
特色	文化、歴史を大切に するまち	躍動感がある	
公共	児童・高齢者、障害者などにやさしいまち	便利	
誇り	革新的		

分類	意見		
多様性	豊かな心も経済的にも	住民がまちを考える	住民が主体的に動く
	開発とのバランス	住民が輝ける港区	人間力の高さ
	ペットと共存	新旧の共存	柔軟なまち
	多様性	共生	新旧
景観	高齢化が進む日本で、高齢者も子どもも、弱い立場の方々へのサポートが充実している港区であってほしい		
交通	通信もLINEで今のことがわかる	いろいろなインフラが充実しているまち	情報発信 集積力 人が集まるまち
	外の地域へのアクセスが容易	開発と保全 バランス	
グローバル	日本のマナーを大切にしながら多様な人が暮らせるまち	日本らしさが残りつつ、国際的な都市	文化の違う人々に対応できる
	徒歩5分で国際交流		
安心・安全	みんなが安心して住めるまち	住民・人を大事にするまち	モラルとマナーのある
	道路 バリアフリー化	多様性を受け入れる	落ち着いた住宅街
	災害に強い町	安全	

第1回グループ会議

第1回グループ会議（模造紙）





防災・危機管理

R7
8/15

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

景観 多様性
数回の
リバランス
で3人の主張

江戸時代・
古くから残っている
ものたち

地域での 便利!
コミュニケーション
高店街!

多くの
神社・お寺

子ども教育
小学校! 大学!

自然が多い
公園
治安

格次
松吉さん

港区の誇るべき特徴・長所

交通の便
インフラ整備

保育園の
待機なし!
教育
高齢者

港区
グランド

たくさんの
歴史がある

緑が多い

多くの
若者が活躍

情報の
収集
発信

港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

自然 豊か
公園 涼しい
災害

神社 日本の歴史的
お寺 景観
文化 新旧
歴史 バランス
開発 保全

外国人 多様性
国際的 動物にも優しい
区民の出入り 柔軟

便利 インフラ
自転車ルール
交通ルール

人間的 区民性
主体的 心の豊かさ
優しい 人の豊かさ

情報収集 情報発信

主体性を持って、
歩みよる事が大事!!



■区全体の将来像 検討のまとめ

●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 増上寺や寺町、大名屋敷といった江戸時代から続く歴史、そして幕末からの国際交流の拠点としての役割など、港区には古くから多様な文化や価値観があります。
- 芝公園の自然や鳥のさえずり、四季折々の風景、港湾や坂のある街並みといった自然環境も、私たちにとって大切なものです。
- 東京タワーや古い商店街、歴史ある建物など、どの地区にも景観の良さがあります。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 伝統と先進性が共存し、常に新しい価値を生み出していることが港区の強みです。
- 経済や情報発信の先進性、交通の利便性、充実した福祉や教育制度など、生活の質の高さを支える仕組みが整っています。
- 多様な人々が集まり、女性や若者も活躍しやすい環境があること、地区ごとに個性があることも、港区ならではの魅力です。
- 豊かな緑や歴史的な景観が都市の中に息づいていることも、港区の魅力です。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 今ある歴史や伝統、自然環境を大切に守りながらも、新しい時代にふさわしい発展や先進性が追求されています。
- 史跡や寺社、商店街を保全し、新旧が調和した景観の中で、経済的な豊かさやインフラの充実が達成されています。
- 地域のつながりや人の力を大切にし、社会的に弱い立場の人でも誰もが安心して暮らせるコミュニティがつくられています。
- 多文化共生やバリアフリー化といった多様な人々が共に生きる社会となっています。

新旧のバランスを大切にしながら、港区が持つ多様性や包容力をさらに高めていくことが、これからの港区にとって重要だと感じました。歴史や自然、そして人のつながりを大切にしつつ、世界に開かれた先進的なまちとして誰もが誇りを持てる港区を、みんなで作っていきたいという思いを新たにしました。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	学校企業地域個人などそれぞれの単位で災害リスクが可視化され、それぞれの有効な対策がとられている	ありがたいことに大災害は発生していませんが、防災の備えは万全なので安心	企業と住民、外国人と日本人、AIと人間、それぞれが最適に共存できている
	投票率アップ（25年比+10%）政治への関心と理解が増えている	自律運航車で自家用車がなくて道を広く使っているため事故がない	国からの福祉が良くなって子どもが増えているので助けるようになる
	ゆっくり過ごせるかつ防災拠点になるフリースペースがある	情報の集積が一層進み日本で大事な場所となっている	量子AI予測マシンで地震の予測が可能になっている
	防災公園が増えました 2025 2個→各地区へ	テクノロジーとコミュニティが融合した防災都市	道路や環境が整備され安心して豊かに生活できる
	ヒートアイランドの対策も少しずつ進んでいる	歴史ある建造物や施設は今も保全されている	災害時の情報提供に通信復旧の仕組みができる
	老朽化した建物は着実に修繕が進んでいる	いろいろな人と人が協力して楽しく生活している	公園や散策道が広い安心して散策できる
	高齢者でも扱えるAI活用デジタル機器	多様な交通が充実して気軽に外出できる	ペットとの共存が前提となった防災計画
	個人の通信環境デバイスの更なる充実	社会の発展 住民が楽しくくらしている	AIで高齢者の事故を守っている
	震災の直接被害がかなり減っている	防災が進み安心して生活している	ドローンなど、災害対応機器の進歩

分類	意見		
うれしい姿	安心して過ごせる避難施設がある	災害時のグローバル化対応が進む	出生率の増加。子どもが増えている
	ドローンなど活用の緊急物資輸送	災害時でもつながる情報機器	外国語の表記が増加している
	ペットと過ごせる防災拠点	ITによる効率化が進む	地域交流が進んでいる
	がれき類排除機器導入	おいしい非常食がある	共有インフラの整備
	迅速な被災状況把握	まちの不燃化の促進	快適な避難場所

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
避けたい姿	ペットの安否を案じる飼い主の二次的健康被害や動物が苦手な住民とのトラブルなど	タワーマンションの老朽化、自宅避難が難しい（世帯数が多く方針決定が大変）	企業ばかりで住民が少なくなりコミュニティがなくなっている
	高齢者が増えているが、サポートが不足している	犯罪の多国籍化により外国人との共存が難しくなる	個人主義がはびこりギスギスした社会になっている
	インフラの老朽化により道路問題で不便が常態化	建物が老朽化した地域が増え景観を損ねている	情報格差、テクノロジーの悪用による避難に遅れ
	高輪ゲートウェイ・浜松町が混雑している	「自助」という概念が浸透しきれていない	高層ビルや個人主義による孤立と機能不全
	外科医者がいない病院が少なくなっている	インフラで対応できない災害被害が増える	人手不足で事故になった時人を助けられない
	全体としてのバードアイが不足している	多くのマンションがスラム化している	トイレが男女共用＋多様性の行き過ぎ
	首都直下地震でまちが衰退している	人的交流が希薄で殺伐としている	人口増加に災害時の対応ができない
	詐欺やサイバー犯罪が増えている	自転車用道路が整備されている	インフラが原因の事故が増える
	防災の担い手が不足している	高層ビル、タワマンの防災問題	防災を担う若者の絶対数減
	子どものいない高齢化するまち	マンションの空室の増加	気温上昇が続いている

分類	意見		
避けたい姿	犯罪はより複雑になる	住民の防災組織がない	残った空き家木造建築
	「有事」がより身近に	港区でも担い手が減る	犯罪組織がはびこる
	ヒートアイランド	外国人来訪者の増	昼間人口の更なる増
	住民の防災無関心	タワマンの老朽化	教育訓練の停滞

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
インフラ	安全で綺麗な状態を保ってほしい。インフラ老朽などを放っておくとスラム化の入り口となる	今ではなく未来を想定する少人数でも対応できる技術とシステムを	努めて「弱者」視点を 再開発はよく考えて
	高層ビルはもう中止		
教育	消費者教育の充実		
社会	投票率アップ 行政からYouTubeライブ、港区スマイル商品券はばらまくのではなく、投票した人にだけ渡してほしい	出生率アップ、子どもを増やすために地域全体で見守る、自営する社会を見直してほしい	港区に全て集まらないように外の区とも共立しよう
	帰宅困難者、在宅避難への指導を広める（ソフト対応）	病院がなくならないに外科医を大事にしよう	区としてのタワマン高層ビルへの規制づくり
	多様性の理解を深める（外国人、LGBT）	多様性が形だけになっていないか再考する	子どもを多く生んで人口を増やそう
	行政の取組についてきちんと知ろう	まち全体の「ドック」をやろう	様々な意見交換の機会を港区に
	港区らしい港区のための検討を	新犯罪に対する対策の欠如	自分のまちと意識してみる
	行政への関心を高める	自転車も免許制に？	自ら治める自治
住民	受け身ではなく自分から働きかける（ご近所、地域住民、行政など）	集合住宅や地区コミュニティの災害（防災）対策の明示化	「我がまち」という当事者意識の高まりを
	地域交流の場に積極的に参加しよう	コミュニティに積極的に関わろう	日本人のモラル、マナーを維持
	町会の催しに参加してみよう	ご近所さんと顔見知りになる	警察と自治体と自治会の連携
	住む場所を含めて考える	選挙に行く、投票する	地域活動に参加する
	自治会が主導	住民参加	

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
テクノロジー	新しい技術を防災、災害支援に取り入れる仕組みづくり	発達するテクノロジーを早めに入れよう	ハザードマップの活用と発信（ソフトの活用）
	AI技術はこわくない まずさわってみよう	災害情報を系統的に流通する検討の促進	技術と共に人も進歩（モラル）
	人員不足対策の救出 ロボット	弱い人を助けるシステムが必要	船や車で通信基地局を運ぶ
	扱いやすい情報機器の導入	とりあえず受け入れてみる	災害規模の予測技術の発展
	緊急物資輸送の確保	避難場所の多様化	監視カメラの増大
防災	正しい情報の発信と受信体制の構築（デマにまどわされない）	マンション、戸建ての人が連携して災害対応する組織づくり	防災対策を区全体としてトータルに考える組織をつくる
	災害対策としての公園、道路づくりの検討	防災公園をたくさん増やす計画をたてる	防災ボランティアの育成（防災士育成）
	災害の規模に対応した避難方向の検討	大規模な災害に備えた避難場所の準備	ペットを含む家族の防災計画をたてる
	ペットと共に過ごせる避難場所	子ども、老人を守る災害対策	防災弱者を助ける組織づくり
	最新の防災情報を把握する	防災に対する意識の更新	防災訓練に参加しよう
	非常食を試食しよう	想定外をつくらない	防災無視の乱開発
まちづくり	「地区」ではなく港区で考える		

第2回グループ会議

第2回グループ会議（模造紙）





防災・危機管理

R7
9/5

2040年へタイムスリップした港区の姿を検討



2025年の港区民へのメッセージ

うれしい姿を実現するために



避けたい姿を避けるために



■分野別の将来像 検討のまとめ

【コミュニティ】助け合える関係をつくり、防災・防犯を自分ごとに

- コミュニティへの積極的な関与
住民同士が顔の見える関係を築き、助け合いが根付く社会が理想とされました。そのために、近隣者や地域住民、行政に対して自ら働きかけていくこと、防災組織を結成することが重要であると考えました。また、港区のことをもっと考えてみることも重要です。
- 地域への住民参加を促進する取組を進め、地域の担い手を増やしていくことが重要です。

【インフラ】災害に強いまちの土台を整備する

- 建造物の老朽化対策
不燃化対策の遅れやマンションの老朽化、これに伴う生活環境の悪化など、今後の建造物の対策に関する懸念がありました。
- 道路・交通
災害時における緊急物資輸送道路の確保が必要です。
- 防災拠点の充実化
避難場所の更なる多様化を受け入れ、ペットと過ごせる避難所の整備を進める必要があります。
- 安心して住める場所・まちを整備することで、自宅でも避難できるような基盤を強化していくとともに、避難所を必要とする人が安心して過ごせる環境の整備が必要です。

【テクノロジー】進歩した技術を防災に生かす

- テクノロジーの積極的な活用の重要性
地震予測や緊急物資輸送、通信環境など、テクノロジーを災害・犯罪対策に活用したいとの意見がありました。また、個人が持つ情報デバイスをはじめ、テクノロジーを生かした災害・犯罪対策が進み、正しい情報を取得できることで、住民が安心して暮らせるまちが実現できることを理想としました。
- テクノロジーの悪用によるリスクへの懸念
一方で、テクノロジーの悪用による詐欺やサイバー犯罪のまん延、情報格差による災害対応の遅れといった課題を懸念しました。
- テクノロジーを正しく活用するとともに、住民が正しい情報を取得でき、災害・犯罪対策をより一層、確実なものとする必要があります。

テクノロジーも積極的に活用しつつ、住民同士が支え合う「未来の防災・危機管理都市」へ

技術と人のつながりを生かし、住民一人ひとりが地域の防災・防犯の担い手としての意識を持つことで、安心して暮らせるまちを目指すことが重要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	<p><u>鉄道発祥</u>の地として交通網が充実し、トップレベルの企業や大学、病院など、様々な機関が集まっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道が発祥したからといって交通網が充実したのではないと考える。
	<p><u>自然の豊かさ</u>も港区ならではです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他の市区町村でもいってしまう文章である。そのため港区特有の内容を記載したほうが良いのではないか。（全体的に同様）
	<p>まちが変わりゆく中でも、港区はいつも「<u>人</u>」を大切にしてきました。<u>町会・自治会や商店街</u>では、暮らしに根付いたつながりが息づいています。 <u>多くの外国人が住み</u>、大使館の半数以上が集まり国際性を享受する港区には、多様な価値観や文化を受け入れる寛容な心があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「人を大切にしてきました」とあるが、「町会自治会や商店街では、暮らしに根付いたつながり」がある、「多くの外国人が住」んでいること、人を大切にしてきたことは関連しているのか疑問である。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> これまでの問題・課題についても記載したほうが良い。 「港区のこれまで」「2040年代の港区の将来像」「2040年代に向けて大切にしていける想い」が全体を通してストーリー性がない。今までの港区に課題がなければ、目指す将来像は今までと変更しなくても良いが、そうではないのではないか。 元から住んでいる人の目線からの文章となっているのか。進歩の経過が記載されているが、住んでいる人が港区に残れるか否かの分岐点にもなっている点についても記載したほうが良いのではないか。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	「歴史と最先端」「都会と自然」「地域と世界」が交差し、多様な考え方や生き方が当たり前のように共存するまち。	<ul style="list-style-type: none"> 最先端という表記ではなく、具体的に通信技術・AIの活用についても文章に明記することで読み手の印象が変わるのではないかな。
	全体	<ul style="list-style-type: none"> 国際都市として減災にも注力している将来像を記載してほしい。
タイトル	新しい風が吹くまち	<ul style="list-style-type: none"> 社会・経済が右肩上がりであればこの記載で問題ないと思うが、現在の日本はそうではないことから、記載文章を再検討してほしい。ネガティブな記載も斬新でいいのではないかな。
本文	多様性を受け入れる包容力と思いやりの心が、 <u>地域から世界へと広がる架け橋</u> となっています。	<ul style="list-style-type: none"> 「地域から世界へと広がる架け橋」について、防災に係る内容にも触れてほしい。
	人と人との絆を紡ぎながら、 <u>港区に関わる全ての人</u> が幸せを感じられるまちを実現していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「港区に関わる全ての人が幸せ～」について、全ての人ではなく、住んでいる人にフォーカスするべきなのではないかな。住んでいる人が住みやすいと感じられないと本末転倒なのではないかな。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に具体性がないワードが記載されている。（トップランナー、世界へと広がる架け橋など）
		<ul style="list-style-type: none"> 前頁と同様の内容が記載されている。そのためワークショップで出た意見を将来像パートに記載することはできないのか。各グループが強調したい文章をつなぎ合わせることも修正案の一つとすることができるのではないかな。
		<ul style="list-style-type: none"> 防災・危機管理・防犯というものであることから、ネガティブな内容を避けた記載となっているが、それらを乗り越えた港区であってほしいと考える。そのため、それらに係る文言を含めた文章にしてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる人と技術がどのように融合して港区として進化するののかについては、さらに明確化して文章として記載したほうが良いのではないかな。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていきたい）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
その他	全体	• 今後の40年は人を大切にする区政を実現してほしい。
		• 「港区のこれまで」に課題が記載されていないことから、将来像や2040年代に向けた想いのページの記載が似通ってしまうのではないか。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	今と未来を守るために備える。 テクノロジーと地域で支える防災・危機管理モデルシティ	<ul style="list-style-type: none"> 「テクノロジーも積極的に活用しつつ、住民同士が支え合う防災・危機管理モデルシティ」はどうか。
		<ul style="list-style-type: none"> タイトルに人（区民）が出てこない。人が支えることを記載すべきなのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> 「テクノロジーと地域で支える」については「と」ではなく「で」が適切なのではないか。
リード文	最新技術と地域の絆が結びつき、災害に強く、犯罪被害の無いまちで、誰もが安心して暮らすことができます。一人ひとりの日々の備えと互いへの思いやりが、まち全体の安心を大きく高めています。	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点の充実化（避難所・防災拠点）については省略せずに記載してほしい。以前実施したタウンミーティングの内容が省略されて記載されている。
		<ul style="list-style-type: none"> 国民保護や有事対応という文言を記載したほうが良いのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> 自然災害が発生したときに集合住宅在住の人へのアプローチはどのようにするのか明記してほしい。
タイトル	「テクノロジーが暮らしを守るまち」・「人々を支える強いまち」・「コミュニティで助け合うまち」	<ul style="list-style-type: none"> 3タイトルの順番を「コミュニティで助け合うまち」・「人々を支える強いまち」・「テクノロジーが暮らしを守るまち」に変更すべきである。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	2040年代の港区では、 <u>通信技術の発展</u> により地震予測の精度が向上し、緊急物資の輸送も効率的に行えるようになっていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 通信技術の発展によって、地震予測の精度は向上しない。緊急物資の輸送も通信技術の向上も一定寄与するが、平素からの備えや計画、訓練が最も寄与すると思う。
		<ul style="list-style-type: none"> 突然、「地震」という具体的なワードが記載されている。災害は地震のみではない。テクノロジーの発展により様々な予測ができる様になっているという書きぶりが良いのではないかと考える。
		<ul style="list-style-type: none"> 技術については、港区に限った内容ではない。
		<ul style="list-style-type: none"> 港区としてのハザードマップを理解すべきである。有事の際に報道されるような避難をイメージしていると港区では相違が生まれてしまう。
	<u>テクノロジーが住民の暮らしを守り</u> 、災害に強く、犯罪被害のない先進的なまちが実現されています。	<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーが防災してくれるというイメージにつながってしまう。そのためメッセージ性を持たせる記載ぶりに修正する必要がある。
テクノロジーが暮らしを守るまち（全体）	<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーが暮らしを守るまちに記載されている内容は全て記載を修正したほうが良い。 	
人々を支える強いまち（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 関係各所との連携に係る文言を記載したほうが良いのではないかと。 	

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	住民同士が顔の見える関係を築くことで、災害時の助け合いの精神が生まれ、犯罪の抑止にもつながっています。	<ul style="list-style-type: none"> • 犯罪を無理やり記載しているように感じる。
	コミュニティで助け合うまち（全体）	<ul style="list-style-type: none"> • 自助、共助、公助に沿って3つの項目を設定した方が良いのではないか。（自助に係る内容を記載したほうが良い）
まとめ	テクノロジーを積極的に活用しながら、地域で支え合う未来の防災・危機管理のまちへ。一人ひとりが地域の担い手としての意識を持ち、安心して暮らせるまちが実現しています。	<ul style="list-style-type: none"> • 災害を軽減するインフラ整備という文言を記載してほしい。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> • タウンフォーラムで出された意見が反映されていない。
		<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に危機感のない記載となっている。
		<ul style="list-style-type: none"> • 発生する課題に対して、一つ一つ解決していく意向を文章として記載する必要があるのではないか。



2. 各グループの検討経過

⑥産業・地域振興

グループ参加者

秋田 恵	伊澤 諒太
内田 愛亮	及川 廣子
大内 悠資	川村 江里
仙波 美穂	曾根 慶則
高橋 健一	田中 彩乃
田中 宏典	中村 豊
平沼 理恵	



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
自然	風景が美しい 坂が多い 海・公園	青山霊園	自然
食	名店	酒蔵	食
歴史	増上寺 赤門を地域 の力で残してきたこと	区内エリアの名前の 由来と坂道について	十番や白金など古い まちなみが残っている
	皇族 高輪 赤坂御 用地 迎賓館	歴史的建物 増上寺 大使館	品川駅が港区な理由 や背景
	江戸時代足跡が残っ ている	「江戸」 徳川 増 上寺	埋め立てと埋め立て 前
	バブル時代の六本木	お寺や美術館が多い	歴史の豊庫である
	お寺や神社の歴史	再開発前街並み	江戸明治の歴史
	芝大門の歴史	札の辻の歴史	関東大震災
	戦前と戦後	有栖川公園	大名屋敷跡
	旧芝離宮		
商業	若手起業家を育てる (が育つ) まちであること	歴史(伝統)と確信 が融合している	商店会
	町会		
イベント	お祭りが多い 三田 サンバカーニバルなど	寺社が多い 歴史的 人物	地域のイベント お 祭り

分類	意見		
異文化 交流	老若男女・外国人が 共生するボーダーレ スな社会活動	(品のある) 異文化 交流があるまち	外国人との共生に慣 れている
	大使館が多い理由	大使館	
観光	バイブリッジなどの オーシャンビュー	シンボル東京タワー	日本一麻布台ヒルズ
	高輪ゲートウェイ	ミッドタウン	東京タワー
経済	地の人と移住者のつ ながり		
教育	初等教育機関の発祥		
福祉	健康への意識が高い		
まちなみ	港区の「港」 台場 など		

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
経済	人口が増え続けている	サラリーマンのまち 新橋	企業、商業施設が多い
	GDP税収高い	経済	富
国際	異文化や時代の変化を受け入れる度量	日本で唯一地区単位 で予算をもっている	オープン（排除しない）
	外貨グローバルビジネス	大使館数日本一	
福祉	生き生きプラザなど 高齢者対応が充実	区役所の皆様がとてもやさしい	学童など子育てしやすい
	保育施設が多い	子育て支援が多い	福祉の面が手厚い
	リニア中央新幹線	スマート	ヘルスケア
食	ミシュラン三ツ星レストラン数世界一	食の名店が他の区より多い	
おしゃれ→ブランディング	区のエリア（麻布、青山）もブランディングされている	ヒルズ・青山・白金などおしゃれなイメージ 高い	話題のスポット（商業施設） おしゃれ
	おしゃれ		
テクノロジー	協力し、新しい時代をつくり出す能力	イノベーションテクノロジー活用	上場企業数日本一
	スタートアップ	AIロボット	テクノロジー
	大企業	起業家	

分類	意見		
交通インフラ	陸・海・空アクセスインフラ	バス・電車が他の区より多い？	交通インフラが整っている
	乗り物など利便性が高い	交通アクセスが良い	
環境	（意識をもって人が暮らす）治安が良いので生きやすい！	東京を代表する2つのタワーが見える	東京一地盤が固い武蔵野台地
	ゴミが落ちていないくきれい	下町・都会 海がある	まちがきれい
	環境への取組		
教育	ボルダリング 教育のために整った施設	子どもの数多い→小学校増	タブレット
	IT教育		

第1回グループ会議

第3ラウンド

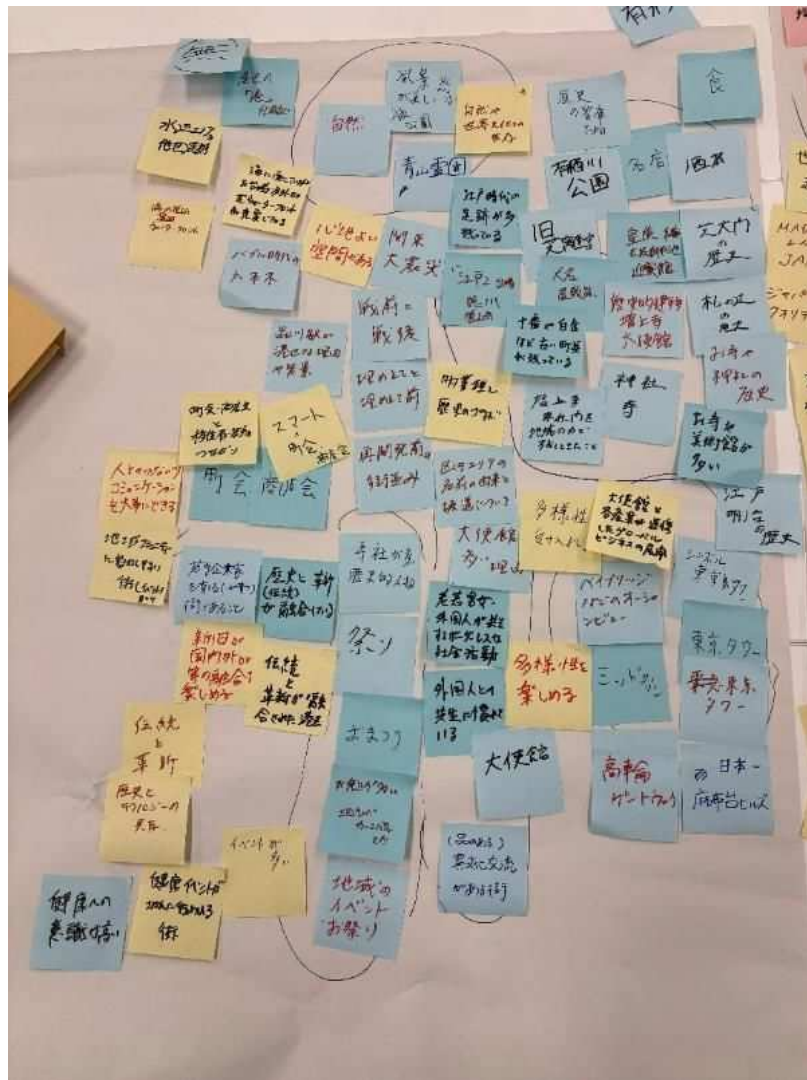
港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
商業	地域コミュニティに参加しやすいまち（イベント） 祭り	人とのつながりコミュニケーションを大事にできる	町会・商店会と移住者・若手のつながり
	新旧or国内外orなどの融合を楽しめる	伝統と革新が融合された港区	歴史とテクノロジーの共存
	スマート×町会・商店会	伝統と革新	
イベント	イベントが多い		
教育	テクノロジー×教育		
異文化交流	大使館と各産業が連携したグローバルビジネスの展開	多様性受け入れ	多様性を楽しめる
経済	経済の中心に特区など APACでシンガポールのように	住民と働いている方が交わる	
福祉	健康イベントが盛んに行われるまち	住むまちと都（=楽しい）の共生	バリアフリーに力を入れている
	人にやさしい制度・ルール	ヘルスケア×AIロボット	治安が日本で一番いいまち
	独居老人が暮らしやすい	子育てがしやすい港区	区 住宅 養護施設
おしゃれ→ブランディング	日本の課題に先進的に取り組み ロールモデル テクノロジー活用 外国人との共存	区にはいろいろとネタ（歴史・文化・産業）があるが、区外への発信ができていない	区内各エリアのブランディングがあるが、港区のブランディング成功している

分類	意見		
おしゃれ→ブランディング	東京タワーや六本木があるがミナト（フェア）がついたものが少ない	文化の発信 ブロードウェイのようなイメージ	日本の玄関としてのプレゼンス向上・維持
	世界基準・世界に誇るスポーツ！！	各エリアの特徴のエッジが立っている	意識の高さ（教育・食・文化）
	ファン化に成功している	人の循環するまちづくり	
テクノロジー	新しいもの・人・シンボルに引かれすぎない	MADE IN JAPAN	ジャパंकオリティ
	常に進化している	古と新のバランス	起業家×教育
	産学連携		
交通インフラ	世界最高のスマートシティ		
環境	道路・まちなみなど改善されている		
自然	自然や世界文化との共存		
食	最高級の食文化		
まちなみ	海に面しているがお台場以外でも芝ウォーターフロントが充実している	海、運河の活用 ウォーターフロント	水辺エリアの他区連携
	心地良い空間がある	歴史と品のあるまち	

第1回グループ会議

第1回グループ会議（模造紙）





産業・地域振興

R7
8/15

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史



港区の誇るべき特徴・長所



港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討



●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 国際色豊かな大使館や異文化交流の場が多く、様々な人々交流しています。
- 東京タワーやレインボブリッジ、麻布台ヒルズなど、地域を象徴するランドマークがたくさんあります。
- 祭りや旧芝離宮、寺社といった文化・歴史の拠点、そして昔ながらの商店街や酒造、町会など、地域コミュニティの絆が大切にされてきました。
- 「港区は新しいものと古いものが共存する街」であり、「伝統や歴史を守りながら、国際性や多様性を受け入れてきた」という自負があり、港区の歴史の積み重ねを未来へ受け継ぐことが、港区らしさの根幹です。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 子育て支援やIT教育などの次世代育成に力を入れていることや、交通アクセスの良さや新幹線などのインフラ整備、ミシュラン掲載店や大企業・スタートアップの集積といった食・経済面の強さ、おしゃれで清潔な街並みや環境への積極的な取り組みなど、港区の魅力は多岐にわたります。
- 便利で快適だけでなく、先進的な取り組みや多様な人材が集まる活気のあるまちであること、幅広い世代が安心して暮らせる環境があることが誇りです。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 伝統を守りながらも、多様な価値観や最先端の技術を取り入れるなど、変化を恐れず挑戦し続け、世界に誇れるまちになっています。
- 地域とのつながりや福祉を大切に、誰もが安心して暮らせる環境があります。
- 港区の魅力を内外に発信することで、住民・来訪者のどちらも港区のファンになるような街づくりが進んでいます。

港区は、歴史と革新、伝統と多様性、地域の絆と国際性が融合する街です。
これからも、私たち区民一人ひとりが「港区のファン」として、地域の価値を守り育て、未来の港区を創っていきたいと感じています。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	世界からの玄関口として日本らしいブランドの確立（イベント・MICE・カンファレンス）	環境配慮型のアミューズメントスペース 歴史を守りながら開発する楽しい暮らしを創造する	日本といえば「東京」であり、そこに東京タワーが描かれている姿
	まつりの進化発展 町内会、各まつり、食文化へ参加	スタートアップ×大学・企業→国際展示会など交流が盛ん	ミナト区在住、在勤者が広く活用できるように広報の強化
	学校給食に海外グルメも楽しめちゃう（交流文化浸透）	美術館・歴史館を連携したミナトアートフェア開催	N.Y. ブロードウェイ 肩を並べるミュージカル
	世の中を動かす良い取組の事業が増えている	世界から観光スポットとして選ばれる水辺開発	自治会にデジタルを活発に取り入れている
	リニアでさらに港区ステイが便利になる姿	多様を受け入れる港区に笑顔が増える	小中一貫校が増える おしゃれな校舎
	高齢でも住みやすい ←AIロボット	よりキレイな整ったまちになっていく	町内イベントに全国から人が集まる
	最先端テクノロジーが栄にある	観光にくる方の多様化	AIで働きやすい
	世界一の起業家のまち	住みたい地域No. 1	希望勤務地No. 1
	便利なまちになっている	子育て世代の増加	知り合いが増える
	交通の健全化		


分類	意見		
避けたい姿	東京といえばスカイツリーに座を譲った姿	格差社会の進展、外国人、貧富の差など	住む場所ではないと思われる姿
	若手人材の才能が映え重視になる	日本人よりも外国籍が多く住むまち	小規模店無くなる→モール、EC
	見た目がビルらしいビルの増加	寺、神社の外国の方購入	インバウンドの過度な浸食
	ホワイトカラー、AIで失業	歴史的建造物の取り壊し	地域コミュニティの減少
	つながりが希薄になる？	ありふれたまちになっている	夏が暑すぎ 屋外不可
	趣のあるまちなみの減少	複合ビルのゴースト化	土地価値の一極上昇
	都内隣区に負ける姿	個人店が減っている	人とのつながり
	子どもが減る？	食事が高い	安売り

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
教育	世界と闘える人材が育った	起業家教育、企業体験を増やす	
行政	多様性によるイノベーションが起るまち（シリコンバレー）	BtoC向けの企業に地域コミュニティ参加を促す（広報）	子ども～高齢者まで幅広く福祉が充実している
	イベントなどは行政の協力がなしでは継続できず感謝している	おもてなしも大切だけど日本らしさを守る条例をつくって	子育て支援のおかげ 港区を支える大人が育った
	MINATOシティハーフマラソンを続けてほしい	企業－大学とのネットワークづくりを大事に	みなトクPAY事業推進（商店街・支援）
	人材不足による経営難企業への人的支援	保育園支援の手厚さを続けてほしい	スタートアップへの支援が増加
	海外都市の情報収集分析が大事	新しいチャレンジを応援する	ファクトをおさえているか？
	各イベントの周知、方法	経済合理化優先の見直し	
社会	祭り＋観光 大使館（地域民×働き手×観光客）	新しい若手にもやさしい商店会を増やす	日本人 住人（在住者） 流入支援
	既存ルールからの脱却		
住民	名前は知らないけど、その場に行けば仲良くなれるコミュニティ（立ち飲）	コミュニケーション機会創出は継続！	エリアに関わるプレイヤーを増やす
	在勤者とエリアの関わりを増やす	親身になる対応してくれる	愛着を持っている人は増えている
	「人」が中心にあるか？		
テクノロジー	労働力不足へAI・ロボットを積極的に活用	AIと壁打ちしつくしたか？	良い日本発ロボットを増やす
	デジタル防災ロボット	イノベーションを学ぶ	デジタル対応商店街
	ドローン規制の緩和	AIを学ぶ	
文化	歴史的遺産や美術館など文化芸術を守り続けている	地域に同一の文化 産業を進めてブランディング	変わらないものがあってもいい
	文化を守る人・事業支援	日本文化遺産の推進	文化を大切にする
まちづくり	歴史的建造物を守るため耐震設備へ投資	港区らしさオリジナリティも大事	在勤者をエリアに巻き込む
	誰でも気楽にいける区役所	各所景観維持 失う前に	自然と建造物の共存
	港区≠都心都会	安全な民泊	



New Vision
MINATOビジョン・タウンフォーラム

産業・地域振興

R7
9/3

2040年へタイムスリップした港区の姿を検討

住みた..まちNO.1
うれしい姿

区内の知れ合いがよす!

よりキレイ
水辺開港
観光
文化芸術
イベント活性化
ブランド力
インフラ整備
より便利に
リア
AI台頭による失業

起業家のまち
最先端テクノロジー
産業
町会・自治会
国際化
地域コミュニティ
子育てしやすい
大使館が身近
世界への玄関口

**小規模店減少
街並み**

避けたい姿

文化芸術
歴史建造物とりにかし
インバウンド多すぎ
加速しすぎ
国際化
地域コミュニティ
希薄化

地価上昇
ゴースト化
ありふれた街並み
AI台頭による失業

2025年の港区民へのメッセージ

共に未来をイキ-ズレて暮らそう!

うれしい姿を実現するために

Digital Tech
産業
起業家育成&支援
若手が入りやすいように
国際化
海外の情報収集
大使館が身近に
町会・自治会
ブランド強化
地域・コミュニティ
情報共有
加速化
BtoC向け企業のコミュニティ参加
活動力者のまきこみ
イノベーション
起こるまちへ

避けたい姿を避けるために

労働不足にAIを活用
新しいチャレンジ
文化芸術
守りたい! 守る人への支援も
港区らしい残す
耐震設備投資を!
地域コミュニティ
外国人流入支援
エリアプレーヤー増やす
コミュニティ作り
はじめて!
愛着を育もう

■分野別の将来像 検討のまとめ

【産業・観光】未来を創る多角的活性化と魅力向上

- 最先端で選ばれる都市へ
「起業家が集まり、最先端テクノロジーを学べるまち」とし、「多様な観光客が訪れ、水辺エリアが世界的な観光スポットとなる」姿を理想としました。
 - まちの活力や魅力低減の懸念
ビルの空室化や個人店の減少、名所としての地位低下を避けたいと考えました。
- ▶ 経済性を高めながら、企業や大学の連携、スタートアップ支援、イノベーション・AI教育の推進、港区独自のブランドづくりなど、多角的な取組も必要です。

【地域コミュニティ・町会・自治会】住みやすさとにぎわいを両立するコミュニティの活性化

- 住みやすさとにぎわいが共存する地域へ
町会・自治会のデジタル化が進み、子育て世帯や高齢者にとっても住みやすいまちになるとともに、町会などで開催する地域のイベントに全国から人が集まり、にぎわいが生まれることを理想としました。
 - 住み続けたいという思いが薄れることへの不安
コミュニティの希薄化や、地域への愛着が薄れることで、港区の人口が減少してしまうことが不安視されました。
- ▶ 既存ルールにとらわれない柔軟な発想を持ちながら、住民同士の交流の場や、港区に愛着を持つ人を増やし、区内企業や外国人も巻き込みながらコミュニティの活性化を目指すことが重要です。

【国際化・文化芸術】国際性と地域アイデンティティを守る歴史・文化共生

- 歴史文化の世界への発信拠点へ
港区を「世界の玄関口」として位置付け、多様性を受け入れ、歴史や文化を守りつつ発展することが望ましいとされました。ブロードウェイ級のミュージカルが上演されるなど、文化芸術の発信拠点としての成長が望まれました。
 - 過度なインバウンドによる地域のアイデンティティ喪失の懸念
過度なインバウンドや外国人居住者の増加、寺社の海外売却や歴史的建造物の取り壊しなど、地域のアイデンティティが損なわれることへの懸念がありました。
- ▶ 歴史的建造物や伝統文化を守る人や事業への支援、大使館などと地域コミュニティとの交流など、国際性と地域性を両立する取組が重要です。

新しい価値と従来価値の共存

「経済・産業の発展」「コミュニティの活性化」「歴史・文化の継承」「多文化共生」といった多面的な価値を両立しながら、区の独自性や住みやすさを高めていくことが重要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	港区には、時代を超えて受け継がれてきた歴史があります。	<ul style="list-style-type: none"> 過去から未来に向けての文化芸術アート、クリエイティブで過去から未来に発展をとげてきたのでその点に触れてほしい。
	風格漂う寺社仏閣や、趣のある歴史的な建造物	<ul style="list-style-type: none"> 「風格漂う寺社仏閣や、趣のある歴史的な建造物」は唐突感がある。 具体的な固有名詞がない。差し支えない範囲で港区を代表するものをいれても良いのではないかと。 <ul style="list-style-type: none"> お寺や神社でいえば、例えば「増上寺」であったり、それを思い浮かべる言葉をいれてはどうか。
	地域に根差した文化を守りながら、社会の変化とともに、東京、 <u>ひいては</u> 日本の中心となる国際都市として発展を続けてきました。	<ul style="list-style-type: none"> 「ひいては」という言葉はあまり好みではない。「さらには」などいかがか。
	<u>鉄道発祥の地</u> として交通網が充実し、トップレベルの企業や大学、病院など、様々な機関が集まっています。	<ul style="list-style-type: none"> 「鉄道発祥の地」とあるが、「放送力」も港区の特徴。この要素をいれてほしい。「発信地」のようなニュアンスでどうか。 <ul style="list-style-type: none"> トレンドの発信やブランド化といったニュアンスを加えてはどうか。
	自然の豊かさも <u>港区ならではの</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> 「港区ならではの」とあるが「港区ならではの●●です」にした方が良い。 <ul style="list-style-type: none"> 港区より自然が豊かな区はあるので「ならではの」ではないのではないかと。都心にありながらも「意外と自然がある」といったニュアンスの方が良いのではないかと。
	都心に広がる海や運河、四季の移り変わりを楽しめる公園や緑地。	<ul style="list-style-type: none"> 都市の中でみられる自然といったニュアンスが良い。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	都心に広がる海や運河、四季の移り変わりを楽しめる公園や緑地。	<ul style="list-style-type: none"> 「都心に広がる海や運河」の表現が気になる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 景観として海があるといったニュアンスにしたらどうか。
	まちが変わりゆく中でも、港区はいつも「人」を大切にしてきました。	<ul style="list-style-type: none"> 「まちが変わりゆく中でも」とあるが、「古き良き街並み」「変わらない良さ」といった対比の要素を2段落目に追加してはどうか。
	町会・自治会や商店街では、暮らしに根付いたつながりが息づいています。	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らしに根付いた」とあるが「暮らしの営みに根付いた」としてはどうか。人と人が関わりあっている様子を追加してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 暮らしの営みについては賛同する。自治会の飲み会に参加したが暖かさを感じた。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> ネガティブな課題をいれても良いのではないか。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	「都会と自然」「地域と世界」が交差し、多様な考え方や生き方が当たり前のように共存するまち。	<ul style="list-style-type: none"> リード文に「歴史と最先端」とありここは2文字対3文字だが、他は「都会と自然」「地域と世界」と2文字対2文字となっている。全て2文字対2文字にした方が統一感があっているのではないかと。「伝統と革新」などはいかがか。
本文	これまで大切にしてきた歴史や文化を礎に、時代の変化を受け止めるだけでなく、日本のトップランナーとして新しい風を巻き起こしています。	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史や文化を礎に」とあるが、文化のなかでもアートの要素、クリエイティブの要素を打ち出したい。 大切にしてきた歴史文化とあるが、産業の要素があっても良い。「トップランナー」というとどちらかというとなら産業など港区で活躍している人を指していると思うが、「暮らしが豊かになっている」と住んでいる人を想定した表現となっている。そこに、ずれを感じる。 「時代の変化を受け止めるだけでなく」といった表現が変に強調されているように感じる。重要な部分は次の「トップランナー」のところなので、「時代の変化を受け止め」くらいの表現で良いのではないかと。
	誰もが憧れる”都会”でありながら、そこには心が穏やかになる居場所があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「誰もが憧れる都会」ではなく、「魅力を感じる」とかの方が良いのでは。自分たちで「憧れる」というのは違和感がある。また、「都会」という表現はいかがか。「都会」であることに魅力を感じない人もいる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「誰もが憧れるまち」の方が良いのではないかと。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	困ったときには、互いに助け合い、支え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときには、互いに助け合い、支え合う。」とあるが、「困ったときには」は不要ではないか。
タイトル	「新しい風が吹くまち」「美しく、心やすらぐまち」「地域から世界へ広がるまち」	<ul style="list-style-type: none"> 小タイトルの「新しい風が吹くまち」「美しく、心やすらぐまち」「地域から世界へ広がるまち」とあるが「まち」が単に平仮名だと違和感がある。「“まち”」と強調してはどうか。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 上のリード文の「地域と世界」「都会と自然」「歴史と最先端」と下の小タイトルは、よく読めば対応していることがわかるが対応関係がわかりにくい。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていこう）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	理想の未来へと進むためには、 想いを一つに することが不可欠です。	<ul style="list-style-type: none"> リード文に「想いを一つ」とあるが、次の行に「3つの想い」とある。数字が複数でくすることで少しわかりにくさが生じてしまう。「想を重ねる」や「思いをつなぐ」などの表現にしてはどうか。
タイトル	「多様な価値観を認め合う」・「地域の可能性を生かす」	<ul style="list-style-type: none"> 「多様な価値観を認め合う」と「地域の可能性を生かす」の本文にそれぞれ「地域」という言葉が出てきており重複感を感じる。
本文	一見、相反するよう見えるものでも、互いを尊重し認め合いながら、手を携えて未来へと進んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「多様な価値観を認めあう」と「一人ひとりの幸せを願う」の内容は重複していないか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「多様な価値観を認めあう」の内容が、「互いを尊重し認め合いながら」と人の話になっているので「一人ひとり幸せを願う」と重複感があるのではないか。「多様な価値観を認めあう」の部分は事象の話なのではないか。
	そして、企業や大学、NPO、町会・自治会、商店会など。	<ul style="list-style-type: none"> 「大学」とあるが教育機関にしてはどうか。港区には小中高もある。
	港区という輝く舞台で、それぞれが可能性を最大限に発揮することで、区民の幸せとまちの発展を目指していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「地域の可能性を生かす」というタイトルの中で「区民」に限定している。区民以外も含めてほしい。
	人と人の絆を紡ぎながら、港区に関わる全ての人々が幸せを感じられるまちを実現していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 「一人ひとりの幸せを願う」のパートに唐突感がある。なぜこれが必要なのか導入・背景がほしい。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 「2040年代に向けて大切にしていこう）はまちづくりを行ううえで根底に持つべきもので、横断的に関わってくるものである。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 3つのパートに分けずに一つの文章でも良いのではないか。分類するから重複感が気になると思う。 将来像の3つのブロックにそれぞれ対応するよう、こちらもブロックを設定した方が良いのではないか。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	文化と芸術がまちを織りなす。 人と企業が交差する <u>クリエイティブシティ</u>	<ul style="list-style-type: none"> 港区としての産業などは具体的に触れなくて良いか。産業地域振グループとして記載したほうが良いのではないかな。 ➤ スタートアップの育成であれば港区らしさになるのではないかな。
		<ul style="list-style-type: none"> 「クリエイティブシティ」を「グローバルクリエイティブシティ」にしてはどうか。
		<ul style="list-style-type: none"> 「織りなす。」の「。」で区切る必要がないのではないかな。「織りなし、」として、後続の文章と一文にしてしまっても良い。
リード文	文化芸術が日常生活を彩り、世代や国籍を超えた交流が広がる中で、誰もが安心して暮らせるコミュニティがにぎわいを生み出しています。港区は、 <u>世界から選ばれる国際経済都市</u> として、最先端の技術を創造し、イノベーションを巻き起こしています。	<ul style="list-style-type: none"> 交差するクリエイティブシティが明瞭に説明されていない。それっぽいことには触れているが、ふわっとしている。人が何を指すのか。イノベーションの源流として紐づけられないか。世界から選ばれる経済都市とのつながり「世界から選ばれる経済都市」をもう少しみ砕いて表現しても良いのではないかな。 リード文と下3つ小タイトルとの関連性がわからない。支える要素ということがわからない。
	港区は、世界から選ばれる <u>経済都市</u> として、最先端の技術を創造し、イノベーションを巻き起こしています。	<ul style="list-style-type: none"> 「経済都市」を「国際経済都市」としてはどうか。
本文	スタートアップや大学、企業が連携し、日常的に新たな価値が創出されています。	<ul style="list-style-type: none"> 技術革新やイノベーションを海外に発信していく展開まで、冒頭で触れたい。
	ビルはシェアオフィスやクリエイティブスペースとして有効に活用されるなど <u>空室はなく</u> 、個人店や商店街には国内外から多くの人を訪れ、活気にあふれています。	<ul style="list-style-type: none"> 空室がないことはネガティブにも映るので、有効に活用されるなどの表記が良い。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	水辺エリアは世界中の観光客が訪れる憩いの場となり、 <u>港区のブランド</u> として魅力が高まっています。	<ul style="list-style-type: none"> • 港区のブランドを高めるのは全体に共通するので、表現を改めたい。ブランド要素をリード文に追加するか、一番下に加えるかが候補である。
	地域活動や様々なイベントも盛んに行われ、子育て世帯や高齢者、 <u>外国人</u> も安心して暮らせる地域のつながりが育まれています。	<ul style="list-style-type: none"> • 年齢や国籍にとらわれず、などにしても良いのではないか。 • 「外国人」という言葉が区切ってしまう、海外からの居住者などの表現に変更したい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 訪れる全ての人、世界中の人などに変えるのも一案である。 ➢ 「高齢者」という区切りも浮いてしまわないか。
まとめ	2040年代の港区は、 <u>区民</u> 一人ひとりが主役となって、多様な価値観が <u>響き合う</u> まちへ。	<ul style="list-style-type: none"> • 響き合うのではなく重なるなどにして、織りなすに対応したい。
		<ul style="list-style-type: none"> • 区民に限定するのではなく、区に関連する全ての人にしたい。



2. 各グループの検討経過

⑦教育

グループ参加者

朝山 絵里	石原 理恵
井上 繭弥	小田 祐子
小田村 直昌	木村 真子
久世 哲也	新垣 圭祐
鈴木 雷行	Stoicovici Mihaela
大門 まき	宝辺 建太郎
宮沢 絢子	ミュア 裕子
	他1名



第1回グループ会議

第1ラウンド

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

分類	意見		
品位	ミナトという名を大切に	誇り、ここに住んでいる	Richなイメージ
	品位・プライド	リテラシー高い	正しい考え
	教養深い	豊か	
地理	坂の名前（平仮名にしない）	海について伝える	坂がある
	坂の歴史	紀伊国坂	
歴史・文化	歴史的な建造物（ゆかしの杜、港区郷土歴史館）	大名屋敷、武家屋敷の跡地とその歴史	江戸文化を次世代に伝えていきたい
	寺院の文化を大事にしていきたい	歴史のある施設を残したい	隠れた日本文化、江戸小紋
	各地区の偉人たち、誇り	伝統行事、下町らしさ	江戸時代からの風土
	落語が好き	増上寺	
街並み	文化（六本木ヒルズ森美術館、サントリーホール）	関東大震災での被害とそこからのまちの成長	伝統、古いビル、建築、道を保存したい
	日本を代表する・象徴的であること	昔ながらの商店街や建物を残したい	都市でもいろいろな建物があるところ
	豊かな文化活動、安全な道が好き	自然（芝公園、浜離宮庭園など）	緑の多い公園を残していきたい
	大使館が多いところが誇り	商店街の街並みを残したい	大学が多いところが誇り
	病院が多いところが誇り	ザ・東京（東京タワー）	国際的な街並みが好き

分類	意見		
街並み	明治神宮外苑や聖徳記念絵画館	レインボーブリッジ	昔からの街並み
	安全なまち、防犯	赤坂の芸者	東京の中心
	古い建物	テレビ局	
イメージ	日本人としての文化・慣習、遊び（砂場遊び、プレイパーク）	緑・外で遊べる開かれたスペース（子どもたちに）残したい	子どもたちが自分を表現しアクティブになるようにしたい
	地域活動（お祭りなど）を次世代につないでいきたい	他国の文化を尊重するところ誇りに思う	古風であり、現代的・近代的
	大きな変化を受け入れる器	人と人とのコミュニティ	様々な異分子との共生
	文化の最先端	開かれた環境	協働性
	多言語	多様性	

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
コミュニティ	近所づきあいがある	地域コミュニティ	
交通	電車とバスでいろいろ行きやすい	高級車が多く子どもがよるこぶ	道路広い
	地図（案内看板）	違法駐車少ない	交通が便利
	夜でも明るい	地下鉄路線	アクセス
	渋滞少ない	安全運転	
歴史・文化	新しいところと古いところ（地域）両方ある	治安が悪くない	文化施設充実
	美術館多い	衝突と融和	歴史がある
	歴史文化	寺が多い	象徴的
健康	高齢者層への身体トレーニング支援（医療費削減）	教育・健康における良いサービス	高齢者支援（23区トップ）
	東京タワー 中心シンボルあり	公園や文化的施設が多い	学び・遊びの場が多い
	公園が多い、緑あり	いきいきプラザ	健康診断
	健診無料	病院	
食文化	どの地域にも良いレストラン	給食が多国籍・おいしい	オーガニック給食
	ご飯がおいしい	飲食店	商店街
	食事		

分類	意見		
子育て・教育	2ndキャリアでボランティアや地域活動をするシニアや主婦が多い	海外籍のファミリーが多く保育園・小学校でも多様な人種	保育園のカリキュラムが豊か（デメリットでもある）
	インターナショナルスクールが多い	母子手帳がかわいい（ディズニー）	
	修学旅行（反対だが）	公立学校夏休み2週間	英語での教育への機会
	養成講座の質が良い	子どもを育てやすい	港区子育て支援費
	私立小中高が多い	公立学校の設備	保育園の数充実
	プレクラス制	図書館の充実	良い学校
	子育て支援	待機児童0	子ども食堂
	保育所多い	育児支援	
自然	環境配慮（ボトル給水スポット、あきるの市イベント）	課外活動にアクセスしやすい	お台場の開発、流通地区
	港があり美しい風景	（意外と）自然豊か	海があるところ
	アウトドア活動	自然	

第1回グループ会議

第2ラウンド

港区の誇るべき特徴・長所

分類	意見		
経済	ビジネスパーソンが多く昼間が活発	企業（本社）が多い（経済の中心）	地価が下がらない
	巨大なビルが多い	社長の多い区	ゆとり、余裕
	富裕層多い	機能性	
先進的	キラキラしているイメージ（「港区」というと「お」といわれる）	港区のアプリ（渋谷区よりいい）	英語を使うシーンが多い
	自治体の力（税収）	区役所支所が便利	先進的・実験的
	必死・全力	おしゃれ街	支所制度
	先進性		
多様性・国際性	喫煙者（歩きたばこ）少ない	多言語に対応するサービス	外国人にやさしいサービス
	大使館が多い	異文化交流	多様性

第1回グループ会議

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
歴史・文化	アウフヘーベンし続ける価値観	歴史を感じる最先端都市	世界を代表するまち
	尊重にあふれるまち	歴史を尊重する	
街並み	電気以外のエネルギー、新しいエネルギーでまちが動くシステム	また住みたくなる港区（リターン化）	寺や伝統が目に入るようなまち
	高層ビルと古いまちの調和	樹木の多い、緑豊かな区	大使館、そのまま多く
	森ビル臭が解消	緑の多い公園	緑豊か
	じじ・ばば・シングル、DINKS、子ども… ゆるいつながり、地域の助け合い	知らない人たちと仲良くなる仕組み（隣の人との関わりがない）	文化、慣習が承継されるコミュニティ
コミュニティ	安全・安心（防災）の更なる充実	楽しい孤独も協力や連携も	新しいお祭り コミュニティ
	住民も観光客も安心安全	地域のつながりが深まるまち	住民の安心度が高いまち
	近所づき合い活発に	安心・安全・自由	矛盾を突破するまち
交通	交通の便利さ	より広い道路	
健康	身体活動の支援が充実している	元気なお年寄りたくさん	楽しく歳を重ねられる

分類	意見		
子育て・教育	小学校での日本語教育の支援が充実している	自由だけどモラルのあるまち	もっと子どもたちの自由な表現の機会
	もっとたくさんの英語を学べる機会	ICT充実に伴い孤独にならない	子どもの好奇心が育まれる環境
	インクルーシブな教育現場	公立校に通わせたくない区	英語を日常会話で使えるまち
	画一的な教育でない教育	子どもが安全に遊べる	学校を新しく（建物）
	歴史・伝統教育の充実	教員になりたいくなる	子どもたちが明るい
	子育てしたくなる	ICT教育の充実	先生への配慮
	国流教育充実		
	自然	（流通が止まると）食べ物に困るので、ビルの屋上を全て農場畑に。自給自足	畑などが自由にできる自然の場が増える、いらぬ建物があるならなくす
地球環境に配慮された自然にやさしいまち		夏も冬も過ごしやすく春秋が感じられる	子どもたち・若者にもっと外での活動を
気候の変動に伴うまちづくり		ビルの屋上に緑が豊かなまち	暑さが嫌ではないまち
もっとたくさんの緑		農産物の物産品	自然豊かな都市
河川の整備		猛暑対策	海

第1回グループ会議

第3ラウンド

港区の将来像（理想の将来像の姿）の検討

分類	意見		
食文化	便利な商店街		
経済	EBPMをしている		
先進的	教育支援の先進性の維持		
多様性 ・国際性	誇りとプライドを持ち続ける	多様性を自然に受け入れる	外国人との共生の手本
	分断のない多様性	尊重にあふれるまち	人権意識が高いまち
	対話が盛んなまち	差別のないまち	

第1回グループ会議

第1回グループ会議（模造紙）



New Vision
MINATOビジョン・タウンフォーラム

教育

R7
8/20

守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

武家家紋 寺 落語 生活 歴史 文化 江戸 最近の伝統!? 寺 多様性 イメージ Play マスコミ 大使館 街並み 坂ある 中伝が 地理 緑多い 自然 思い Tokyoの中心!?

港区の誇るべき特徴・長所

自然 美術館 街並み 交通の便 身体トレーニング 関係 食文化 健康 多様性 Community 行政 港区 使いやすい 国際的 先進的 経済 子育て 教育 プレミアム制 食文化 地図多い

港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

近所つきあい Community Hi ちー 差別さなす 英語話せる 古い利権 ぶらこめす よい広い道路 緑の公園 商店街 畑 元気なお年寄 楽しく年を重ねる バリアフリー 自由な発想 多様な教育 教師になりたい街 EBP 農作物 華重 気候変動 エネルギー利用 屋上に緑 河川整備 外国人との共生 人権意識 子供せかい安全におぼろ

MINATO-CITY

●守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

- 港区が持つ独特の街並みや、歴史ある建物・文化施設、大使館や東京タワーなど、都心ならではの景観や文化資産があります。
- 古くから続く歴史、偉人ゆかりの地、地域の神社仏閣、そして大震災を乗り越えてきた経験など、港区ならではの歴史があります。
- 文化の最先端でありながら品位や豊かさを保ち、地域コミュニティのつながりを大切にしています。
- 自然公園や坂など、地理的な特徴も港区らしさとして守り、単なる都市としてではなく、地域の個性を大切にしたいです。

●港区の誇るべき特徴・長所

- 子育て支援や保育幼児教育が充実し、歴史ある小中学校が多く、恵まれた教育環境です。
- 先進的な行政、新旧の調和、国際性や異文化交流といった、多様性・先進性も港区ならではの魅力です。
- 自然が豊かで、環境への配慮がされている点も区の特徴です。
- 高齢者支援が充実し、近隣との絆も強い一方で、高層マンションや飲食店も多く、健康的な暮らしや豊富な食文化も魅力です。

●港区の将来像（理想の将来の港区の姿）

- 歴史や伝統・文化を大切にしながら、国や地域の先進的な教育やインクルーシブ教育が際立った教育環境が充実しています。
- 緑や公園の増加・保全、気候変動や猛暑対策など、これからの時代に必要な自然環境の保護・改善がされています。
- 外国人を含めた全ての人々が、地域コミュニティのつながりや、互いを尊重することで、差別分断のない社会となっています。
- 全ての子どもが大切にされ、安心して楽しく学びながら成長できる教育環境が整備されています。
- 新旧の調和を図ると共に、大使館や寺社、商店街などの地域資源を生かし、誰もが学んでいけるまちとなっています。

港区が持つ歴史や伝統、文化といった資産を大切にしながら、先進性や多様性、国際性をさらに高め、誰もが安全・安心に住み続けられるまちにしていきたいと考えます。

特に教育は、人が育つうえで何よりも重要です。未来の子どもたちや港区の全ての人が、素晴らしい環境の中で学び、暮らし続けられることを目指します。

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」という言葉は聞かなくなった ・暴力が人権侵害としてみなされ、教育機関と警察の連携が深まった ・発生数も激減した 	港区内の大学と連携し、生涯学習の講座が多種多様に開かれている（CC大学の多種多様版）	新しい感覚第六感が開花！動物と話せる（アニマルライツ）殺処分0
	学びは基本的に遊びに進化して誰もが楽しく熱中するようになった	紙ベースの書籍と電子書籍の両方が活用できるようになっている	テクノロジーが教育に使われている AI 専門家が教員を助ける
	紙ベースの図書を返却できるポストが設置されている	結局AIが進んでも人間の体は変わらない健康第一	海外を含む教育（カリキュラム）の選択肢が増えている
	教員がきめ細やかな対応 子どもたちが勉強できるなど	学校教育の部活動の指導者は教員以外が行っている	一人ひとりの子どもがアクセスできる文化財が増える
	教育で保護者が自分だけで悩むことはなくなった	教育の進化に港区の教育特区は大いに貢献した	海外にもメンターがいる（学生メンター制度）
	テレポーテーションして自由にどこでもいける	日本と世界の違いを認識する人、子どもの増加	伝統文化をしっかりと教えられるようになっていく
	学校教育がなくなっている 自分の生き方でOK	教科書が紙ではなくiPadに	宿題なし（教員と学生が面接で個別に決定）
	放課後の学校が市民にオープンになっている	学校現場は教育の成果を全て公表している	高校のキャンパスが海外と日本（流動的）

分類	意見		
うれしい姿	区民も小中高大の授業が受けられる（自由）	先の大戦のなぜを正しく理解する人の増加	食べ物は全部オーガニック 添加物0に
	国歌、国旗を掲げることが当たり前	いい意味で人それぞれの価値観で生きる	田んぼや畑があちこちに、自給自足
	スポーツができる場所が増えている	図書館が増えて便利に利用できる	日本人で誇らしいと思う子どもたち
	文化財保全できる世代を超えて	保護者のサポートが充実している	オンラインで授業を選択できる
	子どもが楽しい学校になっている	オルタナティブスクールが充実	対話+αの時間がある（毎日）
	地域の大人の学校カリキュラム	古い建物、橋の保存されている	ICTの普及⇒教員の質↑
	日本人以外の通う学校が多い	開かれた学校になっている	国の歴史を誇れる人の増加
	公園の木が多く残っている	宇宙に住んでいる人もいる	働かなくてよくなっている！
	フィールドワークが多い	図書館で授業が受けられる	日中も放課後も学校開放
	日本語をしっかりと学べる	英語で授業がある	寺院が現状のままである
対面教育の充実	学ぶ場所が増えている	子どもが多くなっている	
18歳以下自殺ゼロ	手ぶらで登校できる	子どもたちが皆笑顔	

第2回グループ会議

第1ラウンド

2040年代の港区のうれしい姿・避けたい姿

分類	意見		
うれしい姿	他者を尊厳する	教育職大人気	不登校なし
	飛び級OK		

分類	意見		
避けたい姿	運動能力が著しく低下して10代が60代くらいの筋力・運動能力になっている	欧米の文化を肯定し、批判することを全く欠いた視点の植え付け	直接会って遊ぶという機会がほとんどなくなっている
	英語は得意でも古文・漢文を全く読めない学生増加	図書館の予算が減り知的好奇心を高められない	日本の歌（文部省唱歌）を知らない世代の拡大
	学校行事やイベントが少なくなっている	教員の力不足（人間がAIに負けた）	勉強はしんどいもの、つまらないもの
	子どもの心を無視した教育環境の推進	（リアルな）学校がなくなっている	本を読まずメディア利用に偏った教育
	日本の歴史を恥じだと思ふ人の増加	教員の仕事量が減少していない	学校現場のDXが進んでいない
	大人がいい子を押しかける教育	日本人らしさの欠けた人の増加	教員が保護者対応に追われる
	AIやロボットがお友達	誰も教員をやりたいがらない	EBPMを採用していない
	無関心 排除 なくなっている	不十分な想像力と自己表現	スポーツする場所がない
	文化財が廃れている	外で遊ぶ機会がない	大人が変化をしない
	教育費が高い	人種差別がある	大人が学ばない

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
いじめ	予防教育（人権、メンタル）に力を入れてほしい	待遇を改善してほしい	
オンライン	体験型の授業を増やしてほしい		
学校システム	ICTをさらに活用 対話の時間、コミュニケーション力を磨く時間をあげる	先生たちが休めるように、専科の先生を外注して、不登校のことも外注して	先生への支援必要 15~20人のクラス（少人数クラス）
	現実の問題に取り組める最大1年間の学校のカリキュラム	子どもの目線になって教育してほしい	友達を大事にする
	学童を安くして！	教員の数を増やしてほしい	
グローバル	港区は教育機関同士の交流とネット教育の進歩で海外留学は減って海外旅行は増えたよ！	グローバルな感覚を養ってほしい	
健康	運動が苦手でも楽しく身体を動かす価値観にする いわゆる勉強は個人の進度に合わせるから道徳、倫理はスポーツで主に学ぶ		
社会	日本人にしか通じないコンテンツはなくなるけれど、海外の人にも響くものはむしろ盛り上がる	子どもたちが笑顔になる力に新しいキャリア、学歴は関係ない進路	
生涯教育	図書館に本をたくさん保存してほしい（データではなく紙で）		
学校	地域に開かれた学校に		
テクノロジー	2040年の社会人はAIは不可欠なものになっていると思う 2025年でその対応ができる教育をどれだけ行われているのが考えてほしい	AIを使うためには日本語で論理的に説明できる力が必要 国語力、特に評論文の読解と表現の力をつけるべき これは切実な課題である	AIに頼らないで自分で考える力を磨く
	語学よりも皆と遊ぶカリキュラムを		

第2回グループ会議

第2ラウンド

2040年代から2025年の港区民へのメッセージ

分類	意見		
日本	9歳までは日本語（母語）に力を入れてほしい 自由に遊ぶ時間（一人で、友だちと、異性と）	学校教育や習い事が西洋のものばかりだから、雅楽など日本の習い事を入れてほしい	戦後教育からの転換
	国際人となるために、歴史文化の教育を変えてほしい	国歌をみんなが歌えるようにしてほしい	学校の在り方をしっかり考えてほしい
	伝統、文化に力を入れてほしい		
人間力	子どもの興味関心を伸ばし、基礎学力はAIシステムでカバーし、人との対話、つながり重視に力をいれてほしい	想定されないリスクを乗り越えるために受験ではなく好きなことをつきつめてほしい	人間力を保つためにAIとのうまい付き合い方を真剣に議論してほしい
	学校でやること 体育祭、部活、掃除、イベント、合唱コンクール、林間学校	大学入試システムが変化している 多世代のつながりの日常生活が大切	教員の指導力低下を防ぐために十分な支援を惜しまないでほしい
	AI、テクノロジーが進むため、身体はしっかり動かしておく	しっかりした考えを持ってもらいたい	体力をつける！
文化	書店に続いて図書館も現物を扱う場所はそのままで減ってしまうがレファレンス拠点として2040年は大いに活用される	文化財の予算をあげてほしい	
まちづくり	子どもの勉強のためにママがゆっくりできるような集まりの場をたくさんつくってほしい	食料危機のため、ビルや学校で農業をしてほしい	スポーツができる場所を残す
	集団で学ぶ場を残す		

第2回グループ会議

第2回グループ会議（模造紙）



New Vision
H1 N A T O C E J O N - T O U N F O R A

教育

R7
9/5

2040年へタイムスリップした港区の姿を検討

うれしい姿

- 自分から学びたい!!
- 緑多
- 自給自足
- 自然
- オーガニック
- 日本
- 日本語
- 歴史
- 地域に開かれた学校
- 非認知能力を伸ばす
- オルタナティブスクール
- 自分たち? 問題解決
- 対話時間
- 長期span??

避けたい姿

- 停滞した学校システム
- DX
- 進んでない仕事量が多い
- 教育費が高い
- 変えない
- EBPM活用して!
- 大人が学ばない
- 偏重した生涯教育
- グローバル教育を重視しすぎて日本について知らない...
- おれさえよければいい
- IL-ILになる
- 保護者
- 教育は学校だけに頼る...

個性? 規律? バランス?

2025年の港区民へのメッセージ

うれしい姿を実現するために

- 99世代とのつながり
- 体験型授業
- 教師の人数
- 待遇
- Teacher Empowerment
- 大事に Activity
- 笑顔
- 子ども目標を! 教員を!
- 伝統文化をしっかり教える
- 集団で学ぶ場所
- 開かれた学校
- 対話
- 友達
- Education
- AIの活用
- グローバルな感覚を養ってほしい
- AIに頼りすぎない
- Japanese
- やらぬこと決めよう!
- 9までは日本語に力入れ?
- AIとうまくつきあおう
- コミュニケーション力を磨く時間
- Education

避けたい姿を避けるために

- Global
- Technology
- 人間力
- AI
- Support
- 教師への支援
- 先生
- 休めるよう
- 外注活用して!
- 戦後教育からの転換を
- 港区国際化スクールとの交流
- Global
- 日本のこどもわかる真の国際人になってほしい
- 図書館
- 紙本増やして!
- Book

■分野別の将来像 検討のまとめ

【学校教育】教員や保護者の負担を減らし、子どもたちが自分らしく学べる環境

- 子ども・保護者に対するサポートの充実
保護者への支援や、いじめや不登校への迅速な対応ができる環境づくりが必要です。
 - 教員の負担軽減への懸念
教員の業務量軽減への課題や教員処遇への対応が教育全般に及ぶ問題として危惧されます。
 - 柔軟で充実した教育へ
柔軟で充実した教育の実現に向けて、オンライン学習といった制度・手法を含め、子どもたちが自ら学びたいようになるような仕組みを構築する必要があります。
課外活動の充実、フィールドワークの増加などが望ましいと考えます。
- ▶子どもたちが勉強したくなる教育環境が構築され、教育の質を向上させながら、子どもたちが自由に自分らしく学べる教育の実現させることが重要です。

【伝統文化・生涯学習】日本固有の歴史や伝統・文化を大切にしながら、大人も学び続ける社会

- 教育における日本と港区の歴史・文化の重要性
日本や港区の歴史・伝統・文化を尊重し、国や地域のアイデンティティをよく理解するとともに、それらを大切と思える教育を進めることが望ましいと考えます。
また、教育は子どもだけに限らず、誰もが学べる社会の充実も必要です。
 - 日本の良さや大切にしてきた価値観が失われることへの懸念
日本の道徳観が失われることや、古典や漢文が読めなくなる状況など、培った文化が失われることに対する懸念があります。
- ▶新しい技術や制度を意識した教育を推進しつつも、歴史や文化を学ぶことを大事にしていき、誰もが参加できる場と機会を増やしていく必要があります。

【教育環境】最新の技術を取り入れながら、人と人との交流もより活発に

- バランスの取れた先端技術・デジタル教育へ
学校現場のDXがなかなか進まないといった新技術対応への遅れに関する懸念もある中で、AIなどの普及による人間関係の希薄化や体力の低下、過度なグローバル志向による日本らしさの消滅に対する危機感があります。
- ▶私たちがテクノロジーを駆使し、世界的なグローバル化へ対応していくことが重要です。

国際的な視野を広げつつ地域の歴史や伝統・文化を尊重する教育へ

今後ますます広まる世界のグローバル化やテクノロジーの視点に対応した教育を整備し、地域の歴史や伝統・文化も大切に、個性に合った多様な教育の場や機会が必要です。

第3回グループ会議

全体の将来像案（港区のこれまで）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	鉄道発祥の地として交通網が充実し、 <u>トップレベル</u> の企業や大学、病院など、様々な機関が集まっています。	<ul style="list-style-type: none"> 「トップレベルの企業～」とあるが、区内企業はトップレベルのものだけではなく、基準が不鮮明である。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「大小多くの」などの表現に変更する必要がある。
	多くの外国人が住み、大使館の半数以上が集まり国際性を享受する港区には、 <u>多様な価値観や文化を受け入れる寛容な心があります</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> 「港区には、多様な価値観や文化を受け入れる寛容な心があります」とあるが、上から目線の表現に感じる。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 港区が多様性や多様な価値観を「受け入れている」かは実際にはわからない。しかしながら仲良くはしているし、それが理想的な共存ではないか。「多様性を受け入れる」という表現では迎え入れた印象になるが、調和して共存しているし、尊重し合っているから平和であるということを強調したい。
	全体	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に平仮名が多い。（例：「まち」「うるおい」「やすらぎ」「たくさん」「いざなう」、人「たち」など）

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代の港区の将来像）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
本文	<u>日本のトップランナー</u> として新しい風を巻き起こしています。	<ul style="list-style-type: none"> 「日本のトップランナー」とあるが、「国際都市としてのトップランナー」の方が適切ではないか。
	<u>誰もが憧れる</u> 都会でありながら、そこには心が穏やかになる居場所があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「誰もが憧れる」という表現に違和感である。
	年齢や国籍は様々で、日本や世界から集まった人同士が分け隔てなくつながり、交流を楽しんでいます。	<ul style="list-style-type: none"> 「日本や世界から集まった人同士が分け隔てなくつながり」とあるが、ここは日本なので「日本」という表現に違和感がある。「地域」や「全国」ならわかる。
	<u>多様性を受け入れる包容力と思いやり</u> の心が、地域から世界へと広がる架け橋となっています。	<ul style="list-style-type: none"> 「日本や世界から集まった人同士が分け隔てなくつながり」とあるが、「集まった～」の表現は、調和して共存している、お互いが尊重し合っているような表現の方が望ましい。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 港区が好き、誇りに思っているという表現になっていることがわかるが、他自治体から見て反感を買わないような表現（例：AもいいけどBもいいといった表現）にしてほしい。

第3回グループ会議

全体の将来像案（2040年代に向けて大切にしていきたい）に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
—	—	特になし

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	過去を知り、今を考え、未来へ進む。 <u>学びたいを支える</u> スマート教育都市	<ul style="list-style-type: none"> • (学ぶ主体として)「誰もが」という言葉あった方が良い。
		<ul style="list-style-type: none"> • 学びを「生み出せる」環境をつくることが重要である。
		<ul style="list-style-type: none"> • 「学びたいを支える」とあるが日本語として違和感があり、「子どもの学びを支える」という言葉の方が良い。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「学びたいを支える」という言葉より、まずは学びたいという気持ちを生み出すことが大切であり、「学びを生む」という言葉の方が良い。 ➢ 「学びたいを支える」という言葉ではなく、「学びたい“心”」とすれば良いのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> • 「学びたい」という言葉の前に「自ら」という言葉を入れても良いのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> • 学びたいを支えるスマート教育都市に関して、学びを生む都市でも良いのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> • みんなで学びをつなげていく(連鎖の要素)を追加すべき。
		<ul style="list-style-type: none"> • 自ら学びたい心を育む未来に向かった教育都市とするべき。
		<ul style="list-style-type: none"> • どのような環境で生まれた子どもであっても自分で生き抜く力を担保、育むことができる都市であることが重要、つまりレジリエンスのニュアンスを入れる必要がある。「生き抜く力の土台をつくる」ことが重要だと考える。
<ul style="list-style-type: none"> • 港区に戻ってきてほしいという将来像がない。 		

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
リード文	港区の文化を大切にしながら世界とつながり、テクノロジーも生かした、未来へひらかれた学びのかたちが育まれています。	<ul style="list-style-type: none"> 「港区の文化を大切にしながら～」とあるが、大切にするのは文化だけではなく、歴史や伝統もあり、「歴史・伝統・文化」という表現にした方が良い。
タイトル	安心の中で子どもが育まれるまち	<ul style="list-style-type: none"> 「安心」だけでなく「安全」も付けて加えてほしい。 「安心」を入れるということはもともと問題があるという風にならないか懸念している。
本文	子どもたちが自分らしく学び、のびのびと成長できる教育環境が整っています。 教員が子どもたちと丁寧に向き合えるようなゆとりある時間が確保されるなど、働きやすい環境づくりが進み、「先生」という仕事の魅力も高まっています。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自ら問題を解決できるようになることが重要であり、そのニュアンスを入れるべきではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> 子ども、保護者が安全・安心な環境をつくるとするべき。
		<ul style="list-style-type: none"> わざわざ教員について言及する必要がない。
		<ul style="list-style-type: none"> 教員の環境そのものは必要ないのではないか。
		<ul style="list-style-type: none"> 親も安心、お互いが信頼し合うニュアンスの方が良いのではないか。
タイトル	「安心の中で子どもが育まれるまち」・「日常に学びがあるまち」	<ul style="list-style-type: none"> 一つ目の「安心の中で子どもが育まれるまち」と2つ目の「日常に学びがあるまち」を統合させ、もう一つの柱として「道徳」に関して作っても良いのではないか（安心・日常、テクノロジー、+道徳）。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
タイトル	テクノロジーがポテンシャルを高めるまち	<ul style="list-style-type: none"> • なんでもテクノロジーとすることは危険。全面的に出さない方が良いのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ テクノロジーは「最先端技術」、ポテンシャルは「可能性」という言葉が良い。 ➢ 「テクノロジーで可能性を生むまち」とするのはどうか。 ➢ 「テクノロジーで可能性を生むまち」も考えられる。
本文	デジタルの力で、学びがもっと <u>スマート</u> になっています。	<ul style="list-style-type: none"> • 「スマート」という言葉が曖昧である。「多岐多様」や「多種多様」など、もっといろいろなものに触れながら学ぶというニュアンスにした方が良い。
	学校では先端技術により授業がもっと分かりやすくなり、AIが基本的な学習をサポートすることで、話し合いやアイデアを広げる時間をしっかりと確保できるようになっています。	<ul style="list-style-type: none"> • なんのためのAIなのかICTなのか明記すべき。
	テクノロジーの進歩は、 <u>地域と世界の距離を縮めています</u> 。	<ul style="list-style-type: none"> • 2つ目の柱である「日常に学びがあるまち」には「様々な場所が気づきや発見の場となることで」とあり、その表現は“広がり”を感じられるが、3つめ目の柱「テクノロジーが～」で表現されている「テクノロジー」という言葉は物事を限定的に捉えていると感じ、地域と世界の距離を縮めているのではないか。
	世界中の多様な文化や考え方に触れながら、 <u>グローバルな視点</u> で学ぶ機会が自然と増えています。	<ul style="list-style-type: none"> • 活躍できる人材輩出のためグローバルな視点とするべきである。
	テクノロジーがポテンシャルを高めるまち（全体）	<ul style="list-style-type: none"> • インターナショナルにこだわっている印象あまりこだわりすぎない方が望ましい。

第3回グループ会議

分野別の将来像案に対する意見

該当部分	該当部分の文章(全体の場合は「全体」と表記)	意見
まとめ	地域や歴史の文化を大切にしながら、進展するグローバル化やテクノロジーに対応した教育都市へ。	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化についてInternationalの方が良いのでは。
		<ul style="list-style-type: none"> グローバルは多義語であり、読み手によって受け取り方が違う。「国際化」の方が適切なのでは。
		<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル」≠「国際」ではないか。わざわざ避ける必要もないのではない。(カタカナに違和感があるのであれば)「グローバル」ではなく、世界中の人々や様々な人々と共に生きるということで「共生」という言葉が良い。
		<ul style="list-style-type: none"> 国際化は経済的面が必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> グローバルは、政治的なニュアンスなのではないか。
その他	全体	<ul style="list-style-type: none"> 考える力・判断力を含めてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 「子どもの力を引き出す」を含めてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人権教育を含めてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーを使いこなす倫理観の教育が必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーを使いこなす道徳・人間力も並行して記載が必要。
		<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーと人の調和について記載するべき。

3-1. 検討結果 区全体の将来像

■MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会

○3回のグループ会議での検討の成果を発表しました。

○発表した将来像に対し、MINATOビジョン コ・デザイン会議委員がコメントをしました。

次第

令和7年11月14日（金）18:30～20:00実施

MINATOビジョン コ・デザイン会議委員紹介

MINATOビジョン・タウンフォーラムの概要

分野別の将来像について

区全体の将来像について

配布資料

- ・（資料）MINATOビジョン・タウンフォーラム活動報告会資料

■港区のこれまで

伝統と新しさが、出会い続けてきた場所

港区には、時代を超えて受け継がれてきた歴史があります。

徳川将軍家の菩提寺となった増上寺などの寺社仏閣が多く残り、明治時代に日本初の鉄道が開業、昭和には東京タワーが建設されました。

地域に根差した文化を守りながら、社会の変化とともに、東京、さらには日本の中心となる国際都市として発展を続けてきたまちです。

鉄道・船・飛行機と結ばれた充実した交通網に加え、メディアが集まり情報発信の拠点となっています。

博物館や美術館が文化を育み、企業や学校、病院が集うまちには、国内外から多くの人が行き交っています。

東京の中でも水辺に面しているのは、港区の特徴です。

台場や芝浦港南など、海や運河が都会の風景の中に広がり、四季の移り変わりを楽しめる公園もあります。

都市の利便性と自然の豊かさ、その両方を感じられる、これこそが港区の魅力です。

そして、港区には「人」の温かさがあります。

発展したまちの中でも、昔ながらの商店街や町会・自治会が息づき、人と人とのつながりが根付いています。

多くの外国人が暮らし、駐日大使館の半数以上が集まり国際性に富んだ港区は、多様な文化が調和しながら、ともに過ごしています。

この混ざり合う土壌が、人の温かさと新しい出会いを育んでいます。

受け継がれてきた歴史や文化を大切にしながら、新しさを受け入れてきた港区。

その歩みの積み重ねが、今の港区を形づくっています。

一方で、将来を見通すと、全国的に人口減少が加速し、超高齢社会が進行していきます。働く世代の人口減少により、労働力が不足する時代が到来します。港区においても、地域コミュニティの衰退や首都直下地震をはじめとする自然災害の脅威など、都心特有の様々なリスクが待ち受けています。

こうした社会課題を乗り越え、明るい未来へ進んでいくために、2040年代という将来を見据えて、希望ある港区の姿を描きます。

2040年代の港区の将来像

今を引き継ぎ、社会課題を乗り越え、未来を創る。
「歴史と未来」「都会と自然」「地域と世界」が交差し、
一人ひとりが自分らしく、幸せに暮らせるまち

歴史と未来

新しい風が吹く
まち

これまで大切にしてきた歴史や文化を礎に、時代の変化を受け止め、先端技術を活用しながら、新たな価値を創造し、日本有数の都市として新しい風を巻き起こしています。人々が出会い、アイデアが生まれ、暮らしが豊かになっていく。次の世代へとつながるこのサイクルが、港区を明るい未来へといざなっています。

都会と自然

美しく心やすらぐ
まち

誰もが魅力を感じる都会でありながら、そこには心が穏やかになる居場所があります。輝き潤う水辺の景色や木漏れ日が差し込む公園。まちがデザインされていく中で、水や緑が彩を織りなしていく。美しい都市とともに、自然を身近に感じながら、心癒されるやさしい日常を過ごしています。

地域と世界

みんなが支え合う
まち

港区には、暮らす人だけでなく、働く人や訪れる人も多く集い、にぎわいを見せています。年齢や国籍に関係なく、世界中から集まった人同士が交流し、分け隔てなくつながっています。互いに助け合い、支え合う。多様性を受け入れる包容力と思いやりの心が、地域や世界を超えて広がり、誰もが安心して暮らせるまちになっています。



これまでの歩みを大切にしながら、社会課題を乗り越え、新しい未来を創っていく。
港区という輝く舞台上、一人ひとりが自分らしく、幸せに過ごせるまちが実現しています。

■港区が大切にしていこう

理想の未来を実現するためには、想いを一つにすることが不可欠です。
誰もが幸せを感じられることを目指し、
港区に関わる人たちが協力し合いながら歩みを進めていきます。

一人ひとりの幸せを実現する

人々の境遇や立場は様々です。
そのような中でも、一人ひとりの気持ちや考えを大切にしながら、
人を思いやる心と地域のコミュニティを育てていきます。
人と人との絆を紡ぎながら、子どもから大人まで港区に関わる全ての人が幸せ
を感じられるまちを実現していきます。

地域みんなで未来をつくる

港区には、地域に想いを寄せる、たくさんの人たちがいます。
区民をはじめ、働く人や学ぶ人。
そして、企業や学校、NPO、町会・自治会、商店会など。
港区という輝く舞台上、それぞれが可能性を最大限に発揮しながら、
港区に関わる人が手を携えながら、一緒に未来をつくっていきます。

3-2. 検討結果 分野別の将来像

①子ども・子育て

●将来像



子どもたちとともに描く。 今を生きる子どもを未来へつなぐまち

今を生きる子どもたちも、やがて大人になります。
子どもも大人も、今だけでなく将来にも希望を持てるまちをつくるのが、未来の子どもたちの希望につながります。
希望のサイクルが将来へと続き、誰もが笑顔で過ごせるまちが実現しています。

子どもたちがのびのびと過ごせるまち

2040年代の港区では、遊具が充実した公園や安全に遊べる場所、わくわくする環境が整い、子どもたちがのびのびと過ごせるような、子どもが一人でも安心して出歩けるまちになっています。子どもの成長に合わせて、学んだり、ゆっくり過ごせる居場所がいつでも誰にでもあり、一人ひとりがやりたいことを自由に選べるようになっています。

子育てとやりたいことを両立できるまち

子どもを望む人が理想とする人数の子どもを安心して生み、育てられるようになっています。必要な数の保育施設や学童クラブなどが整い、子育てと仕事など、やりたいことの両立につながっています。きめ細かな保育サービスが充実し、子育てをしながら多様な生活スタイルを実現することができます。

子どもを地域で育むまち

地域との交流を通じて、様々な人々と出会い、学び、助け合いながら、子どもを地域で育てています。保護者だけが悩みや苦勞を抱えるのではなく、地域で子どもを見守り、支え、相談できる環境が身近にあることで、子どもや家庭の孤立がなくなっています。



将来へ希望のサイクルがつながる、笑顔あふれるまちへ。
子どもや大人にやさしく、誰もが将来に希望を持って、笑顔で過ごせるまちになっています。



孤立させない地域の輪をつくる。 お互いが支え合い、一人ひとり自分らしく暮らせる健康福祉先進都市

高齢者や障害者、生活に困っている人など、誰にでも社会の中で居場所があり、自分に合ったサポートを受けながら、健康で安心して穏やかに暮らしていけるまちになっています。

誰にでも居場所があり、 互いを支え合うまち

互いに声をかけやすい環境をつくることで、気軽なコミュニケーションを通じて支え合う地域のつながりが、都心ならではの形で築かれています。
集合住宅における社会的孤立を乗り越え、年齢や障害の有無などにかかわらず、趣味や仕事など、それぞれが叶えたいと思うことを実現できる居場所があり、社会から孤立する人がいなくなっています。

身体に向き合い、 健やかに暮らせるまち

一人ひとりが心身の体調に気を配りながら健康づくりに取り組むことで、健やかな生活を送り、健康寿命の延伸につながっています。
病気の際には、身近な診療所から大きな病院まで、治療方法など多様な選択肢の中から、自分の希望に合った医療サービスを引き続き受けることができます。
妊娠しているときや出産した後も、助産師や同じ境遇の人と悩みを相談できるなど、互いに支え合いながら安心して子どもを産める環境が整っています。

ニーズに合ったサービスが受けられるまち

介護サービスや障害福祉サービスを受けられる場所が身近にあり、介護や支援を必要とする全ての人が、安心してサービスを利用できるまちになっています。
介護や障害福祉の現場で働く人がいきいきと働ける環境が整っており、介護や障害福祉を志す人が増え、高齢者や障害者などは、ゆとりある環境の中で、手厚いサービスを受けることができます。



2040年代の港区では、様々な人が手を携え、支え合う地域社会が実現しています。
誰もがやさしさを感じられる居場所の中で、みんなが自分らしく暮らしています。

③街づくり

●将来像

“ひと”をまんやかに“港区ならではの”をつくる。
これまでを紡ぎ、未来へ駆ける心躍るまち



2040年代の港区は、歴史と新しさが調和しながら、美しい街並みや水辺の潤いに包まれた快適な環境が備わっています。誰もが安心して暮らせる都市の中で、地域のコミュニティが活気を生み、にぎわいと癒しに満ちた人中心のまちが実現しています。

港区の魅力が際立つ
美しいまち

東京タワーや歴史ある建物など港区らしさを感じさせる風景が残りながら、大使館や企業が集まる多様性・先進性と共存し、美しくデザインされた都市となっています。運河や台場の海にはイルカが訪れるほどきれいな水辺が広がり、四季折々の花や木々がまちを彩ります。最先端のモビリティが快適で安全な移動を実現しています。防災や防犯、環境保全など、あらゆる面から持続可能な生活を支えるインフラの整備が進んでいます。

人々の暮らしと活動を
支えるまち

港区は、区民はもちろん、港区に関わる全ての人々の活動を支えています。世界中から訪れる人々が言葉の壁を感じることなく交流しています。子どもが一人で外出できるほど安全で、まち全体がバリアフリーで高齢者や障害者も安心して過ごせる、誰にとっても過ごしやすいまちになっています。在勤者や在学者も、地域の活動やお祭りに参加するなど、様々なコミュニティが街中に活気をもたらしています。

みんながワクワクする
まち

水辺では、多くの人々が潤いを感じながら散策やイベントを楽しみ、海水浴を満喫しています。公園では、子どもたちが元気に遊び、立ち寄る人は緑に囲まれながらリラックスして過ごしています。カフェやレストランでは、様々な人が集まり、世代や文化を超えて日々新しい出会いが生まれ、人と人との輪が広がっています。港区は、日常の中に心躍る瞬間があり、笑顔や楽しさにあふれています。



独自の魅力や強みを生かしながら、いつでも人を中心にまちづくりが進んでいます。港区に関わる全ての人々のワクワクする心が、未来へつながるにぎわいと癒しに満ちたまちを実現しています。

みんなの意識と行動が未来を変える。 自然が暮らしを彩るサステナブルシティ



個人、企業、行政、それぞれのアクションが、持続可能な港区への大きな一歩となります。都市の便利さと自然の豊かさが美しく調和した新しい暮らしが、未来へと続いていきます。

脱炭素型のまち

2040年代の港区は、サステナブルに調達された再生可能エネルギーがまちの隅々まで行き渡り、持続可能な発展を実現しています。エネルギーステーションが街中にあり、環境負荷の少ない電気自動車や水素自動車などエコフレンドリーな移動が当たり前になっています。区民や企業、行政が連携し、新たな技術を積極的に取り入れ、国内外から注目されるエネルギー先進都市となっています。

都会と自然が共生するまち

まちが発展する中でも、身近に緑があふれ、みんなが楽しめる水辺があり、そして、星空が見える空気のきれいなまちになっています。公園や街路樹など緑が一層豊かになり、多様な生きものと共存ができています。まちの発展と自然保全のバランスが保たれ、「自然と共生する都市」が実現しています。

3Rで循環型のまち

リデュース、リユース、リサイクルが人々の生活に馴染んでいます。食品ロスがなくなり、ペーパーレスが推進され、ごみが排出されにくくなっています。不要なものは「譲り合いスペース」で再利用され、地域全体で資源を大切にする意識が根付いています。ごみがきちんと分別され、資源を無駄なく循環させる社会が実現しています。港区で生活する全ての人が「環境問題を自分ごと」として捉え、行動が変わっています。



2040年代の港区は、一人ひとりが主体となって持続可能なまちに。まちの発展と自然が共生し、誰もが安心して暮らせる未来があります。



今と未来を守るために備える。 住民同士が支え合う防災・危機管理モデルシティ

地域の絆が強固に結びつき、テクノロジーも積極的に活用しながら、災害に強く、犯罪被害のないまちで、誰もが安心して暮らすことができます。

一人ひとりの日々の備えと互いへの思いやりが、様々な危機を克服し、まち全体の安心を大きく高めています。

コミュニティで 助け合うまち

住民同士が顔の見える関係を築くことで、災害時の助け合いの精神が育まれ、犯罪の抑止にもつながっています。

防災・防犯組織の結成も進み、防災や防犯を「自分ごと」として考えながらコミュニティに参加する人が増え、地域の暮らしの安全を支える力となっています。

災害を低減するインフラ整備が進んだまち

マンションをはじめとする全ての建物の不燃化や老朽化対策が進み、災害時には緊急車両が通行できるよう道路の安全が確保されるなど、自宅で必要な支援を受けながら安心して避難できる、強固な基盤が整っています。

万が一避難が必要となった場合でも、ペットと住民と一緒に過ごせるなど、多様なニーズに対応した避難場所が整備されています。

テクノロジーを活用し 暮らしを守るまち

2040年代の港区では、テクノロジーの発展が、様々な災害・犯罪対策に生かされています。

個人が持つ情報デバイスは進化を遂げ、防災・防犯に関する情報は全ての人に正確かつ瞬時に発信、住民もテクノロジーを正しく活用し、確実な対策を講じています。

人と地域がつながる港区では、こうしたテクノロジーの積極的な活用により、災害に強く、犯罪被害のない、住民が安心して暮らせるまちを実現しています。



テクノロジーを積極的に活用しながら、地域で支え合う未来の防災・危機管理のまちへ。
一人ひとりが地域の担い手としての意識を持ち、安心して暮らせるまちが実現しています。

文化と芸術がまちを織りなす。 人と企業が共創するグローバル・クリエイティブシティ



2040年代の港区は、経済、文化芸術、国際性、地域という多様な価値が重なり、区に関わる全ての人々が主役となって、新たな価値を創造するまちへと発展しています。誰もが心豊かに暮らせる未来が、そこには広がっています。港区のブランド力が確立され、世界から多くの人や企業が集う国際経済都市として、最先端の技術を創造し、イノベーションを巻き起こしています。

創造と交流があふれ、 進化するまち

スタートアップをはじめとする多様な企業や大学が連携し、文化芸術やテクノロジーを掛け合わせた新たな価値が創出され、世界に希望と活力を届けています。ビルはシェアオフィスやクリエイティブスペースとして有効に活用されており、個人店や商店街には国内外から多くの人々が訪れ、活気にあふれています。水辺エリアは世界中の観光客が訪れる憩いの場となり、港区の魅力が一層高まっています。観光も産業も「港区らしさ」を大切に、経済性だけに偏らない個性を引き出すまちづくりを、地域が一体となって進めています。

世代も国籍も超えて、 つながりが広がるまち

町会・自治会などの地域コミュニティは、企業や学校とも連携し、デジタルとリアルを組み合わせるなど、誰もが参加しやすい新たな形へと生まれ変わっています。地域活動や様々なイベントも盛んに行われ、世代や国籍にかかわらず安心して暮らせる地域のつながりが育まれています。「港区に関わる全ての人々が主役」となり、地域への愛着が根付いたまちになっています。

世界と歴史が出会う、 文化が息づくまち

港区は、世界とつながる玄関口として、多様な人々が訪れ、国際色豊かな都市へと発展しています。外国人が地域に愛着を持ち、大使館等と地域コミュニティの交流など、多文化共生社会が実現し、歴史的建造物と先端的都市機能が調和した中で、一緒にまちづくりに参加しています。日本の伝統や文化を大切に守りながら、世界の舞台芸術や文化イベントが催されるなど、国際的な拠点として成長し、地域性と国際性が調和した「世界に誇れる文化芸術都市」として、その独自性を輝かせています。



文化芸術と多様な交流が広がり、誰もが安心して暮らせるコミュニティがにぎわいを生み出しています。経済、文化芸術、国際性、地域の価値が重なり、日本の未来をリードする都市モデルを築いています。

●将来像

今日までを大切に、明日を考え、未来へ進む。 学びの種が芽を出し、世界へ伸びていく教育都市



港区の歴史・文化・伝統を大切にしながら、テクノロジーを生かした未来へ、世界に拓かれた学びの形が育まれています。一人ひとりの個性が大切にされ、誰もが自分らしく関わり、地域とともに育まれ、様々な学びに触れています。

安全・安心ないきいきしたまち

子どもたちが自分らしく学び、自ら考えながら、のびのびと成長できる教育環境が整っています。学校にとどまらず、家庭や地域でも、それぞれの個性に合わせた多様な学びの形がつくられています。教員だけでなく、保護者や地域の人々も一緒に関わるものとして広がり、互いの対話によって、信頼し合える関係が築かれています。港区全体が子どもたちの未来をやさしく育むまちとなり、安心して安全に、楽しく学べる毎日が実現しています。

歴史や文化に親しむ心が育つまち

港区の歴史や文化、伝統を次の世代へと受け継ぎながら、家庭や地域コミュニティの中で思いやりやさしさが育まれています。その中で、国や地域のアイデンティティを理解し、大切に思う心や道徳心が養われています。学びの場は、地域にも広がっています。図書館は身近な学びの場として活用され、公園などまちの様々な場所が気づきや発見の場となっています。企業や大学といった、港区ならではの地域とのつながりによって、多くの外国人も含めて、誰もが生涯を通じて自分のペースで学びを楽しんでいます。こうした学びの積み重ねが、自分たちのまちや国を思う豊かな心を育てています。

テクノロジーで人の可能性を高めるまち

テクノロジーの力を工夫して活用することで、多彩な学びが広がり、創造性や判断力など、人間らしい力が更に高まっています。テクノロジーの進歩は、地域と世界の距離を縮め、世界中の多様な文化や考え方に触れながら、世界全体を見渡す広い視野で学ぶ機会が自然と増えています。技術が発展する中でも、スポーツや体を動かす機会が大切にされ、人の感性やひらめきがますます輝き、いつまでも元気に過ごせています。

地域や歴史、伝統文化を大切に、世界に進展したグローバル化やテクノロジーに対応した教育都市へ。2040年代の港区は、学びを通して人と地域がつながり、未来をともに創るまちが実現しています。

4. MINATOビジョン コ・デザイン会議委員からのコメント

子ども・子育て分野 森山誉恵委員

コメント

- 声をあげづらい子どもたちの声を拾えるまち、という観点をぜひ入れたい。
- コ・デザイン会議のような場になかなか来られない、もしくは声をあげられない子どもたちや子育て世帯の声を聞いて、政策に反映していけるような、そういったまちであってほしい。
- 中高生世代も声をあげづらい大きな子どもとして捉えて、今後ぜひ政策に生かしてほしい。
- 中高生世代は、まだ選挙権もないため、完全な子どもでもない中間の年齢として非常に声が反映されづらいということも感じた。
- 全国でアンケートをとったときに中高生世代の多くが、「疲れた」「とにかく一人になりたい」「人混みは疲れる」など、そういった声が非常に多い世代でもあり、小さい子たちの元気よくいろんな人と交流したいなどといったニーズとは異なるニーズがある。

福祉・保健分野 金圓景委員

コメント

- 「孤立させない地域の輪をつくる。 お互いが支え合い一人ひとり自分らしく暮らせる健康福祉先進都市」というスローガンは、今後目指す姿として非常に大事な内容が、まさに凝縮されているなど感じた。
- 誰も排除しないインクルーシブな視点で議論されたということが非常によく伝わった。
- 孤立・孤独に関しては、これからもみんなで考えていかないといけない重要なテーマであると思う。
- 港区内で孤立させないためには、議論されていたように、公的なサービスの向上だけでなく、地域住民間で支え合う互助や共助の再構築が必要であると思う。
- 一方的に支えられる側だけでなく、支える側にもなるように役割を誰もが持つことが非常に大事だと思う。
- 誰もが役割を持つためには、この地域にどのような人がいるのか、お互いを知る・交流するといった居場所が必要だと思う。
- 介護福祉分野における担い手不足問題も含め、誰もが働きやすい環境づくりが実践できると望ましい。
- 公的な介護施設が維持され、適切に運営されていくことが非常に大事だと思う。そのための行政のサポートや地域住民によるボランティア活動などが、この先活発に盛り上がれるといいなと思う。

街づくり分野 泉山壘威委員

コメント

- ハードだけでなく、ソフトとどういうふう融合していくか、住みたい、暮らしやすいようなまちをどう作っていくかということは重要であり、港区はグローバルスタンダードを目指すということで非常に重要な視点がある。
- 環境や雨や日陰のような気候にも、対応していくような街にしていけないと、なかなか居心地のいい場所をつくれな。
- 総合計画は抽象的なことに終わりがちなので、実現プロセスを具体的にしていくことが重要である。
- 地域住民や企業、行政の連携が重要である。特に行政は部署が縦割りのため、連携する必要がある。
- 政治的だけでなく、データやエビデンスに基づいて、政策を進めることが重要である。
- いきなり完成形を求めたり、失敗を恐れないような形で港区らしい街を皆で一緒に作っていくことが望ましい。

環境・リサイクル分野 藤原和広委員

コメント

- 環境・リサイクル分野は“ではない”的なワードが多く出てくることが多いが、2040年代に港区がこうありたい、そのためにこうしたらいいといった、ポジティブな印象で実現できそうだとわくわくする発表だった。
- 港区民としては、比較的良い環境意識が高く、非常に前向きな方が多い印象である。こういった人をどれだけ裾野を広げ、増やすかが重要である。
- 事業者としては、先進的な技術をどう港区の叡智を合わせて導入するかが重要である。一方で、中間人口が夜間人口の3倍以上ある港区が、働く社員一人一人に徹底することはできていないところがあるため、できていない部分に対してやるべきことをやる必要がある。
- 港区としては、同じ方向を持って、同じ価値観を持って、一体化しながら取り組んでいくということが大事である。区民、事業者が対話できるような場をつくってほしい。
- 世界にも自信を持っていえるような環境都市にすべきであることをビジョンに反映できたら良い。
- 様々な部門と連携しながらエネルギーを安心して使い続けられるようになってほしい。
- MINATOビジョンを形骸化させずに、具体的に実行するために一人一人が自分ごとに捉えて行動につなげられるようになってほしい。

防災・危機管理分野 大木聖子委員

コメント

- 一区民として、今回の発表であったような2040年代が実現できるような社会、港区であってほしい。
- まとめの中に「子どもたちの防災を担う人たちが増えている」「若者が増えている」とあるが、今しっかり防災を学ぶことが非常に重要である。
- 各分野のまとめはこういう港区だったら良いとなっているが、防災分野の提言のようにまとまっている。その中で、防災・危機管理分野を実現するためには、子どもたちにしっかり防災を学んでもらうことを付け加えたい。

産業・地域振興分野 佐々木孔明委員

コメント

- 「グローバルクリエイティブシティ」という言葉がとてもいい言葉だと感じた。
- 港区には大企業も、スタートアップも、大使館など国際的なプレーヤーも多く集まっている。この強みをさらに活かし、大企業とスタートアップと一緒に挑戦して、実装まで進んでいけることがとても重要だと感じた。そうした環境が整えば、産業の活性が生まれ、地域に新しい文化や働き方が広がると考える。
- 水辺エリアは、港区を象徴する大きな資源であるため、昼も夜も楽しめる海辺の空間ができれば、さらに港区の魅力も高まると感じる。
- 特に夜の賑わいをどう作っていくのかというところは今後の港区の大きなテーマとなると思っている。最先端の技術を多くし、港区の水辺エリアから世界に誇れる国際観光都市を作っていくことができると考える。
- 港区がナイトタイム、最先端エンタメの特区となれば、港区にいろんな挑戦が集まるんじゃないかと感じている。それを実現していくことで、港区は単なるビジネスエリアを超えて挑戦が生まれ、人が集まる国際都市へと港区ブランドをさらに大きく進化できると感じた。

教育分野 中川哲委員

コメント

- 安心して楽しく学べる土台のうえに、非常にバランスよくいろいろな要素が盛り込まれていた。
- 将来像で描かれている教育を受けた子どもたちがどのような力をつけるのか、どのような力をつける教育をしたいと思うかという姿は具体的に書かれていなかった。おそらく、港区で学んだ体験から自分らしさを獲得し、自分らしさの中から自ら考えて決定するという力を持つ子どもが港区から育まれることを期待して考えたのではと考える。
- 昨今生成AIが話題で、学校現場でどのように取り扱うか慎重に吟味している。生成AIは限られた枠の中で作業をすることは得意な一方で、意思決定はあまり得意ではない。
- 限られた枠を壊していく力、自ら新しいルールを作っていく力っていうのが人間には必要であり、そういったことが考えられたプラットフォーム、教育のプラットフォームのうえで成立していくといいなと思った。

多文化共生分野 コバーチ・エメシェ委員

コメント

- 外交官と外国人としては、港区はとても住みやすいところである。発表であったように大使館が多くため、港区民は昔から外国人の存在に慣れてきていると思う。
- 外交官は短期間で日本にくる人が多いため、英語しか話せないことが多い。港区の子どもたちにとって、英語の能力を高めることで、将来的に英語でコミュニケーションをとり、大人になったときには、海外に行ったときに責任、自信を持って安心して世界に旅立teringということにつながると思う。
- 小学生の頃に異文化を子どもたちに紹介すれば、大人になったときにさらに受け入れやすくなると思う。
- 私達の世界はグローバリゼーションの方に向かっていると思うので、お互いの文化を理解したり、受け入れたり、お互いをサポートすることは非常に重要だと思う。

人権・男女平等分野 遠藤まめた委員

コメント

- 国際色豊かや多様性の話で、国籍、民族の話が出てた。性別やLGBT、障がいがある人など、多様な人が、多様性について包摂するようなまちになってほしい。
- 多様性を受け入れる包容力と思いやりに加えて、多様なバックグラウンドの違う人同士が会う機会機会をつくることを加えられると良い。
- 金銭的な支援だけでなく、多様性の包摂に関係するような人の育成といった、市民団体や血のつながりということを増やすような働きも加えられると良いか。
- 多様な声をどうやって聞いていくかということに関して、行政として待っているだけでは多様な背景がある区民の意見を把握するのはなかなか難しいと考える。
- アクティブに行政の側から話を聞きに行ったり、それぞれのコミュニティのハブとなるような、区内にどういうコミュニティがあるのか、どういうところにいけば、例えば若者であれば中高生の意見が聞きやすいのかなども検討してほしい。

若者分野 古長谷鷹念委員

コメント

- 歴史と文化を大切にしながら、多様性や先進性を進めていく姿勢が全ての分野で共通していた。
- 歴史と未来都市と自然地域と世界っていうところが、まさしく港区ならではの価値観にしっかりつながっている。
- 特に強調されていた、人と人とのつながりやコミュニティの温かさ、これが未来の港区の鍵になると、とても共感している。
- 若者がまちに、実際今もいるにも関わらず、地域にはそういったものが見えない。今回の将来像が実現できれば、そういったところが前向きに解消していくのではないかなと思った。
- タウンフォーラムで検討したような未来のまちが実現することによって、若者が自分らしい生き方や働き方を選べる港区になっていくのかなと思う。

学生分野 杉山琴珀委員

コメント

- どの分野も人と人とのつながりが強調されていた。
- 時代の変化を受け止め、先端技術を活用しながらという点は港区らしい姿勢だと思った。
- 子ども・子育てや教育の分野では、次世代を地域全体で支えると記されており、世代を超えて学び合える環境づくりが期待できる
- 人とのつながりも含めて、港区らしさを次世代に伝えたいと記載されており、世代を超えて学び合える環境づくりが期待できる。
- 防災・危機管理分野では、子ども・子育て、街づくりの分野も共通しているが、子どもが一人でも安心して出歩けるまちや誰もが安心して暮らせるまち、災害に強く犯罪・被害のないまちは、学生の視点から観点から見ても安心できるまちになるだろうなと思った。
- 多様性と包容力を大切にするまちという点も良いと思う。
- 港区には多くの外国人や学生がいるが、地域の方々と関わる機会はまだ限られている。これからは地域の行事や街づくりに若者も参加できるような仕組みがあると世代や国籍を超えた交流が生まれてより良いまちになると考える。

5. 2040年代の港区へのメッセージ

5 2040年代の港区へのメッセージ

○本ページでは、タウンフォーラム参加者から寄せられた2040年代の港区へのメッセージを掲載しています。
参加したグループの色を、コメントの枠色で表しています。

子どもも大人も未来に希望を持ち、
やりたいことに挑戦してほしい

違いは力、尊重し自然と歩む
笑顔の溢れる港区の未来はすぐそこに

魅力いっぱい挑戦し続ける、
そんな港区をずっと応援します！

皆で描いた魅力ある港区の将来像。
幸せにつながると信じています。

子どもたちに、国や地域の歴史と
伝統文化を伝える教育のまち。

動物の殺処分ゼロ！
民度も志も23区トップの街を
期待しています

協働性のある多様性で、
分断のない社会を！

行政は誰のために行うのか！？
主権は区民に在り、区民企画区民評価

創造と交流が溢れ
進化し続けてたら素敵！
きっとファンも増えている

地方都市との連携、
ネットワークを通じて支援をする港区

住む人と働く人、創出と破壊、
開発と保護、その調和が優れた街。

みんなが自分ごととして
子育てや子どもに関心を持ってほしい

多種多様な人にとって魅力的に思う街に
なっていてほしいです。

誰とでも日本語でコミュニケーションが
とれる港区になってほしい

私は、次の災害を乗り切ることができる
港区になることを祈ります

世界をアッとさせる
無限の可能性を秘めた
港区になってほしい。

港区へ通う学生と、港区民との交流が
より活発になってほしい。

子どもたちが考案した”タイムマシン”が
開発されていますね

人と自然と技術が共生し、
誰もが安心して輝く街

人にも動物にも暮らしやすい
緑豊かな街になってほしい

港区独自の
歴史や伝統と革新とが調和した
豊かな街づくりを実現

皆で子を見守り、
少子化知らずで治安最高な
港区になっていてね！

人と人がつながってお互いに支え合える
まちであってほしい

ダイバーシティに溢れ、
強者も弱者もなく
皆が自分の道を進める街

「課題先進国・日本」のロールモデルに
なる都市であってほしい

全ての区民が笑顔と優しさに溢れ、
向上心を失わないでいて

2040年〇東京タワーは82歳！
港区の全てを見守って下さいね

挑戦が自然に生まれ、
誰もが誇れる港区であってほしい。

エレベーターが増え、
ベビーカーや車椅子の移動が
楽になるように

日本古来からの文化に根ざした
穏やかで洗練された街、そして人々

多くの人助け合って暮らしていくこと
のできる街に！

さあ、イメージしてください！
「イルカと子どもが出会う街＝港区」

「前例」に囚われた街は、滅ぶ。
港区は変化を恐れず挑戦をする。

エセブランドから脱却し
100年前の心からの笑顔溢れる区に。

日本の歴史・文化・価値観を伝える教養を
持つ国際人たれ。

多様性の最先端、難病でも活躍できる街
になっていてほしい。

「この街で子育てをしよう」と
思い続けられる街でありたい。

区の職員がまずは“ルンルン”すること
が第一歩！かと思えます

高齢や障害があっても
私らしく挑戦できる、
孤立や格差のない港区

誰もが笑顔で楽しく、
住みやすい港区に。
頑張れ！港区！

高層ビル含め、
地上1階には魅力的な個人商店が
あふれる街を！

今でも大好きな港区が、
もっと素晴らしい港区になってほしい！

東洋のベニス：人も生物も共生している
水辺のまち

安心して遊び学べる港区の未来を

子どもが笑い、大人も笑顔で見守る。
そんな幸せな街を実現したい！

誰にでも優しいまちでありますように。

子ども・若者・老人たち全てが
生き生きと明るく暮らしている街。



